学校図書館＆公立図書館
連携マニュアル

子どもの読書の世界を広げるために

増補版

公立図書館と学校の連携の在り方に係る資料集作成委員会

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

増補版の発刊に当たって

子どもの読書活動は、国語力を高めるだけではなく、感性を磨き、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。
また、学校図書館は、子ども達が身近に読書活動を行なう場として、また、教科や総合的な時間での調べ学習等の場として、公立図書館とともに重要な拠点といえます。

県教育委員会では、平成１５年３月の「千葉県子どもの読書活動推進計画」を策定し、以降、「子どもの読書活動推進フォーラム」の開催や、「子どもの本の読み聞かせ講座」の実施など、子どもが読書の楽しさに触れ、その魅力を感じることができるよう、取組んでまいりました。

学校図書館の充実については、「推進計画」の柱の一つとして位置づけ、環境の整備を進めるとともに、公立図書館との連携を通して、学校図書館担当職員や公立図書館職員等を対象とした、連携推進の研修会を開催しています。
また、平成１９年９月には、教員や図書館職員の意見を取り入れ、小・中・高等学校及び特別支援学校ごとに、わかりやすく実践的な事例を豊富に紹介した本冊子、「学校図書館と公立図書館連携マニュアル」を作成、県内の図書館や県立学校など関係機関へ配付するとともに、現在、県教育委員会ホームページに掲載するなど、活用いただいております。

冊子発行後、子どもの読書活動に関係する法律等の整備が進みました。
平成１９年の学校教育法の改正では、義務教育の目標に「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が規定され、平成２０年には、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」の閣議決定、学習指導要領の改訂、図書館法の改正があり、中央教育審議会からは、「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」が答申されました。
この中央教育審議会答申の中でも、図書館は「子どもの読書活動や学習活動を推進する観点から、学校図書館への支援を積極的に行うことが重要である。」と支援の必要性が述べられています。

千葉県では、子どもの読書活動をより一層推進するため、平成２０年度文部科学省委託事業「千葉県子ども読書地域フロンティア事業」を実施しながら、これまでの取組、成果、課題、国の動向などを踏まえ、「子どもの読書活動の推進計画」の改定を進めています。
本冊子は、地域フロンティア事業の一環として、最新資料などを追加・修正し「増補版」として、広く県内小・中・高等学校等関係機関に配付するものです。

結びに、作成に当たり御尽力いただきました、千葉県子ども読書地域フロンティア事業実行委員会、文部科学省を始め関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げますとともに、学校図書館や公立図書館運営の参考資料として御活用いただくことを心から願っております。

平成２１年２月

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課長
府川　雅司

ま え が き 〔初 版〕

今日、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化、国際化・情報化の進行や地方分権への本格的な移行などに伴いめまぐるしく変化しており、子どもの生活にも様々な影響を与えています。教育においては、学力の低下が懸念されるとともに、豊かな心の育成など解決すべき多くの課題があります。

こうした中で、子どもたちが社会の中で力強く生きていくために、学校生活や社会生活に役立ち、しかも、一人一人の人生を豊かにする知識や教養、技術を、学ぶ楽しさを実感しながら学習・教育のできる環境を、学校が核となり、家庭や地域と連携しながら整備していくことがより一層求められています。

県教育委員会としても、読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につける上で欠くことができないものであり、子どもの読書活動を推進することは、子どもの健やかな成長にとって大変重要であると考えております。その中で、平成１５年３月には「千葉県子どもの読書活動推進計画」を策定し、子ども読書の日等における啓発広報事業の実施をはじめ、学校における朝の読書の取り組みや司書教諭の適切な配置などを推進してまいりました。

また、この計画では、地域の図書館と学校とが連携・協力することにより、さらに広く、深く子どもの読書環境を充実する必要をうたっていますが、すでに、県内５６市町村のうち、８６％にあたる４８市町村で何らかの連携が進んでおり、今回、その中でも、すぐに実施できるものから全国的に見ても先進的なものまで、さまざまな事例を紹介する資料集を刊行することとなりました。

この資料集は、学校と公立図書館とが手を携えて、学校図書館が法に基づいた本来の運営を行えるよう、県内の教員や公立図書館職員の意見を聴きながら、連携のあり方についてまとめたものです。

学校においては、地域の図書館との連携が、児童生徒の読書活動や読書を通じての学習活動を推進する手立てとなるよう、また、公立図書館においては、子どもがいちばん長い時間を過ごす学校との連携を深めるきっかけとなるよう、この冊子を活用していただければ幸いです。

最後になりますが、貴重な資料を御提供いただいた学校及び図書館関係の皆様、御尽力をいただいた作成委員会委員に対し、心から感謝の意を表す次第です。

平成１９年９月

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課長

高　橋　　健

目　　次

まえがき

第１章　なぜ連携が必要なのか
1　子どもの「生きる力」を育てるために ……2
2　学習の拠点としての学校図書館 ……3
3　ここまで進んだ連携 ……4
4　連携のさまざまなメニュー ……6

第２章　小・中学校編
1　学年ごとの利用案内 ……10
（1）学校図書館の利用案内 ……10
（2）公立図書館の利用案内 ……11

2　学校図書館の整備 ……17
（1）除籍する本を選ぶ ……17
（2）買い替えや補充する本を選ぶ ……17
（3）分類の修正とレイアウトの見直し ……18
（4）掲示物や展示の整備 ……19

3　おはなし会やブックトーク ……22
（1）おはなし会、ブックトークとは ……22
（2）実際に行うには ……22
（3）中学校でもできるおはなし会 ……23

4　本の利用と団体貸出 ……25
（1）公立図書館から学校への団体貸出 ……25
（2）配送システムのいろいろ ……26

5　調べ学習のサポート ……30
（1）レファレンスサービスを受けてみよう ……30
（2）調べ学習に役立つパスファインダーを作る ……32

6　ボランティアとの連携 ……37
（1）ボランティア活動のいろいろ ……37
（2）ボランティアの募集方法 ……38

第３章　高等学校編
1　県立図書館のサービス ……42
（1）図書館資料の検索 ……44
（2）図書館資料の貸出 ……44
（3）協力レファレンス ……46
（4）複製の申込み ……47

２　相互協力の活用 …… 48
（１）県立成東高等学校のあらまし …… 48
（２）大学模擬講義と図書館の関わり …… 48
（３）県立図書館では他にもこんなことができます …… 51

３　「課題研究」と図書館のコラボレーション …… 53
（１）県立成田国際高等学校のあらまし …… 53
（２）国際教養科の設置と課題研究の始まり …… 53
（３）総合的な学習の時間と課題研究（『はばたき』の時間） …… 54

第４章　特別支援学校編
１　槇の実特別支援学校図書館での工夫 …… 60
（１）あたたかみの感じられる雰囲気づくり …… 60
（２）迷子の本を減らすには …… 60
（３）本をいとおしんで使う …… 61

２　読書活動の取り組み …… 62
（１）積極的に読書の時間を取り入れる …… 62
（２）地域の公立図書館に相談する …… 62
（３）おはなし会の開催 …… 63
（４）子供をひきつける紙芝居 …… 63
（５）選書と読み聞かせ …… 65

参考資料
１　子どもの読書に関する法令等 …… 73
○　子どもの読書活動の推進に関する法律（平成１３年法律第１５４号）
○　衆議院文部科学委員会における附帯決議
○　文字・活字文化振興法（平成１７年法律第９１号）
○　図書館法（昭和２５年法律第１１８号、平成２０年６月１１日改訂）（抜粋）
○　学校図書館法（昭和２８年法律第１８５号）抄
○　学校図書館法附則第二項の学校の規模を定める政令（平成９年政令第１８９号）
○　学校図書館法の一部を改正する法律等の施行について
○　小学校学習指導要領（平成２０年文部科学省告示第２７号）（抜粋）
○　中学校学習指導要領（平成２０年文部科学省告示第２８号）（抜粋）
○　高等学校学習指導要領案（平成２０年文部科学省公表）（抜粋）
○　千葉県子どもの読書活動推進計画（平成１５年千葉県教育委員会策定）（抜粋）

２　県内の公立図書館等 …… 84

３　図書館司書・学校の先生が薦める本のリスト（ダイジェスト版） …… 88

４　児童・生徒が薦める本のリスト（ダイジェスト版） …… 94

５　公立図書館と学校の連携の在り方に係る資料集作成委員会委員名簿 …… 98

本冊子は、平成１９年９月１日に発行したものに、最新の関係資料を追加・修正したもので、掲載されている学校・図書館等の状況は発行当時のものです。

第1章
なぜ連携が必要なのか

1. 子どもの「生きる力」を育てるために
2. 学習の拠点としての学校図書館
3. ここまで進んだ連携
4. 連携のさまざまなメニュー

１　子どもの「生きる力」を育てるために

高度情報化社会の到来とともに、価値観が多様化し、あらゆる段階においての意思決定は、複雑で難しくなっています。このような時代を生きる子どもには、内なる課題を明確にし、適した情報を収集、読んで理解した上で、吟味・選択し、現状に照らして実行し、問題を解決に導く力が必要となります。平成８年の中央教育審議会第一次答申「２１世紀を展望した我が国の教育の在り方について」では、これを「生きる力」と位置づけました。

「生きる力」とは、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力であり、また、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を指しますが、この「生きる力」の育成に向けて、従来の知識伝達型の教育から、問題解決型の学習への転換が模索されています。

この中で、学校図書館の役割はますます重要となっており、その役割を遂行するため、公立図書館など他の機関との連携が必要になってきています。

まず、この教育政策の転換は、平成８年の中央教育審議会の第１次答申を受けて策定された平成１０年の「ゆとり教育」と「生きる力」を掲げた現行の学習指導要領に始まります。ここにみられる「子どもが自ら学ぶ学習」には、多様で大量の情報を必要とし、子どもと教員の情報要求を高めるきっかけとなりました。これによって、学校図書館法が掲げる「学校教育において欠くことのできない基礎的な設備」（第１条）としての存在意義が増したのです。

さらに、同じ答申で、学校図書館は学校の施設の中で学校教育に欠くことのできない役割を果たしているとの認識に立って、蔵書の充実のほか、様々なソフトウェアや情報機器の整備を進め、高度情報通信社会における学習情報センターとしての機能の充実を図っていく必要が指摘されました。また、学校図書館の運営の中心となることが期待される司書教諭の役割はますます重要になると考えられ、その養成について、情報化等の社会の変化に対応した改善・充実を図るとともに、司書教諭の設置を進めていくことが明確に盛り込まれました。

このような環境の整備がすすむ一方で、子ども自身の「生きる力」を育むためのひとつの方法として読書活動が推進されてきました。平成１３年に「子どもの読書活動推進に関する法律」が制定され、国、都道府県、市町村の責務が明確化し、読書環境の整備が義務づけられるとともに、この法律に基づき、平成１４年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を閣議決定、「学校図書館等の整備・充実」について詳細にふれ、促進を呼びかけました。

続いて「子どもの読書活動を推進するための諸条件の整備・充実」として、公立図書館等社会教育施設が中核となり、「子どもの読書支援」など地域における課題解決のための事業の実施や評価を一体的に行うとともに、公立図書館の情報拠点化に関する調査研究を実施し、利用者に応じた多様な図書館サービスを展開する「新しい図書館像」の構築に向けた指針の策定及びその普及を図ることとされています。

平成１６年度からは、「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」が５か年の計画で実施され、学校図書館の蔵書のデータベース化、ネットワークを利用した教育実践の共有化、蔵書の共同利用の推進、学校図書館関係者の資質向上を図る研修プログラムの開発がすすめられており、袖ヶ浦市や市川市など、全国３５ヶ所が指定されました。この事業は、平成１８年度からは「学校図書館支

援センター推進事業」（４か年計画）に引き継がれました。先の「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」が、公立図書館が中心になり、いわゆる「物」や「情報」の共有化を推進する事業であるのに対して、続く「学校図書館支援センター推進事業」は、地域の教育センター等に学校図書館支援センターを置き、そこに配属された学校図書館支援スタッフと、各学校の学校図書館協力員を中心にした学校図書館支援を図る事業とされています。

２　学習の拠点としての学校図書館

学校図書館とは「児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」（学校図書館法第２条）です。学校図書館には、狭い意味での子どもの読書活動の推進だけでなく、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動の充実から教員の教育研究の支援までを含む、学校教育の中核的な役割を担う目的が込められています。

しかし、正規の学習活動、特に授業の中で学校図書館が利用されるようになってまだ日は浅く、「教育課程の展開に寄与する」という学校図書館法が掲げる学校図書館の本来の機能は十分果たされていませんでした。

平成５年、文部省は「学校図書館図書整備新５ヵ年計画」を策定、５年間で総額５００億円を交付税措置し、学校図書館の蔵書冊数の倍増を図りますが、自治体に使途の裁量を認める地方交付税を財源としていたため、自治体であらためて「予算化」する必要がありました。

平成９年には「学校図書館法の一部を改正する法律案」が成立し、附則の「当分の間、司書教諭を置かないことができる」という緩和規定が撤廃されましたが、１２学級以下の学校にあっては「当分の間」が継続する内容であり、今後の課題となっています。

一方、現行の学習指導要領では、「総合的な学習の時間」を定め、自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れることとなりました。

こうした「生きる力」を育む教育の中で、学校図書館には主に２つの役割があるといえます。

第１の役割は、子どもが課題を見つけ、問題を解決するために情報を収集する力を育む場であることです。そのためには、子ども自ら情報を検索し入手できるような環境を備えた学習センターとしての機能が求められています。

第２の役割は、他者の存在を理解するための想像力を育てる読書活動を支える場であることです。子どもは読書を通じ、ことばの力を獲得し、未知の世界を知り、豊かな心情を育む読書センターとしての機能が求められます。

また、２つの役割を果たすための基盤として、教員の研究や実践を支援する教材センターの機能も求められているのです。

３　ここまで進んだ連携

さて、学校図書館法第４条第５号には、他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力することとあり、図書館法第３条には、公立図書館は土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るように留意しなければならないと定められています。

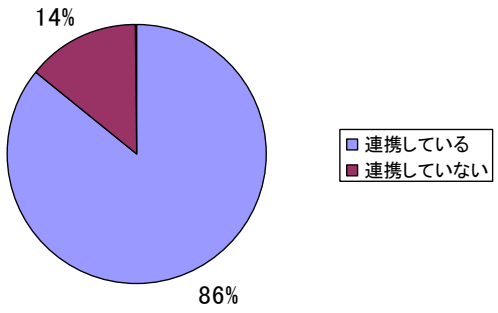
県内の学校図書館の状況は千差万別です。学校教育の中核的な役割を担っている、全国でも指折りの学校図書館もあれば、鍵を閉めておかないと管理上安全でない学校図書館もあると聞きます。

ただ、どこの学校図書館でも、そこの蔵書だけで児童生徒および教員の全ての要求を満たせるところというのは少ないでしょう。全国屈指の学校図書館でも、近隣の学校や公立図書館と連携し、授業に必要なテーマの本や個々の要求にあった本を図書館のネットワークから取り寄せているのです。

また、公立図書館は地域を支える情報拠点として、本の貸出をはじめ、地域や住民の課題解決の支援など、目覚しい利用の伸びを示していますが、少子化の影響を受けて、子どもの利用は少しずつ減ってきています。図書館に座して待つことなく、学校をはじめ保育所や幼稚園に出向いて子どもへ本を手渡したい。そういう気持ちは、どこの図書館にも少なからずあるでしょう。

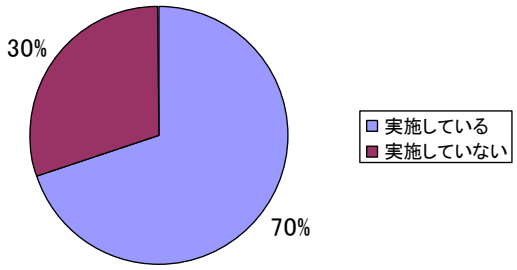
そこで、平成１９年に県内の公立図書館と学校との連携を調査したところ、県内５６市町村のうち、８６％にあたる４８市町村でなんらかの連携がなされており（図１）、子どもの読書活動推進計画も２９％の市町村で策定済み、３０％が策定中または検討中となっています。

（図１）　図書館と学校の連携状況



連携の内容としては、７０％が学校への貸出を実施しています（図２）。そのうち、３９％が学校まで配送を行っており、貸出対象施設は、多い順から小学校に７３％、中学校に４９％、幼稚園・保育園に２３％、高等学校に１２％となっています。

（図２）　学校への貸出



また、３８％の市町村が学校向けに児童書のリサイクルを実施しています。対象は、小学校に対して実施している市町村が多く、次いで、中学校や保育園に対しても実施市町村の半数以上が対象としています。その他では、学童保育や特別支援学校などへ実施しています。

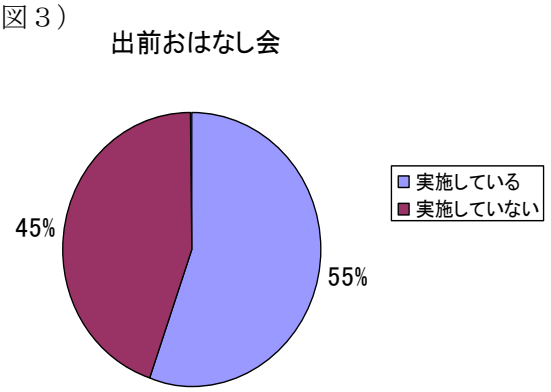
図書館と学校図書館間でコンピュータネットワークを築いている市町村は７％、学校図書館間では１１％となっています。

出前おはなし会は、５５％の市町村で実施されています（図３）。平成１７年度は、県内２９８校の小学校に対して読み聞かせやストーリーテリングなどを行っていました。児童担当職員が行っている市町村が最も多く４４％、次いで、図書

館ボランティアが行っている市町村が２７％となっています。

司書教諭や学校司書、ボランティアなどを対象とした研修会や講座は、５５％の市町村で実施しています。実施市町村すべてで読み聞かせの研修を行っているほか、選書に関する研修を挙げている市町村も複数あります。講師は図書館職員が４９％と多いほか、ボランティアや読み聞かせ団体から講師を招いている市町村もあります。

（図３）



連携事業の企画・運営時に図書館職員以外の協力を得ている市町村は４６％、そのうち８０％がボランティアからの協力を得ています。協力内容としては、読み聞かせのほか、おはなし会の運営、学校図書館整備支援、移動図書館の補助業務などが行われています。

新しい学力観のもとに「生きる力」を育み、理想を実現していくためには、質・量ともに充実した情報の提供が必要であり、学校図書館には多様な機能が求められています。

この資料集では、公立図書館と学校とが連携して情報を提供する方法・ノウハウがつまっています。公立図書館には児童文学の良質のコレクション、教材の作成支援のためのさまざまな本が備えられていますので、ぜひ活用してください。

４　連携のさまざまなメニュー

１　連携をお願いしたいのですが、何から始めたらよいでしょうか？

☞　第２章の１　学年ごとの利用案内

学校図書館が初めての図書館体験だという子どもは少なくありません。本の並べ方や探し方、貸出や返却のし方などを説明するとともに、地域の公立図書館も紹介したいものです。校外学習などの機会を利用して、その図書館に見学を申し込むのもよいでしょう。

公立図書館で貸出券をつくれば、その図書館の本を借りられるだけでなく、各地の図書館から本を取り寄せることができることを、先生方もあまり知りません。子どもに紹介するだけでなく、利用案内の機会を通じて、学校も地域の図書館ネットワークに参加できないか働きかけてみましょう。

２　学校図書館を魅力的にして、もっと使われるようにしたいのですが？

☞　第２章の２　学校図書館の整備
☞　第４章の１　槇の実特別支援学校図書館での工夫

学校図書館に今置いてある本だけでも、置き方や掲示などを工夫して、もっと魅力ある場にしたいと考えている先生はたくさんいることでしょう。また、新しい本を買っても古い本が本棚を占領していて置けないという悩みをお持ちの先生もいるかもしれません。公立図書館は新しい本を買いつつ、同じ分類や著者の本も一緒に利用してもらえるよう工夫を重ねています。地域の図書館に相談すると、体験に沿った的確なアドバイスをしてくれることでしょう。

子どもが使いやすい図書館の例が特別支援学校にもありました。どんな子どもでもバリアフリーに利用できる、そんなヒントがたくさん詰まった学校図書館です。

３　子どもが本に親しむためには、何が有効ですか？

☞　第２章の３　おはなし会やブックトーク
☞　第４章の２　読書活動の取り組み

学校では、朝の読書や総合的学習の時間での読み聞かせなど、すでにさまざまな取り組みがされていると思います。なかでも、先生やボランティアなどの大人が読んでくれる読み聞かせの時間は、子どもにとって本の内容を理解するだけではなく、その場の雰囲気を感じ取ることにより情緒を育んでくれる時間です。

公立図書館では、学校へ職員やボランティアを派遣して、読み聞かせや本の紹介などをプログラムにしたおはなし会やブックトークを実施しています。実施内容や対象学年については、地域の公立図書館（参考資料「県内の公立図書館等」参照）に問い合わせてください。

第1章
なぜ連携が必要なのか

1. 子どもの「生きる力」を育てるために
2. 学習の拠点としての学校図書館
3. ここまで進んだ連携
4. 連携のさまざまなメニュー

用と団体貸出
書館のサービス

る本だけでは足りなくなってきま
をカバーするには様々な本を必要
本が足りなくなり、おすすめの本は

いるところがあります。また、調べ
しいときでも、県内の図書館ネット
で本の利用が重ならないよう、課題
ます。

５　知りたいことがどんな本に載っているか教えてもらえますか？

☞　第２章の５　調べ学習のサポート
☞　第３章の１　県立図書館のサービス

どんな本を読みたいかの相談をはじめとして、調べ学習のテーマに沿った本の探し方、授業に必要な本や情報の提供など、公立図書館がお手伝いできることはまだまだあります。単元のねらいなどを伝えることで、必要な本をあらかじめ揃えてもらうこともできるでしょう。

このようなサービスは子どもに対しても行っており、調べ学習や宿題などに直接答えるのではなく、その課題を解決するための探し方をサポートしています。

６　学校図書館をよりよくするため、協力の輪を広げていきたいのですが？

☞　第２章の６　ボランティアとの連携
☞　第２章の３　おはなし会やブックトーク

学校図書館をよりよくしようと思ったら、たくさんの仕事をする必要があります。本の購入や貸出のための装備をはじめ、開館時間を確保し子どものサポートをすること、読み聞かせやブックトーク、展示や飾りつけなど片手間でできる内容ではありません。

そのとき、先生が孤軍奮闘するのではなく、保護者や多様な経験を有する地域のボランティアに協力していただくことにより、学校図書館を活性化する可能性が生まれます。

ボランティアとの連携は、子どもが読書に親しむ機会をより増やすとともに、先生以外の大人と接することは、子どもにとって新しい刺激となることでしょう。

第２章
小・中学校編

1. 学年ごとの利用案内
2. 学校図書館の整備
3. おはなし会やブックトーク
4. 本の利用と団体貸出
5. 調べ学習のサポート
6. ボランティアとの連携

１　学年ごとの利用案内

図書館を初めて利用する子どもも多い小・中学校では、まず、学校図書館や公立図書館の利用案内から始めることが必要です。オリエンテーションやガイダンスといって、利用の説明とともに絵本の読み聞かせや本の紹介と組み合わせて実施しているところもあります。

学校図書館の利用案内は、司書教諭（図書主任）か学校司書が、公立図書館の利用案内は、児童サービス担当の職員が実施しましょう。

校外学習などで、ある程度時間をとって、地域の図書館に見学と利用案内を実施してもらうのもよいでしょう。

学校図書館と公立図書館の両方で利用案内を行えば、子どもたちは、各図書館の役割や規模、蔵書の特徴などについて知ることができます。

学校生活と家庭生活において両方の図書館を利用できることは、子どもにとって大変有益です。目的によって図書館を使い分けられるようになり、学校を卒業したあとも、気軽に公立図書館を利用することでしょう。

（１）学校図書館の利用案内

ア　内容

（ア）利用方法、利用する際の約束について

（イ）分類方法と図書ラベルの見方について

分類の方法を知ることで、子どもが自分で本を探しやすくなります。

目当ての本がなくても分類によって別の本を探せることも教えましょう。

（ウ）書架案内と検索方法について

本の配置図を見せたり、実際に書架を案内しながら、書架見出し（サイン）の見方を説明し、どの書架にどんな本があるかを教えましょう。

また、目録や検索端末を使った本の検索の方法を説明しましょう。

実施の際には、利用案内や書架の配置図、本を調べるためのクイズを作成・配布するなどして、子どもたちが理解できるよう工夫しましょう。

（エ）本の使い方・調べ方について

百科事典や辞書などの引き方や、本の目次や索引の見方、他の媒体（新聞、雑誌、インターネット）の利用のしかたについて、学年ごとに説明しましょう。

中学生では、自分で調べる能力があるか、本の使い方や検索方法を知っているか、確認しましょう。

インターネットは調べ物には便利なツールですが、インターネットの情報は必ずしも正確であるとは限りませんし、出典が明らかでないものもあります。
インターネットの情報を鵜呑みにしないよう、また、画面のプリントアウトだけで調べ物を終えることがないよう、指導が必要です。
そのほか、中・高学年以上には著作権についても教え、本をコピーしたりする場合に気をつけるよう指導しましょう。

イ　対象・実施時期

小学校においては、入学時にも必要ですが、子どもが自分で調べる能力、授業や調べ物の内容、使用する本の種類が学年によって違ってくるため、入学時の１回では不十分です。全学年への実施が無理であれば、１年おきに実施しましょう。

中学校では、入学時に１回は実施しましょう。

（２）公立図書館の利用案内

ア　内容

所在地、開館時間、利用方法、蔵書の種類と分類方法、本の配置についてなど

ある程度時間があれば、その場で貸出券を作ってもらい、貸出を受ける以外にもおはなし会やブックトークを実施してもらうことが可能です。希望があれば、貸出券を作るために必要なものや、内容について事前に問い合わせてみましょう。

イ　対象

小学校入学時でもよいですが、子どもが一人で来館し、利用できるくらいの学年（低・中学年）への利用案内が効果的です。

＜例＞横芝光町の図書館授業

横芝光町では、総合学習の時間などに小学生が図書館を訪問する「図書館授業」を実施しています。

「図書館授業」とは、町内の小学校から町で用意したバスを利用し、年に２回程度、学級単位で図書館に来館して学習するというものです。図書館の使い方を説明するほか、子どもたちの自由な読書活動や調べ学習に加え、低学年には絵本の読み聞かせや、絵本などを使わずにお話を語る素話なども行っています。

図書館授業のねらいは、子どもの頃から図書館や本に親しんでもらうことで、将来的にすばらしい人材を育てることを願う「人づくり」を目的としたものですが、図書館の楽しさを知った子どもが、休みの日などに図書館に行きたいと親に連れて来てもらうと、一緒に来た大人まで図書館の魅力に惹かれて常連になってくれるのでした。

＜例＞浦安市立図書館の児童サービス申請書

館長	副館長	係長	係

類縁機関への児童サービス申請書

団体名	
事業名	
内容	おはなし会　　図書の紹介 講師派遣　　図書館利用案内 その他（　　）
目的	
日時	平成　　年　　月　　日（　） 時　　分 ～　　時　　分
場所	
参加者数	名　（児童　　名　　他　　名）
備考	

上記のとおり申請します。

平成　　年　　月　　日

申請者　　住所
氏名
電話

浦安市立図書館長 様

＜例＞船橋市立三咲小学校の図書館利用案内

図書館のきまり

あいている時間

・月曜日から金曜日までの、９時～３時３０分まで。

※それいがいの時間でも、たんにんの先生がいっしょならりようすることができます。

かりられる数

・一人３さつまで、一週間かりられます。

図書館のわりあて

・図書館のわりあて時間には、絵本の森・学びの森をりようすることができます。

※そのたの時間でも、あいているときはつかうことができます

図書館のきまり

１，手をあらいます。

２，本を大切にします。

３，走ったり、大きい声でさわいだりしないようにします。

４，人にめいわくをかけないようにします。

かりかた

・かりたい本と、自分のカードをかかりに見せ、
　コンピューターを通してもらう。

・カードをしまう。

・かりた本は、手さげぶくろにいれてもち帰る。

かえしかた

・本をかかりに見せ、コンピューターを通してもらう。

・本を、もとの場所にしまう。

じゅぎょうかし出しのかりかた

・かりたい本とたんにんの先生のカードをかかりに見せ、
　コンピューターを通してもらう。

・１００さつまでかりられます。

・かりた本は、手さげぶくろにいれてもち帰る。

じてんのかりかた・かえしかた

・「国語辞典・漢字辞典貸出票」に、かりた日づけ・クラス
　さつ数を記入する。

・かえしたら、○印をつける。

本のさがしかた・・・本のある場所と番ごう

もんだい　下の［　　］に当てはまることばは、何でしょう。
図書かんでしらべて書いてみましょう。

0	じてん	46	生きもの
1	道とく	47	しょくぶつ
2	［　　］	48	［　　］
3	社会・生活	49	からだ
40	科学	5	家てい・工ぎょう
41	算数	6	さんぎょう
42・43	じっけん	7	げいじゅつ・スポーツ
44	星・月	8	ことば
45	地きゅう	9	［　　］
		E	絵本

本のはいか（配架）

図書室の本は、種類別に分けてさがしやすくしてあります。
また、本のならび方にもきまりがあります。

＜ラベルについて調べよう＞

916	→	分類番号（日本十進分類法による本の仲間わけ）
サ	→	図書記号（ちょ者名のはじめの文字）
12	→	巻冊記号（百科事典・全集の何巻目かを表す）

全部あわせて、請求記号といいます。

＜分類番号について調べよう＞

0	辞典・事典
1	道とく
2	歴史・地理
3	社会・生活
4	理科
5	家庭・工業
6	産業
7	芸術・スポーツ
8	言葉
9	物語
E	絵本

→

40	科学
41	算数
42	実験
43	実験
44	星・月
45	地球
46	生き物
47	植物
48	動物
49	からだ

→

450	地球
451	天気
452	海
453	地しん
454	地形

このように、分類番号は右の数字になるほど細かく分類されています。

ふだん、みなさんが目にするのは、１つ目か２つ目の数字まででしょう。

＜図書のならび方＞

本だな（書架）の中には、本が分類番号順に左から右、上から下へならんでいます。分類番号が同じ時は、図書記号の５０音順にならべます。図書室で確かめてみましょう。

２　学校図書館の整備

学校図書館をもっと魅力ある場にしたいと考えている先生はたくさんいることでしょう。

公立図書館は、子どもたちの一番身近な学校図書館に対して、間接的に支援やアドバイスをすることができます。

整備のことでわからないことや迷うことがあれば、公立図書館の児童室を参考にするか、図書館職員に相談してみましょう。

（１）除籍する本を選ぶ

古い本の除籍は、学校図書館を整備する上で必要な作業の１つです。いつも古い本が並んでいて新鮮味のない書架では、子どもたちは本に手を伸ばしません。

「古くてあまり使われていないが、除籍していいのか、保存するべきなのか？」と迷うことが多いと思いますが、資料として活用できない本は思い切って除籍し、古くても活用できる本なら保存、あるいは、絶版でなければ買い替えることが必要です。

たとえば、調べ物に使うような本の中には、データが古すぎたり、国や地名、名称が変わっていたりして使えないものもあります。また、課題図書などで、一時的には借りられたけれど、今は借りられないものもあります。

本の価値（内容、編集方針、著者の経歴や他にどんな作品があるかなど）や、子どもにとって必要か、どのような利用方法があるかによって、見極める必要があります。公立図書館で何冊所蔵しているか、所蔵場所がどこなのか（普通の書架か書庫なのか）なども、除籍の参考にできるのではないでしょうか。

すぐに除籍が無理な場合は、段ボール箱などに入れて、別室で保存するなどの方法も考えられますが、除籍がスムーズにできるよう、管理者に働きかけ理解を得ることが必要です。

（２）買い替えや補充する本を選ぶ

予算には限度額や執行時期などの制約がありますが、新刊の購入ばかりでなく、買い替えや補充の本の選定・購入も必要です。各出版社から出版目録を取り寄せたり、公立図書館や書店で現物を確認するなどして、本を選定しましょう。内容の記述が古い本は、同じ出版社から改訂版や新版が出ていないか、調べてみましょう。

除籍の際に、買い替えや補充が必要な分野やタイトルを記録しておくと、選定の際に便利です。類書がない分野や利用が見込める本は、買い替えや補充の後に除籍してもいいでしょう。

本は１冊ずつ所蔵しておけばよいというものではありません。子どもたちに薦めたい絵本や読み物、利用が多いテーマの調べ物の本など必要があれば、同じ本を複本で揃える必要があります。買い替えの場合、本の状態がよければ、古い本を複本として所蔵しておくことも１つの方法です。

また、市町村によっては、公立図書館から団体貸出で借り受けて、補充することもできますので、図書館に相談してみましょう。

（３）分類の修正とレイアウトの見直し

「どこにどんな本があるのか」が子どもに一目でわかることが、使いやすい学校図書館の大切な条件です。そのためには、子どもの視点で館内のレイアウトと分類方法を見直すことが必要です。

たとえば、子どもの手が届く場所や高さに本が置かれているか、学習する教科ごとに本がまとまっているか、書架サインや表示には、子どもに理解できる言葉やテーマを使っているかなどがポイントです。

ア　分類

分類は本が並んでいる場所を示すものです。子どもが自分で検索して書架を探す場合、分類と配架場所が違うと混乱し、本を探そうとする意欲を削ぐことになりかねません。分類と配架場所がきちんと合った見取り図を作成しましょう。

分類方法については、多くの公立図書館が日本十進分類法を採用しています。日本十進分類法は本を分類するための１つの決まりで、各分野について体系的に構成されています。

学校図書館も基本的にはこれに従って分類する方が、子どもたちが公立図書館を利用しやすくなるばかりでなく、同じ分野の中で類書を探したり、別の分野へ視点を広げることもしやすいでしょう。子どもに難しいからと簡単な装備で大雑把に分類するのではなく、子どもにわかるように説明することが大切です。必要に応じて、独自の分類を工夫しましょう。

公立図書館での分類変更の例

○　ことわざ（３８８）　→　語学（８１３か８１４）

○　性教育（３７５）　→　医学（４９５）

○　園芸（６２０）　→　植物の育て方として４７０

○　工作関係の本（５□□）　→　７５□

○　植物、動物、昆虫、鳥、魚で、個別の種類を扱った本の著者記号は、それぞれの種類名でとって同じ生物の本が集まるようにする。
（朝顔なら”ア”、犬なら”イ”でなど）

イ　配架方法とレイアウト

図書館の入口から入ってみて、子どもが受ける印象を想像し、子どもの動線を考えながら、館内を見渡してみましょう。館内は明るく、全体的に統一感を持たせるようにしたいものです。場合によっては、書架を移動したり、書架の色を塗り替えたりすることも必要です。

本を書架に並べる際には、分類順に１類から９類まで順番に置く方法もありますが、子どもの興味や利用頻度、分野の関連性、本の冊数によって、入口付近、奥、壁面などのどこに置くかを考えることも必要です。

新刊書は子どもの目につきやすいところ、読み物はゆっくり読める奥の方、調べ物の本は椅子や机の近くにまとめる、人気のある分野は子どもが手に取るから奥でもよいなど、いろいろ

な理由と方法が考えられます。

また、子どもの手が届かない書架の最上段は、無理に使用せず、ストック用の本置き場や展示物の掲示、本の表紙（カバー）見せ、書架サインの設置などに使ってもよいでしょう。

ウ　書架サインの整備

配架方法とレイアウトが決まったら、書架サインを整備しましょう。日本十進分類法の表記のままでは、子どもに適さないものもあるので、子どもにわかりやすい表現を工夫しましょう。大まかな分類のほかに、小さい分類の見出しとしてのサインも必要です。

「さけ」「米作り」など、子どもによく聞かれるテーマにも、サインを作成するとよりわかりやすくなります。また、「国際交流」「環境問題」などのように、複数の分野にまたがるテーマで本をまとめる際には、書架サインは特に必要です。

公立図書館での書架サインの例

○　語学　→　ことば、日本語、外国語、英語、国語辞典、漢和辞典

○　総記　→　調べ物の本、百科事典

○　医学　→　からだのしくみ、けが・病気、健康

○　独自に作成した見出し：科学遊び・実験、かえる・へび・かめ（子どもに人気があるので、サインを作って１つの棚にまとめる）、貯金箱を作る

○　サインの表記は、小学校で習う漢字はできるだけ使用し、ふりがなをふる

（４）掲示物や展示の整備

掲示物や展示による館内の雰囲気作りも大切です。掲示物は、子どもの立場にたって、子どもが理解できる表現で作成することが必要です。イラストなどを配して楽しく見られるものを作りましょう。禁止事項ばかりでは子どもも嫌になります。

本をテーマごとに紹介する展示では、本と子どもを結びつけることを念頭において、季節感や年中行事、学校行事にかかわることはもちろん、子どもにアピールするよう、子どもの興味や流行、時事問題にも配慮して、キーワードやキャッチフレーズを工夫しましょう。

掲示物・展示はいつまでも同じものを放置せず、定期的にあるいは適宜、取り替えましょう。

＜例＞我孫子市民図書館の学校図書館支援事業

我孫子市では、市民図書館に来ない児童生徒にも間接的な「図書館サービス」を提供するという考えから、児童担当の司書が学校からの要請に応え、学校図書館の整備を支援してくれます。

学校図書館支援事業は、各学校からの要請に応える形で行われます。平成１５年から現在までに小学校１３校すべてが支援を受けて整備を行いました。中学校も順次支援を受けています。

市民図書館の担当司書は週２回、学校への訪問が可能なシフトを組んでいます。司書の訪問１、２回で終了するところから、週２回の訪問で２～３ヶ月間に及ぶ長期的なところまで様々な支援をしてくれます。下記の写真のような本格的な作業（後述の「作業内容と作業日程」を参照）の時には、司書以外に市民スタッフ（ボランティア）も加わり、一緒に作業してくれます。

学校図書館支援事業は、学校図書館の整備だけでなく、おはなし会や本の貸出、学校ボランティア養成の支援なども行っています。

また、平成１６年には我孫子市教育委員会主催の「学校図書館・市民図書館連絡会議」も発足し、小・中学校図書館担当教諭と市民図書館児童担当の合同研修や情報交換の場として活動しています。

除籍を終えて残しておく本を分類別に配置

市民図書館職員・市民スタッフ・学校職員と共同作業

作業を終えて、明るくなった学校図書館

分類などのサイン掲示も完了

◆　学校図書館支援事業の作業内容と作業日程（例）

図書館作業　（図書館員・市民スタッフ）

延べ日数　１８日（４月２０日～６月２４日、会議は含まず）
延べ人数　６８人
除籍本　　５７６冊
市民図書館からの寄贈書（市民からの寄贈書を含む）　２９４冊
内容　○除籍候補引き抜き（学校で確認、決定、原簿抹消、除籍）
　　○修理本候補引き抜き（図書整理員が修理）
　　○背題名が消えているもののテプラ打ち本引き抜き（図書整理員がテプラ）
　　○原簿エクセル化を提案（採用、図書整理員が打ち込み）
　　○消耗品購入提案（ラベル・ボンド・ブックコート、
　　ブッカー・ブッカー用ハサミ）
　　○買い替え候補選定

　　○配置換え（分類別配架・学校図書館内全体レイアウト）・棚移動
　　大きい部屋～分類別（絵本・物語以外の本）
　　シマになっていた３棚を小さい部屋へ移動。
　　小さい部屋～絵本・読み物
　　ソファーは、撤去。畳を購入し設置してもらった。
　　大きな机といす（各２）も撤去。小さなものだけ残した。
　　カーテン購入、新しいものに換えてもらった。

　　○分類決定、訂正作業（分類表作成・背ラベル・シール貼り付け）
　　分類決定作業（背ラベル・シール発注、貼り付け）
　　キハラの「０」から「９」門の分野別シール、絵本は丸シール
　　分野別シール～必要に応じて２桁目も手書きで加える。
　　９門は、作者のアイウエオ順。シールに作者の名まえの頭一文字を手書きする。
　　丸シール～絵本は赤。画家のアイウエオ順。シールに画家の名まえの頭一文字を手書する。
　　科学の絵本は緑
　　マンガは黄色
　　「小学校図書館分類表」作成
　　予算軽減のため、ラベルキーパーの代わりにブックコートを切って使うことも提案。

３　おはなし会やブックトーク

おはなし会やブックトークは、子どもたちと本を結びつけるのに大変有効です。子どもたちは、たとえ自分では読めなくても、大人に読んでもらえば内容を理解し、楽しむことができます。

また、装丁や絵が地味な本や、なじみの薄い分野、子どもが内容をよく知らないために手を伸ばさない本でも、人から紹介されると手にとりやすくなります。大人が仲立ちをすれば、子どもたちが本に出会う機会や分野は大きく広がります。

公立図書館では、学校へ職員やボランティアを派遣して、おはなし会やブックトークを実施しています。実施内容や対象学年については、地域の図書館に問い合わせてみましょう。

（１）おはなし会、ブックトークとは

ア　おはなし会

おはなし会は、子どもたちに本の物語を伝える会です。物語を覚えて語るストーリーテリングを始めとして、絵本の読み聞かせや紙芝居などを使って実施することもあります。物語を耳からきく体験は、子どもたちの言葉や想像力を育てます。

公立図書館では、おはなし会は子どもたちに対するごく日常的な業務です。学校から依頼する場合は、図書館での実施内容を確認し、できれば、ストーリーテリングをプログラムに入れてもらうとよいでしょう。

イ　ブックトーク

ブックトークとは、本を紹介することです。子どもに本を読むきっかけを与え、ふだん親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を起こさせ、読書の幅を広げさせるのに有効です。

ブックトークには、１つのテーマに沿って数冊の本を紹介するものと、形式ばらないで１冊ずつ本を紹介していくものがあります。

（２）実際に行うには

ア　教師による読み聞かせやブックトーク

読書の時間などの時間を使って、読み聞かせをしたり、関連のある本を紹介したりしましょう。

何を読んだらいいか迷うときは、学校図書館や公立図書館の「おすすめリスト」を参考にするとよいでしょう。読み聞かせやブックトークの方法がわからないときは、公立図書館に相談してみましょう。

イ　子ども同士で行う読み聞かせやブックトーク

低学年に対して行う場合は、相手を考えて本を選び、表現を工夫することが必要で、本に対するセンスが磨かれます。

学級や学年内で行う場合は、同じジャンルの本をたくさん揃えると効果的です。その際は、公立図書館から団体貸出を受けると便利です。

＜例＞昔話や民話を読もう　→　昔話の本を準備
学校の絵本 30 冊＋公立図書館から 30 冊

高学年や中学生の授業でブックトークを取り上げる際には、相談すれば公立図書館から、本の選び方や方法についてアドバイスをもらうこともできるでしょう。

ウ　ボランティアによるおはなし会

保護者や地域のボランティアの協力を得て実施することもできます。必要があれば、まずは、学級単位で保護者に声をかけたり、地域でボランティアを募集したりすることから始めましょう。

エ　公立図書館の協力によるおはなし会やブックトーク

まずは、公立図書館に問い合わせてみましょう。歩ける距離に公立図書館があれば、出かけて行ってもいいでしょう。依頼の際は、実施希望日時・内容・学年・人数・場所などを伝えます。館によっては、所定の様式での申請が必要な場合もあります。

（３）中学校でもできるおはなし会

中学校でも、本の朗読会やストーリーテリングを聞く取り組みが行われていて、よい成果を上げています。

ア　袖ケ浦市立図書館おはなし会ボランティアについて

図書館が主催したボランティア養成講座を修了した方が、おはなしのボランティアとして登録されます。おはなし会を開催したい学校等は、図書館に派遣依頼をし、図書館がボランティアを依頼校等に派遣します。

袖ケ浦市立平川中学校では、登録ボランティアの有志で作るおはなしの勉強のグループである「むかしむかしの会」の方々を招いて、中学生に世界の昔話を語ってもらっています。

★「平中　朝のおはなし会」★
時　間　　朝の読書タイム　８：０５～８：１５
回　数　　年３回　（６月・１２月・３月）
対　象　　１年～３年の全クラス
語り手　　むかしむかしの会の方々
内　容　　世界の昔話を聞く（ストーリーテリング）

図書委員は前日までに、プログラムの作成・司会進行の打ち合わせ・出典の本の準備などを行います。当日は、早朝よりお越し下さっている「むかしむかしの会」の方々を、校長室前で迎え、挨拶・誘導・司会を受けもちます。人前で話すことが不得意な図書委員もいますが、何度も練習をしてドキドキ緊張しながら、がんばっています。

また、絵や字の助けを借りずに耳で聞いた言葉を頭の中で想像することは、中学生にとっても有意義で楽しみのようです。

「小さい頃は意味が分からなくても面白かったけれど、今は意味が分かるようになってさらに面白いと思いました」「小さい頃に聞いたおはなしを中学でも聞けて新鮮でした」「語り手の静かな情熱が伝わってきて、こちらも集中して楽しく聞くことができました」「自分で読むのと違って、想像しながら聞いて、聞いて想像してと、考えるのが楽しくなりました」「一番の楽しみで、毎日お願いしたいくらいです」「語り手の表情や話し方がとてもすごくて、いつも尊敬していました」などの感想から、生徒たちがおはなしの世界を楽しんで、素直な気持ちで聞いてくれていることが感じられます。

朝の読書タイムの１０分間という短い時間ですが、ボランティアの方との交流は、学校にさわやかな風を吹き込み、生徒たちに読書の幅を広げてくれています。

平成１５年度から始まったこの取り組みは毎回好評で、図書委員会主催の活動として定着しています。早朝よりお出でいただくボランティアの方々には、心より感謝しています。

おはなしの世界を楽しむ

司会をする図書委員

イ　公立図書館の援助

おはなしのボランティアは、袖ケ浦市中央図書館から派遣されるボランティアなので、事故の際、図書館ボランティア保険が適用されます。ボランティアはおはなし会の報告書を図書館に提出して、図書館では資料として記録を保存しています。

他市町村の公立図書館でも、様々な形で、おはなし会の援助（図書館職員の派遣・ボランティアの紹介やアドバイスなど）や相談をお願いできるようです。地域の公立図書館に問い合わせてみてください。

４　本の利用と団体貸出

多くの公立図書館では、各館で定めた規則に従って、学校や文庫など団体への本の貸出を行っています。

団体貸出専用の本を所蔵しているところや、利用する子どもの学年や調べ物のテーマを伝えれば司書が本を選んでくれるところなど、図書館によってサービス内容が違います。

申し込み方法、利用方法・内容については、地域の公立図書館に問い合わせてみましょう。

（１）公立図書館から学校への団体貸出

公立図書館では、学校への支援として、さまざまな方法で学校に対して本の貸出をしています。そのサービス内容の事例を紹介します。

ア　富里市の団体貸出「よむよむ便」

「よむよむ便」とは、市立図書館の本を、学校からの申込とは別に「教科書に取り上げられている作家の本」「福祉の本」「英語の絵本」などのテーマに分け、１３０冊前後に組み合わせたセットにして、隔月に届ける定期便です。

「よむよむ便」は、各教室や廊下など児童が手に取りやすい場所に置かれ、朝の読書時間や休み時間などに活用されています。

富里市団体貸出の特徴

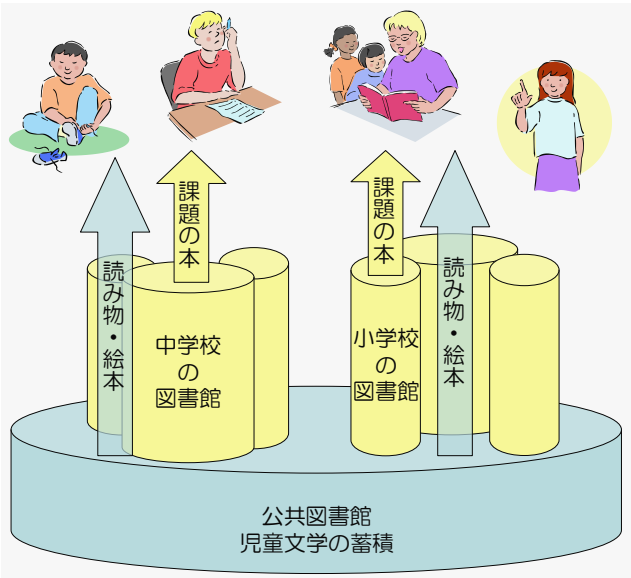
○　市立図書館と市立小・中学校とのネットワークが構築されており、各学校から図書館や他校の蔵書検索の他、図書館団体図書の予約ができます。

○　クラス担任に図書を利用する単元について調査し、利用が見込まれるテーマや時期を把握しています。

○　学校図書館司書と市立図書館児童担当職員が毎月連絡調整会議を行い、団体本の利用予定など情報交換しています。

イ　団体貸出と調べ物の支援　　浦安市の場合

浦安市立図書館では、団体貸出用の児童書を約４万８千冊所蔵しています。毎年、団体貸出用の予算が若干ありますが、所蔵のほとんどは、各館が買い替えた児童書のうち、少し古びているもののまだ利用できる本を移管したもので、絵本と読み物が中心です。他の分野の本も所蔵していますが、各分野にわたって全学校に行き渡るだけの種類と冊数がないため、スタンダードな絵本、読み物については図書館の団体貸出を利用してもらい、授業で利用する調べ物の本は、基本的には各学校で購入してもらうという



スタンスでサービスしています。

利用団体は、保育園、幼稚園、児童育成クラブ、小・中学校等です。利用希望の団体には、申請書を提出してもらい、審査後、利用登録をします。１団体につき、貸出できる冊数は、児童数の２倍まで（ただし、児童数の少ない場合は５００冊まで）で、期間は２ヶ月間（館長が必要と認めたときは別に指定）としています。

本の貸出にあたっては、本を各団体の代表者や学校司書が選びに来る方法と、対象と希望する冊数や本の種類を連絡してもらい、図書館側が選ぶ方法があります。本を選んだ後、図書館の担当者が各団体の利用券で貸出手続きをし、箱詰めをします。本が大量になる場合は配送します。

団体貸出とは利用方法が別ですが、学校の調べ物への支援として、学校利用券の制度があります。これは、調べ物に使いたい本を一般利用者に貸し出している本の中から借りられるというものです。申請を受けて、団体貸出用の利用券とは別に学校利用券を学校名で発行します。利用券と貸し出した本の管理は学校司書にお願いしています。原則的に、借りた本を先生や生徒へ又貸ししたり、学校外へ持ち出したりはできません。貸出冊数は、本２０冊以内（目安として１テーマ１０冊）、期間は２週間（１回の延長可）としています。また、学校司書からの電話やファックスでの資料の相談や取り置きも受け付けています。

（２）配送システムのいろいろ

公立図書館にとっても学校にとっても少ない労力で、効率よく、本を貸出・返却できるシステムは、物理的な連携として必要です。本の配送方法はいろいろ考えられます。ここでは、３つの自治体の事例をとりあげます。

ア　業者に委託している例（浦安市）

参考：２９ページ

以前は、団体貸出の担当者が、そのつど利用団体と日時を打ち合わせて公用車で配送していましたが、利用団体が増え、業務量が増加したため、現在は、年度初めに毎月１、２回の配送日を決め、業者に配送を委託しています。

＜配送利用手順＞

図書館：年度初めに担当者が配送日程表（別添参照）を作成し、利用団体に配布。

利用団体：貸出・返却の希望があれば、配送利用希望日の５日前までに図書館へ電話で予約。貸出の場合は、事前に選書に来館するか、図書館側に選書をまかせるかも合わせて連絡する。予約後、選書希望者は来館して選書する。

図書館：予約を受けたら、予約内容を表に記入し、選書者の来館時には受付をする。担当者は予約内容に応じて、配送前日までに、選書済みの本（おまかせの場合は担当が選書）の貸出と箱詰めの作業等を完了する。予約締切後、予約内容を業者に連絡。業者は配送当日、各団体の入口まで貸出本の運搬と返却本の引き取りをする。

イ　シルバー人材センターに委託している例（富里市）

富里市では、学校への本の搬送をシルバー人材センターへ委託しています。このことにより、先生の負担が減り、団体貸出を気軽に利用していただけるようになりました。

（ア）手続

団体貸出しの配達・回収のほか、学校間の貸出しや返却についても、シルバー人材センターへの連絡はすべて図書館で行っています。先生へは、冊数・箱数など事前の確認とともに、余裕をもっての連絡をお願いしています。

（イ）シルバー人材センターへ依頼している搬送業務

○　学校への団体貸出資料の配達・回収

○　学校間の配達・回収

○　よむよむ便の配達・回収

ウ　図書流通システムを整備した例（袖ケ浦市）　参考：２８ページ

袖ケ浦市は人口６万人程の小さな市であるにもかかわらず、公立図書館が各中学校区に１館ずつあり、蔵書の合計は約５２万冊にもなります。また、これら公立図書館の蔵書は全てオンラインで結ばれ、貸出返却はどの図書館においても自由に行えるようになっています。この豊かな図書資源を、学校の児童生徒も共用し、蔵書の有効活用を図るシステムが確立しました。

袖ヶ浦市の場合は、委託業者が公立図書館と学校図書館を週１回（年間４３回）、往復巡回し、図書の運搬にあたっています。幸い、市の規模が小さい（東西約１５ｋｍ、学校数１３校）ことから、非常に安い価格で委託契約することができました（年間約５０万円弱、１回１万円程度）。

しかし、貸出期間をどうするか、貸出冊数の上限を何冊にするか、物流対象図書をどこまで広げるかなど、学校側と公立図書館側で折り合いのつかない箇所も少なくありませんでした。また、同一内容の希望が重複した場合の扱いや紛失した本の責任の所在、公立図書館側の業務の増大への対応策、調べ学習用図書の不足、学年に応じた本の選書など、実際に運営してみると多くの問題が浮き彫りにされました。

現在、「図書流通システム」は、団体貸出規定を適用し、貸出期間は２か月（使用後はできるだけ早く返却することを前提に）、貸出冊数は１団体、上限５００冊（学校団体、学年団体、学級団体も認める。）としました。

なお、最大の問題である「公立図書館側の業務増大への対応」については、公立図書館内に物流担当者を位置付けるとともに、非常勤職員を１名増員して対応しています。

また、平成１６年度には「図書流通システム運営要項」の一部を改正し、総合教育センターのビデオ教材と博物館の文献も物流に乗せられるようにし、さらにきめ細かな学習支援ができるようになってきました。

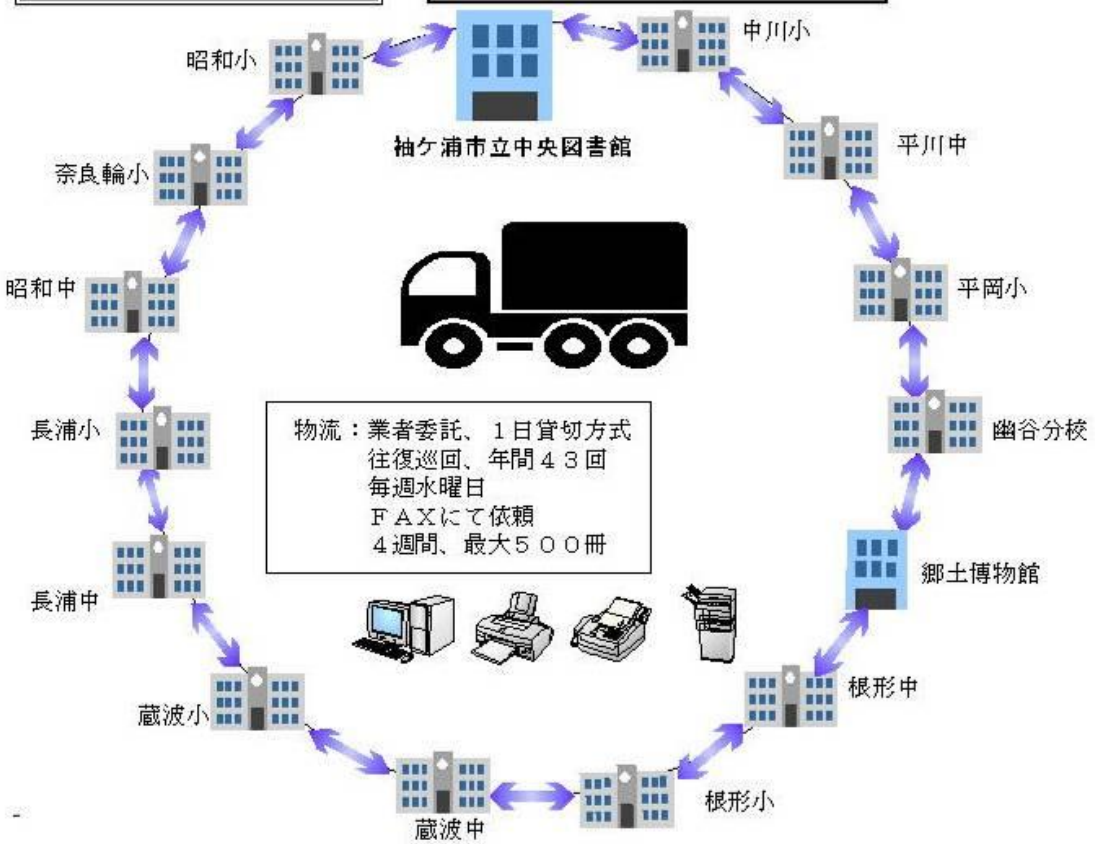
平成１７年度は総合教育センター内に「学校図書館支援センター」を設置し、教育研究指導員を専任で１名配置することにより、よりきめ細かな学校図書館へのサービスが提供できるよう検討を重ねています。

＜例＞袖ケ浦市の図書流通システム

目　的

公共図書館と学校図書館、学校図書館相互が連携し、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「主体的に学ぶ力」及び「生きる力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

①蔵書の有効活用を図る。
・公共図書館と学校図書館、学校図書館相互を結び蔵書の有効活用を図る。
②学校の教育機能を拡充する。
・「読書教育」「調べ学習」を積極的に取り入れ、主体的に学ぶ児童生徒を育成する。



Ｈ８　ｵﾝﾗｲﾝ化検討委員会設置
Ｈ９　中央図書館及び小学校全校（８校）で実施
H10 中学校（１校）拡大
H11 中学校（４校）拡大(全 13 校)
H16 郷土博物館、総合教育センターの教材を流通に加える

図書流通システムの効果
○児童生徒が主体的に学習に取り組む。
○豊富な資料が揃えられる。
○教師の教材研究・事前準備が進む。
○図書室が学習情報センターとなり、利用が増える。
○調べ学習が増え、授業改善に資する。

＜資料＞団体貸出に利用する書式の例

◆　利用団体への配布する配送日程表（浦安市立図書館）

「団体貸出資料」の配送の日程について

（平成　　年度分）

平成　　年度の「団体貸出資料」の配送日程は以下の通りですので、ご確認ください。

●配送希望の予約について

「配送日」の５日前までに中央図書館、児童カウンターまでご連絡ください。

・配送時間・・・１３：００～１７：００

・配送予定日

［平成　　年度　配送予定日表］

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13日 27日	11日 25日	8日	13日	×	14日	12日	9日	14日	11日	8日	8日 22日

（合計14回）

配送希望が集中した場合は、配送日を変更していただくこともあります。
あらかじめご了承ください。

●資料の搬入について

・業者による搬入は、**各施設の入口まで**です。

・搬入・搬出の際、特に場所の指定がある場合は、事前にお知らせください。

●返却時の資料の箱詰めについて

・資料はすべて**ダンボール箱**（一人で運べる程度の大きさ）に詰めてください。

・なるべく、貸出時に使用したダンボール箱をご利用ください。ない場合は、他の箱でも構いません）

・重ねて運ぶため、**箱のふたは必ず閉めてください**。（ガムテープで密封しなくて結構です。）

連絡先：浦安市立図書館（団体貸出担当）　℡　xxx（xxx）xxxx

５　調べ学習のサポート

（１）レファレンスサービスを受けてみよう

公立図書館では、利用者が調べていることについて書かれている本や情報を探すお手伝いをしており、このサービスを「レファレンス」、「調査相談」、「調べもの」などと呼んでいます。

レファレンスサービスは、子どもに対しても行っており、調べ学習や宿題などに直接答えるのではなく、その課題を解決するための探し方をサポートします。

最近、公立図書館には、「調べ学習」と思われる課題のために来館する児童生徒が急増しており、同時期に同じ課題が出され、本の取り合いになってしまうこともしばしばです。

公立図書館ではこのような状況を避けるために、調べ学習用の本をセットにするなどの工夫をしていますが、上手な利用を進めるためにも、前もって調べ学習を行う時期や課題などを相談しておくことが大切です。

調べ学習を成功させるには、テーマの立て方と調べ方が大切です。あふれるほどの情報の中、調べる手がかりが見つからなくて困ったときは、公立図書館のレファレンスサービスが役に立ちます。

単元のねらいや、子どもたちの調べるテーマについて伝えることで、使いそうな本をあらかじめ揃えてもらうこともできるでしょう。公立図書館を使うことで、大人向けの本からも資料を選ぶことが可能になります。

児童生徒ばかりでなく、教師の力にもなってくれるたのもしい場所なのです。

県立図書館でも学校種ごとにレファレンス案内パンフレットを作成し、サービスの申込み方法や調査相談の回答例を掲載していますので参考にしてください。

http://www.library.pref.chiba.lg.jp/school/school01.pdf

＜例＞袖ケ浦市立平川中学校（３年生）社会科「暮らしの移り変わり」

授業の流れ　　公立図書館、学校図書館のレファレンス支援

ア　テーマを決める

ポイント１：班のテーマに沿って個人のテーマをしぼる。

班ごとの大きなテーマを決める。
（食・家電・交通、運輸・レジャー・科学技術などの中から）
　ある班のテーマ
　　「ぽっとんトイレからウォシュレットまで」
班員一人ひとりの小さなテーマを決める。
　班員一人ひとりのテーマ
日本のトイレの変遷　・世界のトイレ事情
便器の色々　　・袖ケ浦市の水洗化率
ウォシュレットについて・未来のトイレ

活動の前に、教師より学校司書に、授業支援の依頼が入る。
（教師・学校司書）

学校図書館の蔵書の中から関連する本を探す。（学校司書・教師）
学校図書館内にコーナーを設け展示する。（学校司書）

公立図書館に依頼し、
「むかしのくらし」を調べる本の提供を受ける。
（学校司書・公立図書館）
例：「図解むかしのくらし」学研　等

イ　情報を集め、まとめる

必要な情報を集め、選択し、分からないことをさらに調べ、まとめる。

ポイント２：情報を集め丸写ししただけではダメ！
　新しい疑問や発見「本当にそうかな？」
　　「どうだったのか？」
　　↓
　新たな疑問を調査する。
　　↓　前に調べた内容でわからない語句を調べる。
　　（図書・インターネットを活用して）
　つまり・・・自分の言葉で説明できるようにする。
　　↓
　まとめる・・・調べたこと・考え・気づきを入れる。
　　（グラフ・写真を入れて工夫する）

生徒個人から、本の依頼を受ける。（学校司書・生徒）

小さなテーマに関連する本を借りて、必要とする生徒に提供する。
（学校司書・公立図書館）
例：「トイレのはじまり」ポプラ社

公立図書館ＨＰの蔵書検索を活用して、生徒も自分に必要な図書を探す。
（学校司書・生徒）
例：「こやしと便所の生活史」ドメス出版

ウ　発表をする

ポイント３：全員が発表する。
　・ポスターセッション　（６人グループで、発表を聞きあう）
　・評価しあう
　・作品を廊下に展示する。

活動を進めていくと、資料は一度の提供では、足りなくなる場合があります。
生徒の必要に応じて、補充提供できると、さらに充実した活動ができます。

（2）調べ学習に役立つパスファインダーを作る

パスファインダーは特定のテーマに関する資料の探し方をまとめたリーフレットです。図書館では、子どもたちの調べ学習にスムーズに対応できるように、あらかじめよく聞かれるテーマの本や情報源についてパスファインダーにまとめて用意します。また、ホームページで公開すればより効率的に本や情報を案内できます。

ア　テーマの設定

よく聞かれるテーマ（例：「昔調べ」、「はたらくくるま」など）をピックアップします。また、どのようなテーマが必要か学校に問い合わせるのも良いでしょう。ここでは小学生を対象とした「昔のくらしについて調べる」を取り上げてみます。

イ　本、情報を集める

設定したテーマに関連する本や情報を集めます。この例は、小学生対象ですが、大人向けの本にも役立つものがありますので、子どもの本ばかりではなく広い範囲で本や情報を集めます。例えば昭和の町の様子を写真で紹介した「東京タワーが建ったころ」（第三書館）などがあります。

ウ　編集と配布

集めた本と情報をリーフレットの形にまとめます。配布する場合は、対象となる子どもに直接配布することもありますが、館内の関連する本が置いてある場所に自由に持ち帰りできるように置いておくと良いでしょう。また、ホームページに掲載し、ダウンロードして利用できるようにするのも効果的です。次の例は、横芝光町立図書館のブログ上に掲載したものです。

http://blog.goo.ne.jp/hikari_library/e/6dba0a8a0c8d9db40b7e2146c326f33c

横芝光町立図書館パスファインダー

今と昔をくらべてみよう！
「昔しらべの本」のさがし方

横芝光町立図書館

まず、しらべるためのキーワードを考えよう！

◆キーワード◆
昔／くらし／昭和／大正／明治／100 年／うつりかわり／物価. . . など

◆キーワードからどんな本があるか調べるのに便利な本◆
［031］どの本で調べるか（リブリオ出版）

としょかんで見ることができる本

◆いつごろと比べますか？しらべる時代をきめよう◆

□昭和（戦後～30 年代）□

・父さんの小さかったとき（福音館書店）
・母さんの小さかったとき（福音館書店）
・東京は変わった 定点撮影 50 年（岩波書店）
・写真と作文でつづる昭和の子どもたち（学研）
・東京タワーが建ったころ（第三書館）
・オリンピックのころの東京（岩波書店）

□昭和（40～50 年代）□

・少年ブーム（晶文社）
・図説昭和レトロ商品博物館（河出書房新社）

□10 年前□

・ジュニア朝日年鑑（朝日新聞社）
・こども 10 大ニュース（国土社）

□明治～現代□

・町とくらしのうつりかわりシリーズ（小峰書店）
・絵や資料で調べる明治・大正・昭和・平成時代（あかね書房）
・日本の生活 100 年の記録（ポプラ社）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり（くもん出版）
・昔のくらし ポプラディア情報館（ポプラ社）

◆どんなことについて調べますか？◆

□町や村□

・村のくらし、昔と今（小峰書店）
・ある都市のれきし（福音館書店）
・東京は変わった 定点撮影 50 年（岩波書店）
・ふるさとの「まち」や「むら」（学研）
・町のうつりかわり（岩崎書店）

□くらし□

・すまいとくらしの道具、昔と今（小峰書店）
・父さんの小さかったとき（福音館書店）
・母さんの小さかったとき（福音館書店）
・住まいとくらしの 100 年（ポプラ社）

・こどもの生活の 100 年（ポプラ社）
・くらしの移り変わり（学研）
・家のくらしのうつりかわり（岩崎書店）
・文化と流行の 100 年（ポプラ社）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 2 電化製品（くもん出版）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 3 （くもん出版）
・昔のくらしの道具事典（岩崎書店）
・昔の子どものくらし事典（岩崎書店）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 7 ことばと文字（学研）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 3 住まいと家具（学研）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 1 着る物とはきもの（学研）

□学校□
・みんなの学校、昔と今（小峰書店）
・こどもの生活の 100 年（ポプラ社）
・学校生活の移り変わり（学研）
・学校のうつりかわり（岩崎書店）

□遊び□
・少年ブーム（晶文社）
・遊びとくらし、昔と今（小峰書店）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 5 行事と遊び（学研）
・こどもの生活の 100 年（ポプラ社）
・子どもの遊びのうつりかわり（岩崎書店）
・日本人の 20 世紀くらしのうつりかわり 5 遊び（小峰書店）
・遊びと仲間（学研）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 5（くもん出版）

□たべもの□
・食生活の 100 年（ポプラ社）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 1 たべもの（くもん出版）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 2 食べ物と調理器具（学研）

□仕事□
・工場と町、昔と今（小峰書店）
・仕事のうつりかわり〈おかあさん〉（岩崎書店）
・仕事のうつりかわり〈おとうさん〉（岩崎書店）
・産業の 100 年（ポプラ社）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 4 仕事と道具（学研）

□交通□

・町と交通、昔と今（小峰書店）
・道と乗り物のうつりかわり（岩崎書店）
・乗り物と交通の 100 年（ポプラ社）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 4 乗りもの（くもん出版）
・玉電が走った街今昔（ＪＴＢ）
・横浜市電が走った街今昔（ＪＴＢ）
・教科書がよくわかる図解むかしのくらし 6 町や村と乗り物（学研）

□お店□

・お店と町、昔と今（小峰書店）
・新聞広告で見つけよう！明治から平成くらしのうつりかわり 2 電化製品（くもん出版）
・調べ学習に役立つ社会科データブック 10 家計とくらし（小峰書店）

新聞や雑誌でしらべよう！

昔の新聞を見ると、その時のもののねだんなどをしらべることができます。
図書館にある新聞をしょうかいします。
朝日新聞縮刷版／朝日新聞マイクロフィルム版（昭和 2 年～30 年）
千葉日報縮刷版／千葉日報マイクロフィルム版（創刊～）

インターネットでしらべよう！

インターネットでも昔のできごとなどをしらべることができます。
・Yahoo!キッズ（http://kids.yahoo.co.jp/）

身近な町を歩いてみよう！

町を歩いてみると古い建物などが残っていることがあります。
[参考になる本]
・ぼくらの地図旅行（福音館書店）
・地図がたのしくわかる本 5 地図の歴史（ポプラ社）
・ある池のものがたり（福音館書店）

昔をしらべるために（はくぶつかんなど）

はくぶつかんのホームページなども見てみよう。

国立歴史民俗博物館（http://www.rekihaku.ac.jp/kids/index.html）
江戸東京博物館（http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/）
千葉県立中央博物館（http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/）

図書館で聞いてみよう

本が見つからないときは図書館できいてみよう。

６　ボランティアとの連携

学校図書館の仕事は多岐にわたるため、多くの人手が必要です。保護者や地域のボランティアの協力を得ることにより、学校図書館の環境が整えられ、子どもが読書に親しむ機会もより増えることが期待できるでしょう。

協力してもらう仕事の例として、次のようなものが挙げられます。

○　読み聞かせ
○　ブックトーク
○　学校図書館に関する広報活動
○　図書データの入力
○　蔵書点検
○　本の修理
○　配架や整理　など

（１）ボランティア活動のいろいろ

ア　富里市のボランティアによるおはなし会

富里市では、図書館ボランティア「もりのなか」が教室や学校図書館で「おはなし会」を行っています。

（ア）図書館ボランティア「もりのなか」の特徴

図書館が募り、本の持ち方、選書のしかたなど、読み聞かせの基礎から学んでいただきました。現在も図書館児童担当者とともに、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどの勉強を続けているグループです。

（イ）学校でのおはなし会

学校から図書館へ申込をしてもらいます。その後、月例の勉強会時に参加人数の調整をし、担当クラスを決めます。プログラムは、各クラスの担当者が組みますが、必ず図書館の児童担当職員が確認し、事前練習にも立ち会っています。

また、おはなし会の本は、必ずその学校か市立図書館に蔵書があるものとし、おはなし会の最後にその本がどこで借りられるかを紹介して、子どもたちが本を手にすることができるよう努めています。

イ　船橋市立三咲小学校の保護者ボランティア

仕事の内容によって、三つの保護者ボランティアグループがあります。学級担任以外の職員（少人数担当）が担当者として連絡を受け持ち、活動内容によって学級担任や図書館司書教諭・図書事務職員、校長・教頭・教務主任等との間で調整を行います。

・「おはなしの会　わたぼうし」

読み聞かせを担当するボランティアグループです。地域で活動している「文庫」の方の指

導・協力を得て活動しています。読み聞かせのための選書は地域の公立図書館を利用しています。

現在、毎週月曜日の朝読書の時間に、６～９人の方が各学級で読み聞かせを実施しています（どの学級も１ヶ月に１回程度)。

そのほかに、季節ごとに考えた内容で学年での読み聞かせがあり、入学記念や卒業記念の読み聞かせも実施されています。

活動場所は、ＰＴＡ会議用の和室です。

・「ふくろうママ」

蔵書データ入力を担当してくださるボランティアグループです。通年での活動ではなく、時期を限って活動しました。

活動場所は、学校図書館です（蔵書管理用のパソコンがあるため)。

・「図書館環境ボランティア」

おはなし会用の部屋「おはなしルーム」の壁面装飾等、環境整備を担当するボランティアグループです。

季節感を考え、おはなし会の内容に合わせた掲示物を作って活動しています。

活動場所は、「おはなしルーム」です。

これ以外に、学校外の団体として次のボランティア団体が入っています。活動日については、各学年の予定をもとに担当者（教頭）が話し合いを持って決定しています。

・「船橋市地域文庫連絡会」
・「船橋民話フェスティバル連絡会」

どちらも、年１回、学年または学級単位でおはなし会を実施しています。

（２）ボランティアの募集方法

新しくボランティアを募集したり依頼したりする際は、次のようなことに留意するとよいでしょう。

また、学校では謝礼は出せません。その点は初めにお断りしましょう。朝会や学校便りの紙上でお礼を述べたり、活動の様子を写真で差し上げたりして、誠意を持って対応することが必要です。

ア　ガイドラインの作成

学校として、ボランティア受け入れのためのガイドラインを作成しましょう。ボランティアの立場を尊重しつつ、個人情報の保護等に配慮することが必要です。

○　校内におけるボランティアの位置づけ
○　児童生徒の個人情報保護について　など

イ　具体的な内容を明確にして伝える

何をしてほしいのか、学校の考えをスタート時にはっきりさせましょう。職員の共通理解を図りましょう（混乱や誤解を招かないために）。

すでに活動している外部の団体に対しては、相互理解を図る必要があります（それぞれ団体ごとの考え方があるので、合わない場合はお断りすることもあります）。

○　やってほしい内容をきめます。

内容が複数ある場合は、基本的に別々のグループ（組織）にします。「○○は自信ないけど、これならできる」という人が案外多いものです。その上で、重複登録は自由にします。

○　活動時期、時間、回数の目安を立てます。

募集の際の目安なので、ボランティアグループが成立した段階の話し合いや活動の進行状況によって、活動日等が変わることがあります。

○　活動場所を校内に確保します。

ウ　学校側の連絡担当者を決める

小学校の場合は、空き時間がほとんどなく正課時間中は抜けられないので、担任以外が望ましいでしょう。

エ　アからウまでが決まったら、学校便り等で募集

読み聞かせや本の修理のグループは技術が必要な場合もあります。公立図書館に研修を相談してみましょう。

図書館ボランティア活動に関する注意事項

○○小学校

○ ボランティアの登録期間は　月　日から　　年３月３１日までです。
○ 活動に対しては無償となり、交通費等の支給はありません。
○ 活動中のけが等については、学校で加入しているボランティア保険の適用範囲内で対応します。
○ 担当は○○教諭です。不明な点等については必ず相談してください。
○ 学校への出入り時には必ず事務室や職員室へ声をかけボランティアでの来校だということがわかるよう名札をつけましょう。
○ 秘密の保持をお願いいたします。児童や家庭等に関して知りえた個人情報は、他にお話にならないようお願いいたします。
○ 読み聞かせについては、学校から指定された時間のみ行います。選書については必ず担当教諭に相談し、学校図書館または市立図書館にある本を使用してください。（これは、子どもたちにその本を手にしてもらうためです）

第３章
高等学校編

1. 県立図書館のサービス
2. 相互協力の活用
3. 「課題研究」と図書館のコラボレーション

１　県立図書館のサービス

県立図書館（中央図書館・西部図書館・東部図書館）では、県内の公立図書館や高等学校等と連携し、相互協力（図書館資料の貸出、協力レファレンス及び複製の申込み等）業務を推進しています。平成１９年度は、７３の高等学校が県立図書館のサービスを利用し、子どもの読書活動や学習活動を進めています。

県立図書館３館は、次のとおり奉仕対象地域を分担し、相互協力業務の窓口となっています。

区　分	エ　リ　ア
中央図書館	千葉市・市原市・習志野市・八千代市・佐倉市・成田市・四街道市・八街市・富里市・酒々井町・印旛村・茂原市・勝浦市・館山市・鴨川市・木更津市・君津市・袖ヶ浦市・南房総市・大多喜町・いすみ市・富津市・栄町・本埜村・一宮町・睦沢町・長柄町・鋸南町・長生村・御宿町・長南町・白子町
西部図書館	船橋市・市川市・浦安市・松戸市・柏市・野田市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市・印西市・白井市
東部図書館	香取市・銚子市・旭市・匝瑳市・東金市・山武市・東庄町・横芝光町・神崎町・多古町・大網白里町・九十九里町・芝山町

県立図書館のサービスを利用するには、まず「県立図書館資料図書館間貸出し利用申込書」を県立図書館に提出します。資料の搬送方法等を確認し、事務処理が済み次第、サービスが利用できます。

生徒の読書活動や学習活動を進める上で、学校図書館の果たす役割はとても重要です。県立図書館のサービスを大いに利用しましょう。

★お問い合わせ★

千葉県立中央図書館館外奉仕課
〒260-8660　千葉市中央区市場町 11-1
TEL　043-225-1195　　FAX　043-225-8355

千葉県立西部図書館協力課
〒270-2252　松戸市千駄堀 657-7
TEL　047-388-4043　　FAX　047-384-1371

千葉県立東部図書館協力課
〒289-2521　旭市ハの 349
TEL　0479-62-7110　　FAX　0479-62-7466

県立図書館資料図書館間貸出し利用申込書

平成　　年　　月　　日

千葉県立中央図書館長　様

所在地

学校名

校長氏名　　印

図書館利用規則第７条の規定により県立図書館が所蔵する資料の図書館間貸出しサービスを受けたいので，申し込みをします。

（１）図書館資料の検索

千葉県立図書館のＨＰで所蔵確認ができます。

県立図書館ホームページアドレス　http://www.library.pref.chiba.lg.jp/

主な検索

○図書・雑誌・視聴覚資料の検索

県立図書館３館の所蔵資料を、タイトル、著者名、出版社名、キーワードなどで検索できます。

○千葉県内図書館横断検索

県立図書館３館と３０市町立図書館の所蔵資料が同時に検索できます。

○新聞・雑誌総合目録検索

県立図書館３館と県内公立図書館の新聞・雑誌の所蔵状況を検索できます。

○韓国・朝鮮語図書の検索

県立図書館３館の所蔵資料を、タイトル、著者名、出版社名などで検索できます。

○中国語図書の検索

県立図書館３館の所蔵資料を、タイトル、著者名、出版社名などで検索できます。

（２）図書館資料の貸出

ア　貸出期間・冊数

４週間（ただし、雑誌は２週間）、貸出冊数の制限はありません。

イ　貸出期間の延長

貸出期間内であれば、１回だけ連絡受付日から４週間の延長ができます。

（参考図書・雑誌及び予約の入っている資料の延長はできません。）

ウ　申込方法

（ア）電子メールの場合

千葉県立図書館のＨＰ内の「図書館員のページ」（ＩＤ・パスワードの事前申請が必要）で資料検索後、「相互依頼」ボタンをクリックし、連絡方法を選択してください。

（イ）ＦＡＸの場合

「千葉県立図書館相互貸借申込書」（「相互協力業務ハンドブック（高等学校編）」掲載）に記入し、申し込んでください。

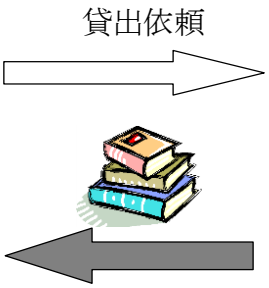
（ウ）電話の場合

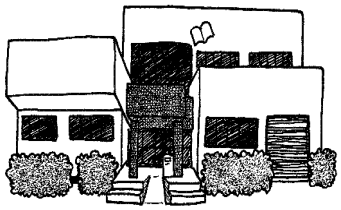
緊急を要する場合等は、電話でも申込みを受け付けます。

高等学校図書館への資料の貸出

平成１９年度、県立図書館が高等学校へ貸出した資料は１２，１０８冊でした。平成１８年度は８，０６０冊で、年々増えています。各教科の授業や総合的な学習の時間での利用はもちろんのこと、修学旅行・インターンシップ等の事前学習での利用や、文化祭等の学校行事、進路指導、委員会活動や部活動での利用など幅広く利用されています。

高等学校





県立図書館

＜例＞

「海外の国を知ろう！日本以外の国の文化・歴史を知ろう！」 １年英語の授業で、自分の行ってみたい国の文化や歴史、民族、また現在の状況を調べ、レポートにまとめます。	図書 『ドイツを知るための６０章』（明石書房） 他６２冊 雑誌 『Days　Japan』２００６年８月号 他１８冊
「環境問題について」 保健の授業で調べ学習を行います。大気汚染・地球温暖化・三番瀬問題等幅広い範囲で絵や図・写真の多い本を５０冊程度。児童書も５０冊ほど借りる予定です。	図書 『環境ホルモンって何だろう？』（徳間書店） 『だれも教えなかった環境問題』（総合法令） 『リサイクル知恵袋』（中央法規） 『東京湾三番瀬』（三一書房） 他５２冊
「沖縄についての本」 修学旅行の事前学習で、調べ学習をします。本校にないものを希望。	図書 『聞書き沖縄の食事』（農文協） 『証言記録沖縄住民虐殺』（新人物往来社） 他２０冊
「インターンシップ保育園実習」 保育園児に楽しんでもらうお祭り・催しの企画についての資料を１０冊程度。資料を使って生徒が計画を立てます。	図書 『幼稚園保育園遊び方・遊ばせ方100選』（文教書院） 他１０冊
「進路指導：インテリアデザイン」 家具全般、ライトなどインテリアデザインを紹介している本。写真がメインで、解説が少し載っているもの。３年生の生徒が利用します。	図書 『インテリアスタイリング事典』（川島インターナショナル） 『住まいの照明』（産調出版） 他１０冊

（３）協力レファレンス

資料の所蔵調査や「○○に関する本はないか？」「○○について知りたい？」等の質問・相談を受けています。

学校図書館で調査しにくい専門的な事項がある場合には、ホームページ内の「図書館員のページ」の『協力レファレンス』から申し込んでください。

なお、「千葉県立図書館協力レファレンス申込書」（「相互協力業務ハンドブック（高等学校編）」掲載）に調査事項を記入し、ＦＡＸで申し込んでいただいても結構です。その際、質問者・資料利用者が、教員であるか、生徒であるか、が、わかるように記入してください。

また、授業で利用する場合は、学年・教科（科目）・学習内容等も記入してください。

県立図書館ではデータベースを用いてのレファレンスも行っています。お気軽にご相談ください。

また、学校種ごとにレファレンス案内パンフレットを作成し、サービスの申込方法や調査相談の回答例を掲載していますので参考にしてください。

【学校種別パンフレット URL は http://www.library.pref.chiba.lg.jp/school/school02.pdf】

〈例〉高等学校図書館からの協力レファレンス

約１２５万冊の県立図書館の蔵書やデータベース、県内外のネットワークから必要な情報を提供します。平成１９年度は１，２９６件のレファレンスの申込みがありました。

（４）複製の申込み

県立図書館所蔵の資料を著作権法の範囲内で複製してお届けします。

高等学校の図書館では、県立図書館や市町村立図書館から借り受けた図書館資料を複製することは、著作権法で許されていません。

公立図書館では、調査研究の目的に限り、著作物の一部分について、一人一部のみ複製が認められています。（著作権法第 31 条）

○　図書　　本文の半分以下

○　地図　　一枚の半分以下（※）

（※国土地理院刊行の地図については、一図葉の全部）

○　新聞・雑誌の最新号　　一つの記事の半分以下

県立図書館の資料の複製を希望される場合は、貸出とは別に「資料複製申込書」（「相互協力業務ハンドブック（高等学校編）」掲載）にて申し込んでください。

〈例〉高等学校図書館からの複製申込み

平成１８年度は２０６枚、平成１９年度は３９枚の複製の申込みがありました。
料金は、白黒１枚１０円、カラー１枚７０円、用紙サイズはＡ３～Ｂ５です。

（例）○千葉県内公立学校入学認可候補者数について

千葉日報　　平成１８年３月８日２面　他

○千葉県内の学校管理下における子どもの安全について

判例時報　　No. 1324　　128～134 ページ

判例タイムス　　No. 757　　142～146 ページ　他

相互協力（資料の貸出、協力レファレンス及び複製の申込みなど）のサービスについての詳細は、「相互協力業務ハンドブック（高等学校編）」によりますので、県立図書館にお問い合せください。

２　相互協力の活用

相互協力により、高等学校では、県立図書館をはじめ公立図書館から資料を借りることができます。生徒や職員の希望する資料を取り寄せることができるのはもちろんですが、その他に、授業や行事にもどんどん活用することができます。

たとえば、教科・領域の授業の中で調べ学習をするために多数の資料を準備したり、進路指導・キャリア教育の一環として、さまざまな大学や専門学校の学習内容について調べるための資料を揃えたりすることができます。

ここでは、特別授業のための資料準備の例として、県立成東高等学校の大学模擬講義について紹介します。

（１）県立成東高等学校のあらまし

県立成東高等学校は、千葉県の東部、山武市にあり、日頃から積極的に公立図書館との連携を進めている学校の一つです。授業で使ったり教員が教材研究したりするための資料や、生徒からのリクエスト資料などを、県立図書館や市町村の図書館から数多く取り寄せています。

大学への進学希望者の多い成東高校では、進路学習のための特別授業として、全校生徒を対象に、３０ほどの大学から講師を招き、大学模擬講義（全校学部学科ガイダンス）を行っています。大学での講義、もしくはそれに準じる内容の講義であり、テーマも法学、薬学、工学、体育学等さまざまです。

（２）大学模擬講義と図書館の関わり

ア　大学模擬講義

大学模擬講義は６月下旬に行われます（平成１８年度は６月２０日実施、３１講義、講師３２人）。実際の講義は１日だけですが、それまでに生徒は各自で事前学習を行い、自分の受ける講義内容の下調べをしておきます。事前学習の時間を授業時間の中では特に設けていませんので、生徒は放課後等を利用して、学校図書館に通うことになります。

各自の受講テーマが決まるのは、講義実施の１週間ほど前ですので、この１週間で全生徒が事前学習をしなくてはならないことになります。学校図書館では、いつ生徒が来ても学習できるように、十分な資料を揃えておかなければなりません。

事前学習の用紙や当日の受講ノートは、後日記録集にまとめられ、各教室に配布されます。それを見れば、生徒は自分の受講した講義

以外についても知ることができます。

平成１８年度の講義の一例を挙げると、以下のようなテーマがありました。

学部系統	講義テーマ	講師
法学	法学で学ぶこと	大東文化大
経営・商学	なぜ経営学を学ぶのか	千葉大
国際関係	冷戦後の国際社会	敬愛大
心理学	生涯発達心理学：「100万回生きたねこ」を資料にして	淑徳大
教育学	ヒトが人間になるということ：文化の伝達としての教育	早稲田大
医学・看護学	小児医療に携わって	群馬大
薬学	抗生物質は、どのように病原微生物を殺すか	東邦大
農学	バイオマスエネルギーについて	東京農業大
体育学	学ぶ心：スポーツの達人をめざして	順天堂大
電気・電子・情報	電波で見る宇宙と地球	千葉大

このような多岐にわたる講義内容に合わせた資料を用意するためには、公立図書館との連携が重要になってきます。

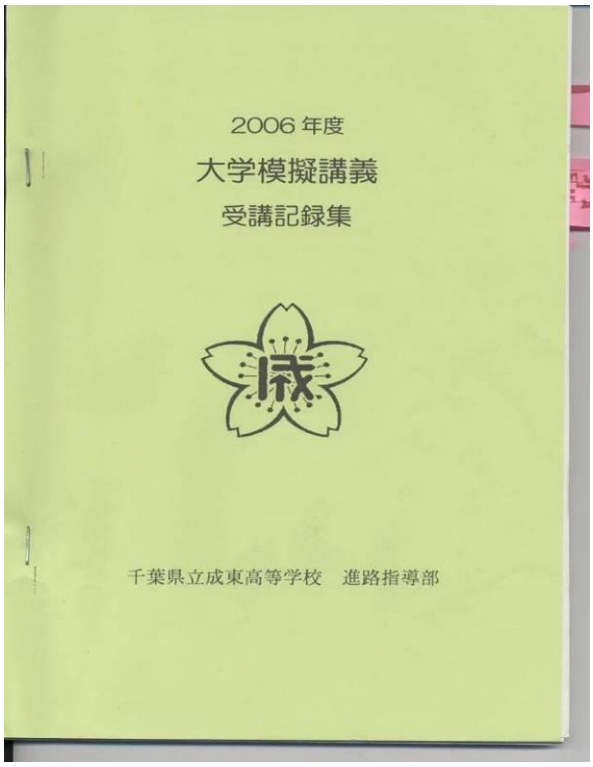
イ　県立図書館からの資料貸出

模擬講義の日程が決まると、「千葉県立図書館協力レファレンス申込書」（「相互協力業務ハンドブック（高等学校編）」様式２）を用いて、成東高校から東部図書館に各講義の講師名とテーマ等が送られてきます。講師や講義内容が決まったものから随時連絡がきて、全講義出揃ったところで一覧表が送られてきます。

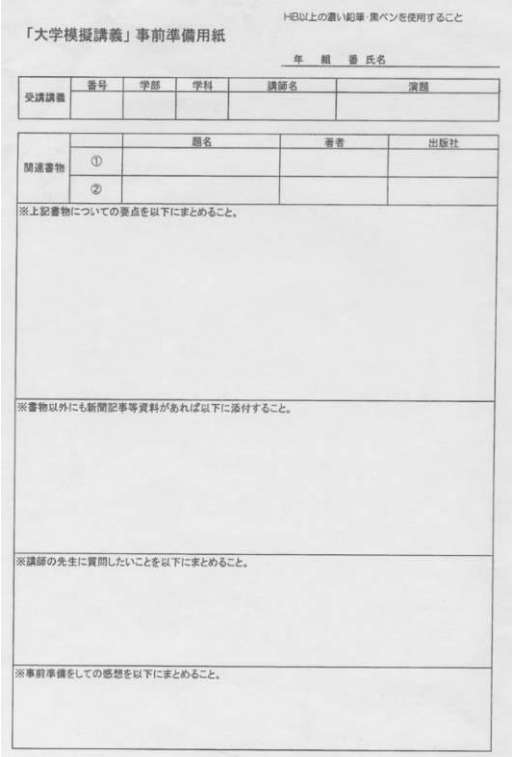
集められた資料は、講座ごとにまとめて机の上に置かれ、いつ生徒が来ても使えるようにされています。

東部図書館では、それぞれのテーマにあわせて資料を選び、巡回車で高校へ送ります。県立中央・西部図書館や市町村立図書館の資料も借りられるように手配します。平成１８年度は、約１５０冊の資料を県立から貸し出しました。『１００万回生きたねこ』のように、講義の中で決まった資料を用いる場合には、県立図書館からだけではなく多くの市町村立図書館に依頼し、同じ資料を何冊も取り寄せる場合もあります。

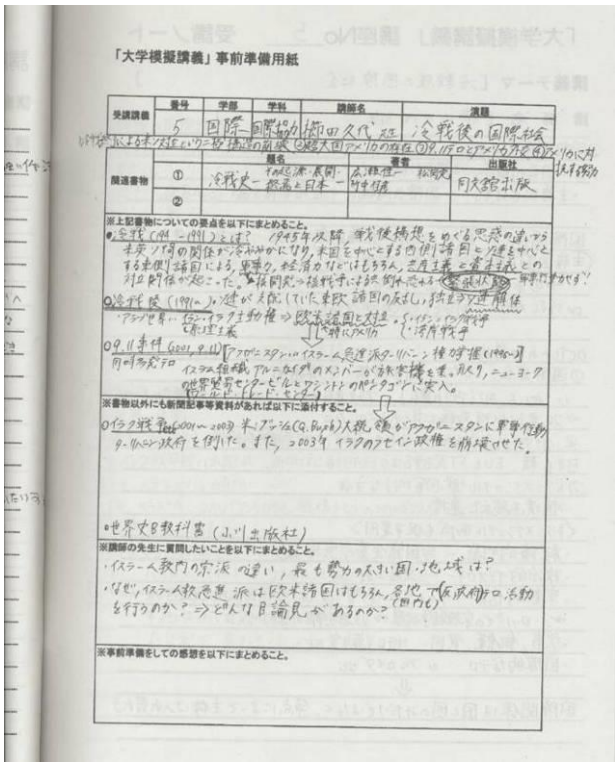
東部図書館では、夏休みに高校の図書館と読書施設の担当者を対象に情報検索の研修会を開催しました。平成１８年度の模擬講義では、成東高校自ら検索した結果により必要な資料を申し込み、さらに、東部図書館ではそれに合わせた補足資料を貸し出すことができました。おかげで、一層、資料選択の効率化が図れ、県立図書館側も余裕を持って、資料を探せるようになりました。

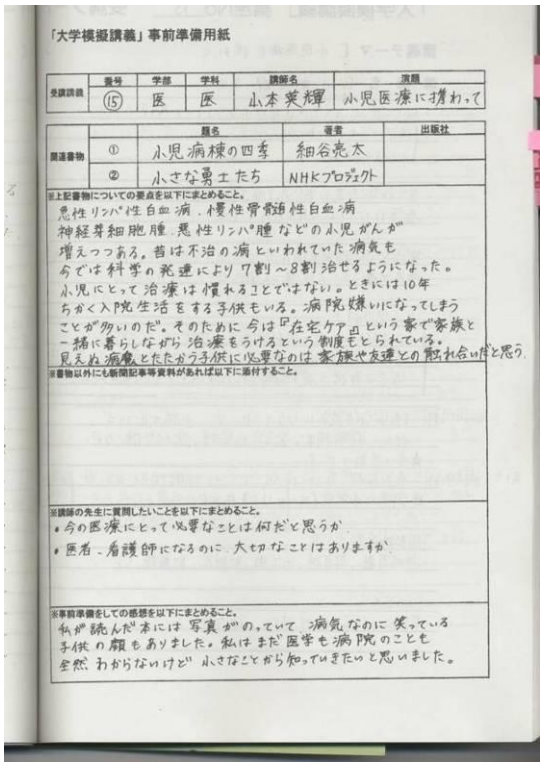


生徒の事前学習や受講ノートをまとめた記録集



生徒個々が事前にまとめるプリント





図書館資料を活用して生徒がまとめたプリント

（３）県立図書館では他にもこんなことができます

県立図書館で行っているのは、資料の貸出やレファレンスだけではありません。さまざまな面で、学校との連携を図っています。平成１８年度の例を中心に、いくつか紹介します。

ア　図書館体験

（ア）図書館見学

県立松戸秋山高等学校図書委員会が西部図書館を見学しました。

①図書館の概要説明
・県立図書館ってどんなところ？
・県立図書館のサービス
・公立図書館のネットワーク

②図書館見学（書架・書庫・事務室）
③希望者には利用カードの作成

（イ）職業体験・社会体験の受け入れ（中央・西部・東部）

実際にカウンターに出て、資料の貸出や返却を行うほか、資料の整理や相互協力業務など、ふだん利用者として見ているときにはわからない仕事も体験します。

★体験の種類には、このようなものが★
①高等学校・養護学校からのインターンシップ
②中学生の職業体験
③教員の初任者研修・経験者研修での社会体験

イ　研修

（ア）高等学校図書委員連絡協議会

「東総地区総会及び研究会」を東部図書館で行い、午後の研究会では、図書館職員が講師を務めました。平成１８年度は、「資料検索の実践」というテーマでした。

★研究会：資料検索の実践★
①資料の探し方概論
・県立図書館ＨＰや横断検索を用いた図書検索
・ＮＤＣを用いた資料の分類・配架や検索

②レファレンス実習
③マイクロフィルムについて

（イ）千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会司書の会

第３地区の研修会の際、東部図書館職員がアドバイザーとして参加し、相互協力について説明しました。第５地区、第６地区、第７地区、第８地区の研修会を西部図書館で実施し、図書館職員が講師やアドバイザーを担当しました。相互協力について説明。

西部図書館での研修の様子

また、要望に応じて、「選書について」や「インターネットによる情報検索」についての研修をしました。

★インターネットで情報検索★
・キーワードを探す　・図書を探す
・新聞記事を探す　・雑誌記事を探す
・パスファインダーを探す　・レファレンス事例を探す

（ウ）読書施設担当者・学校図書館職員のための資料検索研修会（東部図書館）

①読みたい資料について調べる
・横断検索などを用いた図書・雑誌検索
・インターネットを使った図書・雑誌検索
・レファレンスについて

②テーマからの検索
・件名からの検索
・ＮＤＣによる検索

ウ　運営相談

県立図書館では、学校図書館の運営についての相談活動を行っています。電話等で相談に応じるほか、東部図書館では、図書館職員が直接学校を訪問して、学校図書館の運営や検索についての相談活動を行っています。

★運営相談の例★
・選書や廃棄について　・配架について
・蔵書点検について　・検索の仕方について
等

３　「課題研究」と図書館のコラボレーション

課題研究を実践している高等学校は、県内にも数多くあります。しかし、生徒自らが課題を設定し、年間を通して調査研究を行い、レポートを作成し、プレゼンテーションまで実施している学校は少ないのではないかと思います。

県立成田国際高等学校では、課題研究は学校設定科目から発展した形で全生徒が履修する総合的な学習の時間の中で行われています。ここでは、県立成田国際高等学校が課題研究を実施する上で学校図書館が果たした役割と公立図書館との関わりについて報告します。

（１）県立成田国際高等学校のあらまし

本校は、成田ニュータウン内に位置する県立高校です。昭和５０年に「普通科」高等学校として開校した比較的新しい学校です。

平成４年に成田西高等学校から、現在の成田国際高等学校に改称されました。国際理解教育の推進校として特色ある科目を設定し、交換留学等も積極的に行っている学校です。

また、国際理解教育を全面に打ち出すため、それまでの「普通科」と平成２年から新設された「英語科」に加え「国際教養科」が増設されました。国際空港に隣接していることもあり、外国籍生徒の受入をはじめ海外帰国子女も多数在籍しています。校内では、日々異文化理解や国際交流が行われています。平成１８年には、英語科と国際教養科が合併し国際科となりました。

（２）国際教養科の設置と課題研究の始まり

平成４年に新設された国際教養科では、学校設定科目として２年次の「課題研究」が学科開設以来設定されています。その内容は、生徒自身によるテーマの自主設定などいわゆる「総合的な学習の時間」を先取りしたものでした。「課題研究」の実施は、国際教養科３クラス１２０名余の生徒を１２班に分け、各組の指導教官や学校司書を含め１４名の教員が担当して実施されました。

「課題研究」のような授業では、さまざまな資料や情報が必要となります。本校の図書館では、早い段階から調査研究に関する資料の選定や収集に力を入れました。テーマが決定される前年度末には、担当教諭からの希望やテーマに関する資料の購入計画を立て、年度当初には発注するといった対応をしました。

また、学校図書館の資料ではとうてい要求を満たすことができないこともあり、市立図書館との連携を念頭に置いた指導計画も立案しました。さらに、研究発表会に向けてプレゼンテーションに関する指導も行われました。

平成１５年度からはじまった「総合的な学習の時間」では、国際教養科の１０年間の実践をさらに深める形で、全生徒が履修し全教員が関わることになりました。

（３）総合的な学習の時間と課題研究（『はばたき』の時間）

平成１５年度から高等学校で実施された「総合的な学習の時間」に関し、平成１３年度に「総合的な学習の時間」実施準備委員会が発足しました。

委員会で審議されたポイントをまとめると次のようでした。

○　「総合的な学習の時間」の名称を「はばたき」とする。

○　検討課題

１）進路プランニングの具体的な展開方法
２）国際理解教育の具体的な展開方法
３）従来の「国際理解教育」を継続するか？
４）秋季セミナー(英語科１年生徒対象)をどのように位置付けるか
５）図書館指導やインターネット利用指導のあり方
６）時間割作成上の問題点
７）担当教諭へのサポート体制の確立
８）評価方法

○　留意点

１）『指導要領』における「総合的な学習の時間」の２つのねらい
①　自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
②　学び方やものの考え方を身につけ、問題解説や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己のあり方生き方を考えるようにすること。
２）「総合的な学習」と「特別教育活動・ＬＨＲ」や「教科」の学習との棲み分け。
３）中学校までの活動の検討

委員会の審議を経て国際教養科をはじめ、普通科・英語科の全生徒が履修することに決定しました。

また、「総合的な学習の時間」を『はばたき』の時間と設定し、進路指導を兼ねた指導を進めています。子どもたちの進路設計の過程で将来目指すであろう職業や自らの将来像を想定しながら課題研究を実施していくものです。つまり、子どもたち自らが自身の興味関心に即しながらテーマを設定してゆくのです。

課題研究の目標や内容および手順は、次のように定められています。

○　目　標

生徒各自がそれぞれの興味・関心のある分野から課題を設定し、その課題についての知識を深めるとともに、問題解決の能力や自発性・創造性を身につける。

○　内　容

①　各自ひとつの研究テーマを設定し、年間を通して研究し、その成果を研究レポートとしてまとめる。

②　個人研究であり、共同研究はしない。

③　本校専任教諭が指導に当たる。ただし、講師および他の教育・研究機関の助言・指導を受けることもあり得る。

④　研究に際しては、校内の図書館のみならず、公立の図書館も利用する。また、フィールドワーク・見学・調査・実習・専門家の指導を受けるなど、さまざまな方法により研究を行う。

○　研究の手順：

１学年

１２月上旬　課題研究オリエンテーション

１２月中旬　第１次「テーマ申請」提出

２月上旬　第２次「テーマ申請」提出

３月中旬　課題研究発表会（２年生代表者の発表を聞く）

２学年

４月中旬　課題研究オリエンテーション

４月下旬　成田市立図書館オリエンテーション（Ａグループ）

５月中旬　成田市立図書館オリエンテーション（Ｂグループ）

６月中旬　第一次中間報告書提出

６月下旬　口頭試問、夏休みの活動計画

６月下旬　「知への挑戦」（前年度分）配布

９月上旬　夏休み活動報告

１０月中旬　第二次中間報告書提出

１２月中旬　下書き提出

１月下旬　論文および「論文要旨」提出

２月上旬　グループ別発表会

２月中旬　課題研究発表会

３学年

６月下旬　「知への挑戦」配布

本校図書館では、「課題研究」をサポートするための役割を次のように定めました。

①メディアリテラシーの育成　②公立図書館との連携強化
③情報検索の場、資料調査の場　④課題のまとめやレポート作成の場
⑤発表練習の場

また、担当者以外のすべての教科教諭が課題研究をサポートしていることから、学校図書館で担当する内容と教科や「課題研究」担当者が分担する内容や相互の連携を考えながら、次のようなことに配慮しています。

○　公立図書館の利用等に関しては、図書館が企画立案して指導する。
○　インターネット等のパソコン操作に関しては、教科「情報」の科目で行うが、インターネット上の情報の信頼性や情報の性質に関しては、印刷メディアとの関係をふまえ学校図書館でも指導する。
○　ワープロや表計算ソフト等の利用方法に関しては、教科「情報」で実施し、必要に応じて各教科や図書館でも指導を行う。
○　レポートの書き方やまとめ方に関しての指導は、担当者や教科指導等で行うが図書館でも必要に応じて行う。
○　プレゼンテーションツールの利用方法は、教科「情報」や他の教科及び図書館での指導が重複してもかまわない。それぞれの立場で効果的なツールの活用方法につい個人やグループに応じて繰り返し指導支援する。

学校図書館での資料調査

○　著作権に関しては、教科「情報」で指導するが、学校図書館でも重ねて指導する。
○　ネットワーク上のエチケットやマナーに関しては、総論を教科「情報」で行い、学校図書館や教科でも逐次指導する。
○　調査活動におけるインタビューや問い合わせに関してのマナー等については、教科指導と学校図書館の指導が重複してもよい。

現在、このような指導は、日常の教育活動の中で特別に意識されることなく普通に行われています。図書館が直接課題研究の授業に関わるのは、「利用教育」と「成田市立図書館オリエンテーション」です。市立図書館オリエンテーションの準備は、前年度末の打ち合わせから始まります。

①３月末‥‥‥新年度の校内行事日程と市立図書館日程との調整をかねて挨拶にうかがいます。利用者登録用紙および図書館利用案内等の資料を合わせて受領します。
②４月初め‥‥日程確認と引率生徒数の連絡。
③４月中旬‥‥利用者登録カードを図書館へ提出。
④４月下旬‥‥オリエンテーション第一回前日連絡。

学校図書館オリエンテーションでは、図書館の基本的な利用方法や検索方法など各クラスごとに１時間かけて行うことが原則です。ホームルームでの事前指導は担任が行い、市立図書館利用者登録カード等の記入指導が行われます。

課題研究の授業が進行していくにしたがって、生徒や教員への対応は次第に多くなってきます。課題に関連した資料の相談はもとより、テーマの再設定やレポートのまとめ方についての相談など多種多様です。パソコンを使ったプレゼンテーションについて相談に来る生徒もありました。

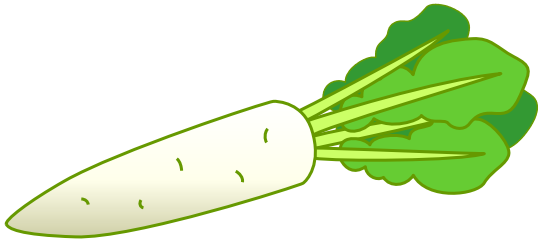
資料の面では、従来の文学関係中心から調査研究資料を多く収集し研究活動に応えられる資料構成と収集につとめてきました。また、資料検索のためのコンピュータ化をすすめ、平成１５年度からパソコン５台による図書館資料検索を可能にしました。インターネットへのアクセスも図書館から可能にしました。また、国内で出版されている約２００万タイトルの書籍を検索するシステムも導入しました。

平成１７年度、１８年度に行われた課題研究で生徒がレポートとしてまとめたテーマをいくつか列記すると次のようです。

「仮面の正体」、「聖書が与えた影響」、「筋肉の構造」、「名字の由来」、「有事法制とこれからの日本」、「『こと』の歴史」、「小学校英語を考える」、「睡眠」、「ホスピスについて」、「アメリカへの偏見」、「銃とアメリカ」、「香りの効果」などです。これらのレポートは、『知への挑戦：「課題研究」論文集』としてまとめられています。

「課題研究」以外の授業も図書館利用は活発で、英語学科や保健体育および家庭科の授業では、年間を通して図書館を利用した授業が行われています。

＜こらむ＞大根って生物？



ある日の授業で先生は大根をもって現れました。そして、つぎのように言われたのです。「この大根は生物ですか？」質問された生徒たちは一瞬考え込みました。が、しかし、多くの生徒は「生物ではありません」と答えました。この解答に頭を抱えた先生は「では、生物とはどのようなものですか？」と尋ねました。生徒いわく「動く生き物です」

以上の顛末は、ごく普通の高等学校における生物の授業のひとこまです。子どもたちは、動物と植物が「生物」であることを中学校で習って知っています。しかし、「ダイコン」が「セイブツ」かと聞かれて判断を誤ったものと思われます。日常生活の中で接している「ダイコン」は、食べ物としての「大根」であって「植物」かどうか意識していないのです。まして、「生物」であるか考えてもいないのです。いや、学習していないものを認識できないのかもしれません。大根が植物であることは理解できます。しかし、「大根」と「生物」はやはりつながらないのです。しかし、生徒ならまだ修正がききます。大人ではなかなかそう簡単にはいきません。

生物学では、エンドウは重要な実験材料です。遺伝学の父といわれるメンデルがエンドウの栽培を通して「遺伝の３法則」を発見したからです。ところが、生物の教員であってもエンドウとグリンピース(成長を終えて乾燥前の生の豆のこと)が同じものであると気づかない人がいます。実生活でであう食物としての「グリンピース」と授業で教える遺伝の発見となった「エンドウ」が結びつかないのです。

私たち人間はさまざまな事象に疑問を抱いたとき、まず自分で考えようとします。今までの知識を総動員して疑問を解決しようと努力します。自分の知識だけで解決できないと判断したとき、もっと詳しく知りたいと思うとき、自分の頭脳の代わりをしてくれるものを探します。それが友達であったり両親であったり、また、兄弟であったりすることもあります。学校に通う生徒であれば、身近にいる教員ということもあるでしょうし、教科書や図書館の資料ということもあります。したがって、学校図書館はその学校で学ぶ子どもたちが自分の頭脳の代わりとして利用できるように、多様な資料を使いやすいように整理し、その利用法について適切なアドバイスをするところでなければなりません。

高等学校では、生徒の知的要求や学習レベルが専門かつ高度となり、適切な知識や情報を効果的に提供することがさらに求められます。当然学校図書館の所蔵する資料では足りません。そんなとき、公立図書館が身近にあればより多くの資料が利用できることになります。学校が公立図書館と連携しながら学習を進めることは、教育を進めていく上での必然といえます。

学校図書館や公立図書館およびインターネットなどの情報資源を活用し、記録されている情報を選択・収集・判断・統合し自らの課題を解決していくための能力が情報活用能力です。情報活用能力を育成することは、子どもたちの知的発達におけるきわめて重要な要素であり、学ぶことへの愛好心を育てるとともに生涯を通じて情報・知識を利用し評価することの重要性を体得させることができます。生徒自身が自立的に、批判的に、そして創造的に思考する態度を育成するためには、情報源へ容易にアクセスすることが可能な環境を整備することではないかと思います。

第４章
特別支援学校編

1. 槇の実特別支援学校図書館での工夫
2. 読書活動の取り組み

１　槇の実特別支援学校図書館での工夫

特別支援学校の図書館運営においては、いつも子どもたちの傍に「本」を置こうと考えることが基本になります。幼いうちから質の良い本に出会うことで、日本語独特の心に響く心地よさを味わせたいと願うことから、すべては始まります。

「言葉」と言う文字には「言霊（ことだま）」という意味があります。日本語の美しさを子どもたちに伝えていくこと、それは「心の栄養を与えること」につながっていきます。美しい言葉で語られた物語は聞く人に感動をもたらし、美しい言葉に触れることは内面の美しさを磨くことに通じます。

本や紙芝居は、テレビやビデオ映像と違い「やりとり」が生まれます。一方的に流れてくる映像や音声ではなく、肉声による「やりとり」を大切にすること。それがコミュニケーションの力を育て、情緒面の安定想像する力を育てることにつながるのです。

（１）あたたかみの感じられる雰囲気づくり

本校は７年前に高等部棟が改築され、その時に学校図書館も新設されました。暖かみのある雰囲気づくりを心がけ、床にはカーペットを敷き木製書架にしました。小学部の児童でも読みたい本が容易に手に取れるように書架の高さは低くしてあります。絵本スタンドも用意し、季節や行事に応じたお薦めの本を展示しています。

蔵書には児童書の他に紙芝居やエプロンシアター、調べ学習用の本が揃えてあります。音の出る本や触って楽しむことのできる指人形絵本、布の絵本、仕かけ絵本、写真絵本なども購入しています。中学部や高等部向けに、性教育の本や男女交際、エチケットに関する本もあります。自立をめざして頑張っている生徒たちには、簡単な料理の本が好評です。

（２）迷子の本を減らすには

常駐の教員はいませんが、好きな時間に本が読めるよういつでも部屋は開いています。

本は、貸出簿に記入して借りることになっています。部屋に鍵はかけず、自由に本を使えますが、生徒がどの棚に返していいのかわからないことが多く、「迷子の本」（紛失本）が増えていく一方でした。文字の読めない子どももおり、日本十進法分類でラベルを貼っても、子どもが理解しにくいのでは紛失本は減りません。

【色別シールでの本の分類（本校独自の工夫）】

① 本の背に、題名の最初の文字が「あ・か行」ならば赤色のシール、「さ・た行」なら青色のシールを貼ることに決定。　例：「あかずきんちゃん」→赤いシール

② 全校の職員に協力を仰ぎ、全ての蔵書に色別のシールを貼る。

③ 棚にも色別のカードを貼り、子どもが目で見て本を戻す棚がわかるようにする。

（3）本をいとおしんで使う

学校図書館の本は、地方交付税交付金で購入した備品ですが、紙でできた破損しやすい形態の特殊な備品です。特別支援学校で破損や紛失を恐れていたら、部屋は開架式にできませんし、本を自由に読むことも難しくなってしまいます。

【破損時の修理】

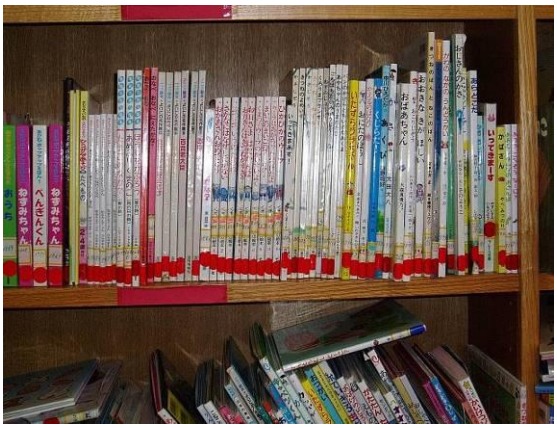
- 破れにくいようにコーティングフィルムで本を補強。
- 破れたら修理するが、あまりにも破損がひどい場合は買い換える。
- 修理する場合は、セロハンテープでなく必ずコーティングフィルムで貼る（セロハンテープは劣化しやすく１年持ちません！）。

破損した本は、それだけ子どもたちに愛された本だと考え、次年度購入するリストに入れることにしています。新しい本を購入することと同時に、より子どもたちに読んでもらえる本を購入することが大事です。部屋を設置できない事情があったとしても、図書コーナーなどを設け、きちんとした選書を積み重ね、魅力的な本を展示すれば、子どもたちも本を手に取ってくれるでしょう。

学校図書館の展示例

部屋の正面
入り口には高等部陶芸班が制作したプレート！

絵本の展示コーナー
今回はクリスマスの本



本の装備と説明ポスター

２　読書活動の取り組み

（１）積極的に読書の時間を取り入れる

児童生徒たちは本を読むこと、読んでもらうことが好きです。学習時間以外でも学校図書館には児童生徒の姿があります。そこで、余暇の活用に読書が役立てばと考え、積極的に読書を取り入れています。

小学部

日常生活の指導の時間（朝や帰りの会）や国語・算数の課題学習の時間に読書活動を取り入れています。この時間は、教員による「読み聞かせ」という形が多くとられています。

休憩時間には、自分の好きな本を自由に読んだり、教員に読んで欲しいと要求したりする姿が多く見られます。要求に応じて本を読んでいると、傍に来て聞いている子もいます。特に誘わなくても、本を読む私の回りに学級の子どもたちが自然と集まっている様子が見られます。

中学部

「ジョイタイム」という総合的な学習の時間に「おはなしタイム」を設け、読書の好きな児童に読書活動の支援をしています。また、「総合的な学習の時間」や「生活単元学習」の調べ学習用資料として、学校図書館の本を活用するようになります。

高等部

昼食後の休憩時間に学校図書館に来て、自由に好きな本を読むことが多くなります。

また、中学部同様に、調べ学習用資料として学校図書館を活用しています。

図書委員会の活動も行っていて、蔵書の整理や部屋の清掃などをしています。

（２）地域の公立図書館に相談する

本校では、路線バスで５分の距離にある袖ヶ浦市立長浦おかのうえ図書館の協力を得ながら、読書活動を推進しています。

① 団体貸出の手続きをすることにより、図書館資料を活用できます。

② 事前に連絡すれば、中・高等部の生徒は調べ学習に利用できます。

→ 利用時のマナー指導が必須！

③ おはなし会のプログラムや学校図書館の選書の相談に乗ってくれます。

→ 同じ昔話でも訳者が異なるものの選書など、相談することでより質の高い本を選べます。

④ 出張おはなし会を依頼できます。

→ まずは地域の図書館に相談し、そこで対応が難しいときでも、あきらめずにボランティアセンターや県立図書館に相談してみましょう。

県立図書館でも学校種ごとにレファレンス案内パンフレットを作成し、サービスの申込み方法や調査相談の回答例を掲載していますので参考にしてください。

http://www.library.pref.chiba.lg.jp/school/school03.pdf

（３）おはなし会の開催

教員による読み聞かせは大切ですが、ときには、専門家による読み聞かせは子どもたちにとって貴重だけでなく、教員自身が読み聞かせを学べる場になります。

そこで、市立図書館に相談したところ、図書館に登録している「読み聞かせボランティア」を派遣してくれました。この方々は、常日頃から読み聞かせの学習会に参加し研修を積みながら、市内の保育所や幼稚園、小学校、中学校を巡回して、読み聞かせ活動を行っています。

【特別支援学校でのおはなし会の一例】

① 読み聞かせボランティアの方々だけでなく、図書館職員にも一緒に児童生徒の様子を見てもらい、楽しい「おはなし会」になるよう話し合いを重ねる。

② 「おはなしのろうそく」は危ないために使用せず、始めと終わりに決まった歌を歌うことなどで、特別な時間であることを意識させる。

③ ストリーテーリング（素話）はまだ難しいため行わず、絵本や紙芝居、手遊びなどを取り混ぜながら２０分程度のプログラムにする。

④ 絵本や紙芝居は季節に応じたもので、本校の学校図書館にあるものも積極的に使用してもらう。

⑤ 中学部では、「総合的な学習の時間」に「おはなしタイム」というクラブを設け、その中に「おはなし会」を取り入れる。

小・中学部ともに、「読み聞かせボランティア」による「おはなし会」は月１回の開催です。「読み聞かせボランティア」のメンバーは初めから同じ方なので、今ではお互いにすっかり慣れて楽しい雰囲気の中で行われ、生徒・教員とも心待ちにする「おはなし会」となっています。

おはなし会です。
みんな、本に夢中です。

（４）子どもをひきつける紙芝居

紙芝居は日本人が創り出した、独特の形式と特性を持った文化です。

子どもたちは、演じ手の声を聞きながら画面を見ていきます。絵と演じ手の声がひとつになって溶けあいながら、紙芝居は進んでいきます。

演じるときに大事なことは、演じ手も一緒に共感する気持ちです。そのためにも、演じる前には必ず下読みをしてください。そして、必ず紙芝居の舞台を使って演じてください。

【演じ方の注意点】

①　絵の抜き方と間のとりかたに注意！

作品によっては、抜き方の注意点が書いてあります。「ここまで抜く」とか「さっと抜く」など、必ず下読みし練習します。早口にならず、ゆったりと語ります。特に楽しい作品は、子どもが笑える「間」を作ることが大切です。

②　始め方

「これから紙芝居を始めます」と作品を紹介します。舞台の扉を開けることにより、作品の世界が始まります。作品に関連したことを話して、興味を引きつけることも効果的です。

③　終わり方

必要でない限り最初の場面に戻らず、最後の場面で終わります。舞台の扉を閉めることで、紙芝居の世界が終わります。民話の終わりの独特の語りは大切にし、普段使われている言葉に変えることはしません。

④　紙芝居を演じる時に使う舞台

観客から見やすい高さにセットし、舞台を置いた机などは布で隠しておきます。

⑤　紙芝居の内容

物語完結型（作品の構成が作品そのもので完結している型）と観客参加型（作品の構成が観客の参加を必要としている型）とに分けられます。その特性を踏まえて演じてみましょう（資料２（p69）参照）。

【教室で紙芝居を行う時の舞台の設置の様子】

高さは舞台を含め、１ｍ３０ｃｍに設定。

舞台の下は、黒や紺色の布で覆いますが、本校では「トトロ」柄の風呂敷を使っています。

【参考資料】

『紙芝居を演じる』（酒井京子著　図書館流通センター　２００３）

「紙芝居文化の会」　http://www.geocities.jp/kamishibai/

★　さらに知りたい方へ

上総紙芝居文化の会「ありの実」（会長　徳永隆憲）

２００５年９月に会を立ち上げ、２００６年１０月に１周年記念の「紙芝居の会」を行いました。君津・木更津・袖ヶ浦・市原市の教員や保育士さんたちが会員で、毎月１回の学習会を実施しています。会員数は５０名を超えました。

連絡は、槇の実特別支援学校（事務局）までお願いします。

（５）選書と読み聞かせ

ア　どんな本を読むか　～選び方～

①　挿絵が作品の内容にふさわしいもので、かつ美しいこと。文章がきれいな言葉で書かれているか。

②　対象となる子どもが理解できるか、楽しめるか。

③　今、興味関心がある内容か。（季節や行事にあわせて選ぶ）

④　その中から、自分で気に入った本を読むと聞き手に楽しさが伝わります。

【参考資料】

『よい絵本　読みたい絵本いっぱい』（「よい絵本」目録協賛出版社）

『こどもの本』（日本児童図書出版協会）

★　地域の図書館に行って直接本を選ぶことも大切です。

イ　どう読むか　～読み方～

「読み聞かせ」はあまり感情を込めず、むしろ淡々と読むようにと研修会などでアドバイスがありますが、無味乾燥な読み方をしろということではありません。自分自身が物語の世界に入った上での自然な抑揚や表現こそ、読み手におはなしの世界を伝えることになります。大袈裟に声をはりあげるのではなく、本の内容に合わせた語り口、スピードというものがあり、それが読み方の工夫になります。

特別支援学校での「語り方」にそれ程特別な手法が必要なわけではありません。耳が不自由ならば、口を大きく開け、はっきり発音します（他県の聾学校では、手話を使っておはなしをしている例もあります）。目が不自由ならば、内容がより読み取りしやすいように、背景に関連したことを説明していくとか、同じ語のとき取り違えないよう発音を正しくとか、意味がわかりやすい言葉に置き換えて説明すると良いでしょう。

読む時に、内容に合わせて「マカトンサイン」をつけることもあります。聞くだけでは理解が難しい子どもへの理解の助けになるからです。

【マカトンサインとは】
　ことばや精神の発達に遅れのある人の対話のために、イギリスで考案された手話法をルーツにしたコミュニケーション法です。

【読み方の工夫例】

『しろくまちゃんのホットケーキ』（わかやまけん　こぐま社）

食べる動作や、子どもたちに「どうぞ」と差し出す動作をいれるととても盛り上がります。ただ読むだけでなく、やりとりをするような読み方をするとよいでしょう。

『おおきなかぶ』（内田莉莎子再話　福音館書店）

歌をつけたり、引っ張る動作を入れたり、登場人物の「まご」を子どもたちの名前にすることもあります。

『はらぺこあおむし』（エリック・カール　偕成社）

新沢としひこや二本松はじめが歌っているＣＤがあります。

『のせてのせて』（松谷みよ子　童心社）や『でんしゃでいこうでんしゃでかえろう』（間瀬なおたか　ひさかたチャイルド）、『えんそくバス』（中川ひろたか　童心社）などにも歌がつけられます。

『めっきらもっきらどおんどん』長谷川摂子　福音館書店）には二本松はじめが歌をつけています。『のせてのせて』や『でんしゃでいこうでんしゃでかえろう』はうしろのページから読むこともできます。

このような読み方は本来の「読み聞かせ」の手法には反するものかもしれませんが、特別支援学校の子どもたちの興味や関心を引き出し、本に親しみを持たせるためには良い手段になると思います。

ウ　しかけ絵本

大勢の「おはなし会」に使うことは難しいのですが、「しかけ絵本」と呼ばれる本があります。絵が飛び出したり、指人形がしかけられていたり、めくりがつけられていたりするものです。まだ理解力が幼い子どもたちにはとても喜ばれます。

エ　絵本から遊びへ

「本を読む」ことから色々な遊びやゲームに発展させていくこともできます。「アニマシオン」に似ており、二本松はじめさんの学習会で行われているものです（「つながりあそび・うた研究所」　http://www.tunagariasobi.com/）。

また、「エプロンシアター」や「パネルシアター」にも子どもは興味を持ちます。絵本を題材にしたものが多いので、本に興味や関心を持たせるきっかけになるでしょう（資料３参照）。

資料１　おはなし会で読む本のお薦めリスト（本校のおはなし会で読まれた本）

小学部向け

「アンパンマン」のシリーズ	やなせ　たかし／作	フレーベル館
えんそくバス	中川　ひろたか／文	童心社
おおきなかぶ	内田　莉莎子／訳	福音館書店
おにぎり	平山　英三／ぶん	〃
おばけパーティ	ジャック・デュケノワ／さく	ほるぷ出版
かばくん	岸田　衿子／さく	福音館書店
からすのパンやさん	かこ　さとし／著	偕成社
ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニンガム／さく	ほるぷ出版
キャベツくん	長　新太／文・絵	文研出版
きょだいなきょだいな	長谷川　摂子／作	福音館書店
「ぐりとぐら」のシリーズ	なかがわ　りえこ／著	〃
ぐるんぱのようちえん	西内　ミナミ／さく	〃
「こぐまちゃんえほん」シリーズ 特に「しろくまちゃんのほっとけーき」	わかやま　けん／絵	こぐま社
ゴムあたまポンたろう	長　新太／作	童心社
さつまのおいも	中川　ひろたか／文	〃
三びきのこぶた	瀬田　貞二／訳	福音館書店
三びきのやぎのがらがらどん	瀬田　貞二／訳	〃
しょうぼうじどうしゃじぷた	渡辺　茂男／さく	〃
ぞうくんのさんぽ	なかの　ひろたか／さく・え	〃
そらまめくんのベッド	なかや　みわ／さく・え	〃
たまごにいちゃん	あきやま　ただし／作・絵	鈴木出版
だるまちゃんとかみなりちゃん	加古　里子／さく・え	福音館書店
だるまちゃんとてんぐちゃん	〃	〃
ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン／さく	ほるぷ出版
てぶくろ	うちだ　りさこ／訳	福音館書店
でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	間瀬　なおたか／作・絵	ひさかたチャイルド
とべバッタ	田島　征三／作	偕成社
どろんこハリー	ジーン・ジオン／ぶん	福音館書店
にゃーご	宮西　達也／作・絵	鈴木出版
ね、ぼくのともだちになって！	エリック・カール／作	偕成社
のせてのせて	松谷　みよ子／文	童心社

はらぺこあおむし	エリック・カール／さく	偕成社
ぶたのたね	佐々木　マキ／作・絵	絵本館
ほね、ほね、きょうりゅうのほね	バイロン・バートン／作	祐学社
またぶたのたね	佐々木　マキ／作・絵	絵本館
まどからおくりもの	五味　太郎／作・絵	偕成社
まめうしあいうえお	あきやま　ただし／作・絵	ＰＨＰ研究所
まるくておいしいよ	こにし　えいこ／さく	福音館書店
もけらもけら	山下　洋輔／ぶん	〃
もこもこもこ	たにかわ　しゅんたろう／さく	文研出版
やさい	平山　和子／さく	福音館書店
やさいのおなか	きうち　かつ／さく・え	〃

中学部向け

お母さん、ひらけゴマ！	西本　鶏介／作	ポプラ社
おばあちゃん	大森　真貴乃／さく	ほるぷ出版
せなけいこおばけえほんシリーズ	せな　けいこ／著	童心社
ざぼんじいさんのかきの木	すとう　あさえ／文	岩崎書店
さるのひとりごと	松谷　みよ子／文	童心社
１４ひきシリーズ	いわむら　かずお／さく	〃
十二支のおはなし	内田　麟太郎／文	岩崎書店
せんたくかあちゃん	さとう　わきこ／さく・え	福音館書店
ソメコとオニ	斎藤　隆介／作	岩崎書店
ともだちやシリーズ	内田　麟太郎／作	偕成社
日本の民話えほんシリーズ		教育画劇
ねぎぼうずのあさたろうシリーズ	飯野　和好／作	福音館書店
のはらうた	工藤　直子／作	童話屋
花さき山	斎藤　隆介／作	岩崎書店
ばばばあちゃんシリーズ	さとう　わきこ／さく・え	福音館書店
日本のみんわえほんシリーズ		ポプラ社
モチモチの木	斎藤　隆介／作	岩崎書店
落語絵本シリーズ	川端　誠／著	クレヨンハウス
ラヴユーフォーエバー	ロバート・マンチ／作	岩崎書店

★　タイトルは五十音順です。

★　アンダーラインは大型絵本が出版されているものです。

★　小学部向けは比較的ページ数が少なく、クイズやことばあそびに発展させていける本が多くあります。中学部向けには物語を入れてあります。

　対象の児童生徒を思い浮かべながら、実際に本を手に取って読んでみることをお薦めします。地域の公立図書館で現物を見てみましょう。

資料２　紙芝居の主な作品リスト

観客参加型

【ひろがるせかいシリーズ　分売可　童心社】

『おおきくおおきくおおきくなあれ』　まついのりこ脚本・画
『みんなでぽん！』　まついのりこ　〃
『ひーらいたひーらいた』　まついのりこ　〃
『かりゆしのうみ』　まついのりこ　〃
『よいしょよいしょ』　まついのりこ　〃
『かりゆしの海』　まついのりこ　〃
『カチャーシーをおどろうよ』　真栄城栄子脚本　まついのりこ画
『おやつのじかんだよ』　まついのりこ脚本・画

【とびだすせかいシリーズ　分売可　童心社】

『むくむくぽっかりほんわりこ』　まつい　のりこ脚本・画
『るるのおうち』　まつい　のりこ　〃
『ねぼすけこびと』　まつい　のりこ　〃
『たからさがし』　まつい　のりこ　〃
『ごきげんのわるいコックさん』　まついのりこ脚本・画　ひょうしぎ協力

【みんなでみんなでおおさわぎシリーズ　分売可　童心社】

『なにしてるの？』　なかの　ひろたか脚本・画
『なんだ・なんだ？』　古川　タク　〃
『しりとりするものよっといで』　都丸　つや子脚本　にいみ　ひでとし画
『ばけくらべ、うでくらべ』　木村　研脚本・画
『だれかおしえて』　黒田　かおる　〃
『どかどかじゃんけん大会』　藤本ともひこ　〃
『さよならさんかくまたきてしかく』　高橋清一　〃

【ネコになってあそぼうシリーズ　分売可　童心社】

『ネコのたいそう』　長野　ヒデ子脚本・画
『ネコのおりょうり』　長野　ヒデ子　〃
『ネコのおてがみ』　長野　ヒデ子　〃

【みんなであそぼう！たのしもう！シリーズ　分売不可　教育画劇】

『これな～んだ』　きむら　ゆういち脚本　きただてつや画
『くいしんぼうのありさん』　ケロポンズ脚本・画
『タンタンテンテンいっしょにごあいさつ』　よだ　くみこ脚本　伊東　美貴画
『あおちゃん　きいろちゃん　あかちゃん』　冬野　いちこ脚本・画
『うさちゃんのおかいもの』　わらべ　きみか脚本・画
『なぞなぞまおうをやっっけて！』　大高　ゆきお脚本　尾崎　眞吾画
『あなからみえるよ』　古川　タク脚本・画

【みんなもいっしょにねシリーズ　分売不可　教育画劇】

『しりとりあそび』　このみ　ひかる脚本　岩田　くみ子画
『かいじゅうがぼがぼ』　内山　安二脚本・画
『ひもかとおもったら…』　古川　タク脚本・画
『かえっこかえっこ』　尾崎　真吾脚本・画
『おかあさんみーつけた』　加藤　晃脚本・画
『おはようがいっぱい』　しばはら　ち脚本・画

『ポッチィはくいしんぼう』　　木村　裕一脚本・画

物語完結型

【民話かみしばい傑作選　分売可　童心社】
『くわず女房』　　松谷　みよ子脚本　長野　ヒデ子画
『たべられたやまんば』　　松谷　みよ子脚本　二俣　英五郎画
『ちからたろう』　　川崎　大治脚本　滝平　二郎画
『おけやのてんのぼり』　　川崎　大治脚本　二俣　英五郎画
『子そだてゆうれい』　　桜井　信夫脚本　須々木　博画

【ゆかいな民話選　分売可　童心社】
『ふしぎなしゃもじ』　　佐々木　悦脚本　須々木　博画
『あかんぼばあさん』　　川崎　大治脚本　金沢　佑光画
『ねずみちょうじゃ』　　川崎　大治脚本　久保　雅勇画
『とりのみじっちゃ』　　斉藤　純　脚本　宮本　忠夫画
『おまんじゅうのすきなとのさま』　　日下部　由美子脚本　篠崎　三朗画
『なぞなぞむこどん』　　佐藤　義則脚本　久米　宏一画
『とのさまからもらったごほうび』　　山路　愛子脚本　渋谷　正斗画

【紙芝居セレクション　むかしむかし　分売可　童心社】
『エメリヤンとたいこ』　　高橋　五山脚本　小谷野　半二画
『まほうのふで』　　川崎　大治脚本　二俣　英五郎画
『ふしぎないしのおの』安藤美喜夫原作　渡辺　泰子脚本　伊藤　和子画
『まえがみたろう前・後編』　　松谷　みよ子脚本　箕田　源二郎画
『ゆめみこぞう』　　若林　一郎脚本　藤田　勝治画

【おばけがいっぱい　分売可　童心社】
『おににさらわれたあねこ』　　水谷　章三脚本　須々木　博画
『ゆきおんな』　　桜井　信夫脚本　箕田　源二郎画
『たのきゅう』　　渋谷　勲脚本　藤田　勝治画
『のっぺらぼう』　　渋谷　勲脚本　小沢　良吉画
『じいさまときつね』　　増田　尚子脚本　二俣　英五郎画
『ばけものでら』　　水谷　章三脚本　宮本　忠夫画

【おもしろ民話選　分売可　童心社】
『うまいものやま』　　佐々木　悦脚本　　箕田　源二郎画
『つんぶくだるま』　　鳥兎沼　宏之脚本　金沢　祐光画
『にじになったきつね』　　川田　百合子脚本　藤田　勝治画
『かぜのかみとこども』　　渋谷　勲脚本　　わかやま　けん画
『ふるやのもり』　　水谷　章三脚本　　金沢　祐光画
『だんごひょいひょい』　　水谷　章三脚本　　宮本　忠夫画
『くじらのしま』　　新美南吉原作　堀尾　青史脚本　穂積　肇画

【日本の妖怪ぞろ～り　分売不可　童心社】
『めだらけ』　　滝本　つみき脚本　吉本　宗画
『あき寺のばけもの』　　西本　鶏介原作　諸橋　精光脚本・画
『ぬまのぬしからのてがみ』　　望月　新三郎脚本　田代　三善画
『さとり』　　岡田　ゆたか脚本・画
『いそおんながでる海』　　北川　幸比古脚本　宮本　順子画
『いったんもめん』　　古山　広子脚本　石倉　欣二画

『でいだらぼっち』　津谷　タズ子脚本　伊藤　秀男画

【松谷みよ子民話珠玉選　分売可　童心社】
『うみにしずんだおに』　松谷　みよ子脚本　二俣　英五郎画
『したきりすずめ』　〃　堀内　誠一画
『かさじぞう』　〃　まつやま　ふみお画
『りゅうぐうのおよめさん』　〃　遠藤　てるよ画
『うりこひめとあまのじゃく』　〃　梶山　俊夫画

【日本むかしむかし　分売可　童心社】
『かわうそときつね』　堀尾　青史脚本　松島　わき子画
『天人のよめさま』　松谷　みよ子脚本　中尾　彰　画
『ききみみずきん』　堀尾　青史脚本　田中　武紫　画
『とんだちょうじゃどん』　堀尾　青史脚本　二俣　英五郎画
『はちかつぎ』　木村　次郎脚本　池田　仙三郎画
『豆っ子太郎』　川崎　大治脚本　岡野　和　画
『いもころがし』　川崎　大治脚本　前川　かずお画
『ばけくらべ』　松谷　みよ子脚本　亀井　三恵子画

【わらいばなしがいっぱい　分売可　童心社】
『じごくけんぶつ』　水谷　章三脚本　藤田　勝治　画
『しりなりべら』　渋谷　勲　脚本　福田　庄助　画
『いたずらぎつね』　桜井　信夫脚本　藤本　四郎　画
『かっぱのすもう』　渋谷　勲　脚本　梅田　俊作　画
『ねずみきょう』　武士田　忠脚本　渡辺　有一　画
『しりやのめいじん』　望月　新三郎脚本　金沢　佑光　画
『あんもちみっつ』　水谷　章三　脚本　宮本　忠夫　画

【ほのぼの新美南吉ランド　分売可　童心社】
『花のき村とぬすびとたち　前・後編』水谷　章三　脚本　西山　三郎　画
『ごんぎつね』　清水　たみ子脚本　長野　ヒデ子画
『てぶくろをかいに』　堀尾　青史　脚本　二俣　英五郎画
『ぬすびととこひつじ』　千世　まゆ子脚本　藤田　勝治　画
『きつねのつかい』　泉　啓子　脚本　篠崎　三朗　画

★　２００６年度の目録に掲載されているものの一部です。内容などくわしいことは、目録をご覧ください。図書館に置かれているものもあります。

資料３　その他の特徴的な資料

しかけ絵本

『ゆびにんぎょうえほん』シリーズ（あかね書房）
　布でできた動物の指人形が、穴から顔をだします。くまやうさぎ、ひよこなど８シリーズあります。
『ちいさなしかけえほん』シリーズ（あかね書房）
　折り返しのページや穴あきのページがしかけられています。全４巻
『のりものしかけえほん』（あかね書房）
　子どもたちの大好きなのりものが変身する本です。全４巻
『あかね・ポップアップえほん』（あかね書房）
　次々にしかけがとびだす楽しい絵本です。全６巻
『なぞなぞあなあきえほん』（あかね書房）　全６巻
『あかちゃんのあそびえほん』（偕成社）　１１巻
　『いただきます』や『ごあいさつ』などがあり、子どもに大受けです。
『１２か月のしかけえほん』シリーズ、『たべものしかけえほん』シリーズ（教育画劇）
『しかけえほん』シリーズ（大日本絵画）
　さわって楽しむ絵本です。
〈音のでる絵本〉
　歌の絵本、サウンド絵本、ピアノ付き絵本などがあり、永岡書店やポプラ社から出ています。
〈写真絵本〉
　動物、電車、自動車などがあり、ポプラ社や教育画劇、あかね書房から出ています。

布の絵本

ゆび人形付き布絵本シリーズ『にほんのむかしばなし』『世界の名作』（ひかりのくに）
幼児のための布知育えほんシリーズ『できるかな』、『とりだしえほん』（コムハウス）
『ビジーバギーブック』（ワンダーワールド社）
『長野ヒデ子の布の絵本』（ポプラ社）

学習の本

『はっけんずかんシリーズ』（学研）
『そだててあそぼう』全７０巻（農文協）
『自立生活ハンドブック』シリーズ（全日本手をつなぐ育成会）
『なりたいな、料理の名人』シリーズ、『どんな国？どんな味？世界のお菓子』シリーズ全６巻（岩崎書店）
『つくりたい！食べたい！料理大百科』（あかね書房）
『ひとりでできるもん』全１０巻（金の星社）
『事前に調べる修学旅行パーフェクトガイド』全７巻（金の星社）
『楽しい修学旅行ガイド』全７巻（学研）
『シリーズ・素顔の勇者たち』（旺文社）
『学習まんがドラえもんからだシリーズ』（小学館）
『心とからだのパスポートブックス』全５巻（集英社）
『からだを知る本』全１２巻（草土文化）
『ピチブックスセレクション』（学研）
『性の絵本』全５巻（大月書店）
『あーとぶっく』（小学館）

パネルシアター、エプロンシアター

　大東出版社、アイ企画、アドグリーン、メイト、東洋文化出版、学研などで関連書籍を出版しています。研修会も行われていますので、関心のある方は問い合わせてください。

参考資料

１　子どもの読書に関する法令等

○　子どもの読書活動の推進に関する法律（平成１３年法律第１５４号）

（目的）
第一条　この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）
第二条　子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）
第三条　国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）
第四条　地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）
第五条　事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）
第六条　父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）
第七条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）
第八条　政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。
２　政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
３　前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）
第九条　都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
２　市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町

村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
３　都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
４　前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）
第十条　国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。
２　子ども読書の日は、四月二十三日とする。
３　国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）
第十一条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則
この法律は、公布の日から施行する。

○　衆議院文部科学委員会における附帯決議
政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。
一　本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

二　民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

三　子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

四　学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

五　子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。

六　国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

○　文字・活字文化振興法（平成１７年法律第９１号）
（目的）
第一条　この法律は、文字・活字文化が、人類が長い歴史の中で蓄積してきた知識及び知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵養並びに健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることにかんがみ、文字・活字文化の振興に関する基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文字・活字文化の振興に関する必要な事項を定めることにより、我が国における文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。
（定義）
第二条　この法律において「文字・活字文化」とは、活字その他の文字を用いて表現されたもの（以下この条において「文章」という。）を読み、及び書くことを中心として行われる精神的な活動、出版活動その他の文章を人に提供するための活動並びに出版物その他のこれらの活動の文化的所産をいう。

（基本理念）
第三条　文字・活字文化の振興に関する施策の推進は、すべての国民が、その自主性を尊重されつつ、生涯にわたり、地域、学校、家庭その他の様々な場において、居住する地域、身体的な条件その他の要因にかかわらず、等しく豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境を整備することを旨として、行われなければならない。
２　文字・活字文化の振興に当たっては、国語が日本文化の基盤であることに十分配慮されなければならない。
３　学校教育においては、すべての国民が文字・活字文化の恵沢を享受することができるようにするため、その教育の課程の全体を通じて、読む力及び書く力並びにこれらの力を基礎とする言語に関する能力（以下「言語力」という。）の涵養に十分配慮されなければならない。
（国の責務）
第四条　国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、文字・活字文化の振興に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。
（地方公共団体の責務）
第五条　地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、文字・活字文化の振興に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。
（関係機関等との連携強化）
第六条　国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。
（地域における文字・活字文化の振興）
第七条　市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする。
２　国及び地方公共団体は、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする。
３　国及び地方公共団体は、大学その他の教育機関が行う図書館の一般公衆への開放、文字・活字文化に係る公開講座の開設その他の地域における文字・活字文化の振興に貢献する活動を促進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。
４　前三項に定めるもののほか、国及び地方公共団体は、地域における文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化の振興に資する活動を行う民間団体の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。
（学校教育における言語力の涵養）
第八条　国及び地方公共団体は、学校教育において言語力の涵養が十分に図られるよう、効果的な手法の普及その他の教育方法の改善のために必要な施策を講ずるとともに、教育職員の養成及び研修の内容の充実その他のその資質の向上のために必要な施策を講ずるものとする。
２　国及び地方公共団体は、学校教育における言語力の涵養に資する環境の整備充実を図るため、司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職員の充実等の人的体制の整備、学校図書館の図書館資料の充実及び情報化の推進等の物的条件の整備等に関し必要な施策を講ずるものとする。
（文字・活字文化の国際交流）
第九条　国は、できる限り多様な国の文字・活字文化が国民に提供されるようにするとともに我が国の文字・活字文化の海外への発信を促進するため、我が国においてその文化が広く知られていない外国の出版物の日本語への翻訳の支援、日本語の出版物の外国語への翻訳の支援その他の文字・活字文化の国際交流を促進するために必要な施策を講ずるものとする。
（学術的出版物の普及）
第十条　国は、学術的出版物の普及が一般に困難であることにかんがみ、学術研究の成果についての出版の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。
（文字・活字文化の日）
第十一条　国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、文字・活字文化の日を設ける。
２　文字・活字文化の日は、十月二十七日とする。
３　国及び地方公共団体は、文字・活字文化の日には、その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めるものとする。
（財政上の措置等）
第十二条　国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。
附　則
この法律は、公布の日から施行する。

○　図書館法（昭和２５年法律第１１８号、平成２０年６月１１日改訂）（抜粋）

第一章　総則

（この法律の目的）

第一条　この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条　この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は民法（明治二十九年法律第八十九号）第三十四条の法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

２　前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は民法第三十四条の法人の設置する図書館を私立図書館という。

（図書館奉仕）

第三条　図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一　郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二　図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三　図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四　他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五　分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六　読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七　時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八　社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九　学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

（司書及び司書補）

第四条　図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

２　司書は、図書館の専門的事務に従事する。

３　司書補は、司書の職務を助ける。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三　図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四　図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条　都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）
第九条　政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。
２　国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章　公立図書館

（設置）
第十条　公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

（職員）
第十三条　公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。
２　館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）
第十四条　公立図書館に図書館協議会を置くことができる。
２　図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条　図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

第十六条　図書館協議会の設置、その委員の定数、任期その他必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

（入館料等）
第十七条　公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

（図書館の補助）
第二十条　国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。
２　前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

○　学校図書館法（昭和２８年法律第１８５号）抄

（この法律の目的）
第一条　この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もつて学校教育を充実することを目的とする。
（定義）
第二条　この法律において「学校図書館」とは、小学校（盲学校、聾学校及び養護学校の小学部を含む。）、中学校（中等教育学校の前期課程並びに盲学校、聾学校及び養護学校の中学部を含む。）及び高等学校（中等教育学校の後期課程並びに盲学校、聾学校及び養護学校の高等部を含む。）（以下「学校」という。）において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによつて、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。
（設置義務）
第三条　学校には、学校図書館を設けなければならない。
（学校図書館の運営）
第四条　学校は、おおむね左の各号に掲げるような方法によつて、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。
一　図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
二　図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
三　読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
四　図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。
五　他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。
２　学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる。

（司書教諭）
第五条　学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。
２　前項の司書教諭は、教諭をもつて充てる。この場合において、当該教諭は、司書教諭の講習を修了した者でなければならない。
３　前項に規定する司書教諭の講習は、大学その他の教育機関が文部科学大臣の委嘱を受けて行う。
４　前項に規定するものを除くほか、司書教諭の講習に関し、履修すべき科目及び単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。
（設置者の任務）
第六条　学校の設置者は、この法律の目的が十分に達成されるようその設置する学校の学校図書館を整備し、及び充実を図ることに努めなければならない。
（国の任務）
第七条　国は、学校図書館を整備し、及びその充実を図るため、左の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。
一　学校図書館の整備及び充実並びに司書教諭の養成に関する総合的計画を樹立すること。
二　学校図書館（国立学校の学校図書館を除く。）の設置及び運営に関し、専門的、技術的な指導及び勧告を与えること。
三　前各号に掲げるものの外、学校図書館の整備及び充実のため必要と認められる措置を講ずること。
附則抄
（施行期日）
１　この法律は、昭和２９年４月１日から施行する。
（司書教諭の設置の特例）
２　学校には、平成１５年３月３１日までの間（政令で定める規模以下の学校にあつては、当分の間）、第五条第一項の規定にかかわらず、司書教諭を置かないことができる。

○　学校図書館法附則第二項の学校の規模を定める政令（平成９年政令第１８９号）
学校図書館法附則第二項の政令で定める規模以下の学校は、学級の数（通信制の課程を置く高等学校にあっては、学級の数と通信制の課程の生徒の数を三百で除して得た数（一未満の端数を生じたときは、一に切り上げる。）とを合計した数）が十一以下の学校とする。
附則
この政令は、公布の日（平成九年六月十一日）から施行する。

○　学校図書館法の一部を改正する法律等の施行について
（平成９年６月１１日文部省初等中等教育局長通知）（抜粋）

１　改正法令等の趣旨

学校図書館は学校教育に欠くことのできないものであり、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する学習情報センターとしての機能とともに、児童生徒の自由な読書活動や読書指導の場として、さらには創造力を培い学習に対する興味・関心等を呼び起こし豊かな心を育む読書センターとしての機能を果たし、学校教育の改革を進めるための中核的な役割を担うことが期待されている。特に、これからの学校教育においては、児童生徒が自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力等を育むことが求められており、学校図書館の果たす役割はますます重要になってきている。

学校図書館法（以下「法」という。）においては、学校図書館の中心的な役割を担う司書教諭の設置を当分の間猶予することとされてきたが、今後の学校図書館の役割の重要性に鑑み、司書教諭の養成・発令を一層促進するため、学校（法第２条の「学校」をいう。以下同じ。）における司書教諭設置の猶予期を、政令で定める規模以下の学校を除き、平成１５年３月３１日までの間とするとともに、司書教諭養成のための講習を行う機関の拡充を図ることとしたものである。

３　留意事項

（１）司書教諭については、これまでも昭和３２年５月２日付け委初第１６５号、平成５年１０月２７日付け文初小第３３６号及び平成７年９月１８日付け文初小第３５７号等により発令の促進を促してきたところであるが、改正法の趣旨を踏まえ、今後は、司書教諭有資格者の養成・確保及びその発令をより一層計画的に推進するよう努めること。

（２）改正法令等では、１１学級以下の学校においては当分の間司書教諭を置かないことができるとされているが、学校図書館における司書教諭の重要性に鑑み、これらの学校においても司書教諭の設置がなされるよう努めることが望まれること。

（３）司書教諭がその職責を十分に果たせるよう、校内における教職員の協力体制の確立に努めること。その際、各学校の実情に応じ、校務分掌上の工夫を行い、司書教諭の担当授業時間数の減免を行うことは、従来と同様、可能であること。

（４）司書教諭講習を実施する教育機関としては、例えば、各都道府県及び市町村の教育センター等が考えられること。

（５）学校図書館担当の事務職員は、図書館サービスの提供及び学校図書館の庶務・会計等の職務に従事しているものであり、その役割は、司書教諭の役割とは別個のものであることに留意すること。

（６）マルチメディア時代に対応した学校図書館のより一層の充実と利用の促進を図るため、図書館資料や視聴覚機器、情報機器の整備に努めるとともに、公共図書館との連携や地域のボランティアの活用等による開かれた学校図書館づくりを推進するよう努めること。

○　小学校学習指導要領（平成２０年文部科学省告示第２７号）（抜粋）

第１章　総則
　第４　指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項
　　２　以上のほか、次の事項に配慮するものとする。
　　(10) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

第２章　各教科
　第１節　国語
　　第３　指導計画の作成と内容の取扱い
　　１．指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
　　（２）第２の各学年の内容の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示す事項については、相互に密接に関連付けて指導するようにするとともに、それぞれの能力が偏りなく養われるようにすること。その際、学校図書館などを計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。また、児童が情報機器を活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

　　（５）第２の各学年の内容の「C 読むこと」に関する指導については，読書意欲を高め，日常生活において読書活動を活発に行うようにするとともに，他の教科における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。学校図書館の利用に際しては，本の題名や種類などに注目したり，索引を利用して検索をしたりするなどにより，必要な本や資料を選ぶことができるように指導すること。なお，児童の読む図書については，人間形成のため幅広く，偏りがないように配慮して選定すること。

第２節　社会
　第３　指導計画の作成と内容の取扱い
　　１．指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
　　（３）学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、資料の収集・活用・整理などを行うようにすること。また、第 4 学年以降においては、教科用図書「地図」を活用すること。

第５章　総合的な学習の時間
　第３　指導計画の作成と内容の取扱い
　　２ 第２の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
　　（６）学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。

第６章　特別活動
　第２　各活動・学校行事の目標及び内容
　　１　目標　学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
　　２　内容〔共通事項〕
　　（２）　日常の生活や学習への適応及び健康安全
　　オ　学校図書館の利用

○　中学校学習指導要領（平成２０年文部科学省告示第２８号）（抜粋）

第１章　総則
　第４　指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項
　　２　以上のほか、次の事項に配慮するものとする。
　　(11)　学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

第２章　各教科
第１節　国語
〔第２学年〕２　内容　C　読むこと
（２）（１）に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
ウ　新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。
第３　指導計画の作成と内容の取扱い
１．指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
（２）第２の各学年の内容の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。その際、学校図書館などを計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。また、生徒が情報機器を活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

第６節　美術
第３　指導計画の作成と内容の取扱い
４　生徒が随時鑑賞に親しむことができるよう、校内の適切な場所に鑑賞作品などを展示するとともに、生徒や学校の実態に応じて、学校図書館等における観賞用図書、映像資料などの活用を図るものとする。

第４章　総合的な学習の時間
第３　指導計画の作成と内容の取扱い
２ 第２の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
（６）学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。

第５章　特別活動
第２　各活動・学校行事の目標及び内容
〔学級活動〕２　内容（３）学業と進路
イ　自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用

○　高等学校学習指導要領案（平成２０年文部科学省公表）（抜粋）

第１章　総則
第５款　教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項
５ 教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項
(11)　学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

第２章　各学科に共通する各教科　第１節　国語　第２款　各科目
第１　国語総合　３　内容の取扱い
(4) 内容のＣに関する指導については、次の事項に配慮するものとする。
ウ　自分の読書生活を振り返り，読書の幅を広げ，読書の習慣を養うこと。
第３ 現代文Ａ
１ 目標　近代以降の様々な文章を読むことによって，我が国の言語文化に対する理解を深め，生涯にわたって読書に親しみ，国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
２ 内容 (2)　(1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。
ウ　図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ，それについて話し合ったり批評したりすること。
第３款　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
２ 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。
(2) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図ることなどを通して，読書意欲を喚起し幅広く読書する態度を育成するとともに，情報を適切に用いて，思考し，表現する能力を高めるようにすること。

第７節　芸術　第３款　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
２ 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 各科目の特質を踏まえ，学校の実態に応じて学校図書館を活用するとともに，コンピュータや情報通信ネットワークなどを指導に生かすこと。

第３章　主として専門科目において開設される各科目
第11節　音楽　第３款　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
２ 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。
(2) 各科目の特質を踏まえ，学校の実態に応じて学校図書館を活用するとともに，コンピュータや情報通信ネットワークなどを指導に生かすこと。
(3) 各科目の特質を踏まえ，地域や学校の実態に応じて，文化施設，社会教育施設，地域の文化財等の活用を図ったり，地域の人材の協力を求めたりすること。
第12節　美術　第３款　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
２ 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。
(1) 各科目の特質を踏まえ，学校の実態に応じて学校図書館を活用するとともに，コンピュータや情報通信ネットワークなどを指導に生かすこと。
(2) 各科目の特質を踏まえ，地域や学校の実態に応じて，地域の文化財，文化施設，社会教育施設等の活用を図ったり，地域の人材の協力を求めたりすること。

第４章 総合的な学習の時間
第３ 指導計画の作成と内容の取扱い
２ 第２の内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。
(6) 学校図書館の活用，他の学校との連携，公民館，図書館，博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携，地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。

第５章　特別活動
第２　各活動・学校行事の目標及び内容
〔ホームルーム活動〕２　内容　（３）学業と進路
イ主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用

○　千葉県子どもの読書活動推進計画（平成１５年千葉県教育委員会策定）（抜粋）

第２章　子どもの読書活動推進のための方策
２　子どもの読書環境の整備・充実
（２）県立図書館児童サービスの充実
【施策】
調べ学習や総合的な学習の時間等への対応
○　本と併用してコンピュータを利用して調べものをする子どものために、適切な援助ができるよう児童担当司書の情報リテラシーの向上に努めます。
○　県立図書館の役割について児童生徒の理解を促すため、図書館見学や一日図書館員などの職場体験の機会を提供します。
○　市町村立図書館等と協力し学校図書館との連携に努めるとともに、司書教諭等からの学校図書館運営上の相談等にこたえます。特に、高等学校図書館との連携に努めます。

市町村立図書館等への援助
○　幅広い資料の提供と協力レファレンスサービス、運営相談に努めます。
○　横断検索システムの充実や協力車による資料の搬送により、市町村立図書館間等とのネットワークの推進に努めます。
○　図書館未設置市町村の読書施設への援助として、長年子どもたちに読み継がれている児童資料をまとめて貸し出したり、資料目録の作成・配布を行ったりします。また、選書、児童コーナーのレイアウト、読み聞かせ等の方法について訪問して助言したり、研修の講師を派遣したりします。

児童担当司書を対象とした研修の充実
○　中央図書館では、児童サービス担当者を対象にした初任者研修会を引き続き実施するとともに、初任者以外の研修については千葉県公共図書館協会と連携して、体系的・継続的な研修を行っていきます。

障害のある子どもに対するサービスの工夫

○　中央図書館では、障害のある子どもたちにも等しく読書の世界への扉が開かれるよう、点訳絵本の製作等一人一人の障害に対応した読書の方法を工夫します。

○　視覚に障害のある子どもやその親等のために、大活字本の貸出しや録音図書の製作・貸出しを引き続き行います。

○　県立盲・聾・養護学校等と連携して、障害のある子どもが楽しめる本のリスト等を作成します。

（３）学校図書館等の整備・充実

ア　学校図書館等の図書資料、施設・設備の整備・充実

【施策】

○　県立学校では学校予算を計画的に配分し、図書資料の整備・充実に努めます。

○　市町村において、国の「学校図書館図書整備５か年計画」（平成１４年度～平成１８年度）に基づく地方交付税措置を活用するなど、学校図書館図書資料の計画的な整備が図られるよう促します。

○　私立学校の図書資料の整備を促します。

○　学校図書館の施設や環境についてのモデル的な事例を紹介し、各学校における読書環境の整備などを促していきます。

イ　学校図書館の情報化

【施策】

○学習指導に用いる公立学校の教育用コンピュータの整備について、市町村において国の地方交付税措置による整備を活用するなど、学校図書館等への効果的な設置を促します。

○学校図書館、コンピュータ教室、普通教室、特別教室等を校内LANで接続し、学校内外の様々な情報資源にアクセスできる環境の整備に努めていきます。

○先進的な取組を行っている事例を紹介するなど、学校図書館の情報化が図れるよう情報提供等に努めていきます。

ウ　学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進

【施策】

○　県立学校においては、１２学級以上の学校で司書教諭を置きます。

○　県立以外の小・中・高等学校等については、司書教諭の適切な配置を促進するよう指導していきます。

○　教職員の協力体制の確立や校務分掌上の配慮などの工夫を促すとともに、司書教諭の役割等について理解を図ります。

○　学校図書館の活用をさらに充実するため、配置の工夫や実践事例の紹介などを通じて、学校図書館担当事務職員の配置を促していきます。

○　県立学校については、引き続き事務職員の適切な配置に努めます。

○　地域のボランティア、非常勤職員等の人材を積極的に活用し、児童生徒がより興味をもって読書に取り組める活動を展開することを促します。

（例）・　読み聞かせや本への興味が引き出されるよう工夫を凝らして本の紹介を行うブックトーク等の活動

・　学校図書館に関する広報活動

・　図書データベースの作成などの活動

○　保護者や地域住民のボランティア活動により、活発で効果的な学校図書館活動を行っている事例の紹介等に努めます。

（４）図書館間協力等の推進

【施策】

○　県立図書館は、市町村立図書館等への児童資料提供等の援助に努めるとともに、横断検索システムの充実や協力車による資料の搬送により、市町村立図書館間等とのネットワークの推進に努めます。

○　県立図書館は市町村立図書館等と協力し学校図書館との連携に努めるとともに、司書教諭からの学校図書館運営上の相談等にこたえます。

○　学校図書館と地域の図書館等との連携・協力事例を紹介するなど、情報提供に努めます。

○　県立図書館は視覚に障害のある子どもへのサービスを充実するため、千葉点字図書館その他全国の点字図書館等との連携・協力を推進します。

○　県立図書館と国際子ども図書館等との連携・協力を積極的に推進していきます。

○　県立中央図書館は子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、県内の子どもの読書活動関係の取組事例などの情報収集や関係団体等との連絡・連携に努めます。

２　県内の公立図書館等

平成２０年４月現在

館　名	所在地	電話番号
千葉県立中央図書館	千葉市中央区市場町11－1	043 - 222 - 0116
千葉県立西部図書館	松戸市千駄堀657－7	047 - 385 - 4133
千葉県立東部図書館	旭市ハの349	0479 - 62 - 7070
千葉市中央図書館	千葉市中央区弁天3－7－7	043 - 287 - 3980
千葉市みやこ図書館	千葉市中央区都町3－11－3	043 - 233 - 8333
千葉市花見川図書館	千葉市花見川区こてはし台5－9－7	043 - 250 - 2851
千葉市稲毛図書館	千葉市稲毛区小仲台5－1－1	043 - 254 - 1845
千葉市若葉図書館	千葉市若葉区千城台西2－1－ 1	043 - 237 - 9361
千葉市緑図書館	千葉市緑区おゆみ野3－15－2	043 - 293 - 5080
千葉市美浜図書館	千葉市美浜区高洲3－12－1	043 - 277 - 3003
市原市立中央図書館	市原市五井8182－2	0436 - 23 - 4946
習志野市立大久保図書館	習志野市本大久保3－8－19	047 - 475 - 3213
習志野市立東習志野図書館	習志野市東習志野3－1－20	047 - 473 - 2011
習志野市立新習志野図書館	習志野市秋津3－6－3	047 - 453 - 3399
習志野市立藤崎図書館	習志野市藤崎6－20－11	047 - 475 - 3330
習志野市立谷津図書館	習志野市谷津5－16－33	047 - 471 - 2072
八千代市立大和田図書館	八千代市大和田250－1	047 - 482 - 3240
八千代市立八千代台図書館	八千代市八千代台北6－7－6	047 - 482 - 0912
八千代市立勝田台図書館	八千代市勝田台2－5 － 1	047 - 484 - 4946
八千代市立緑が丘図書館	八千代市緑が丘3－1－7	047 - 489 - 4946
船橋市中央図書館	船橋市本町4－38－28	047 - 460 - 1311
船橋市西図書館	船橋市西船4－12－18	047 - 431 - 4385
船橋市北図書館	船橋市二和東5－26－1	047 - 448 - 4899
船橋市東図書館	船橋市習志野台5－1－1	047 - 463 - 3611
市川市中央図書館	市川市鬼高1－1－4	047 - 320 - 3333
市川市行徳図書館	市川市末広1－1－31	047 - 358 - 9011
市川市信篤図書館	市川市高谷1－8－1	047 - 328 - 8831
市川市南行徳図書館	市川市相之川1－2－4	047 - 357 - 4188
浦安市立中央図書館	浦安市猫実1丁目2－1	047 - 352 - 4646
鎌ヶ谷市立図書館	鎌ヶ谷市中央1－8－35	047 - 443 - 4946
白井市立図書館	白井市復1148－8	047 - 492 - 1122
松戸市立図書館	松戸市松戸2060	047 - 365 - 5115
柏市立図書館	柏市柏5－8－12	04 - 7164 - 5346
野田市立興風図書館	野田市中野台168－1	04 - 7123 - 7611
野田市立南図書館	野田市山崎2008	04 - 7125 - 7981
野田市立北図書館	野田市春日町16－1	04 - 7129 - 8811
野田市立せきやど図書館	野田市東宝珠花237－1	04 - 7198 - 4946
流山市立中央図書館	流山市加1－1225－6	04 - 7159 - 4646
流山市立北部地域図書館	流山市東深井991	04 - 7152 - 3200
我孫子市民図書館	我孫子市若松26－4	04 - 7184 - 1110
印西市立大森図書館	印西市大森2535	0476 - 42 - 8686
佐倉市立佐倉図書館	佐倉市新町189－1	043 - 485 - 0106
佐倉市立志津図書館	佐倉市西志津4－1－2	043 - 488 - 0906
佐倉市立佐倉南図書館	佐倉市山王2－37－13	043 - 483 - 3000
成田市立図書館	成田市赤坂1－1－3	0476 - 27 - 4646
四街道市立図書館	四街道市大日396	043 - 423 - 6443
八街市立図書館	八街市八街ほ800－1	043 - 444 - 4946
富里市立図書館	富里市七栄653－1	0476 - 90 - 4646

児童書冊数	ホームページアドレス
96、595	
－	
－	http://www.library.pref.chiba.lg.jp/
172、808	
47、046	
41、854	
33、801	
46、583	
61、423	
46、128	http://www.library.city.chiba.jp/
231、587	http://www.library.ichihara.chiba.jp/
31、162	
16、859	
22、787	
23、734	
20、222	http://www.city.narashino.chiba.jp/~okb-lib/
38、290	
22、177	
23、971	
28、689	http://www.library.yachiyo.chiba.jp/
47、392	
23、352	
36、515	
72、725	http://www.lib.city.funabashi.chiba.jp/
110、626	
35、227	
14、924	
14、839	http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/tosyo/tosmain.htm
217、741	http://library.city.urayasu.chiba.jp/
80、557	http://www.library-kamagaya-chiba.jp/index.html
113、660	http://www.center.shiroi.chiba.jp/library/aatosyo2.htm
148、996	http://www2.city.matsudo.chiba.jp/toshokan/
309、837	http://tosho.city.kashiwa.lg.jp/
35、477	
14、872	
13、419	
10、222	http://www.library-noda.jp/
88、034	
34、144	http://www.library-city-nagareyama.jp/
109、858	http://www.library.city.abiko.chiba.jp/
121、867	http://www.library.city.inzai.chiba.jp/
73、828	
86、121	
48、883	http://www.library.city.sakura.lg.jp/
251、683	http://www.library.narita.chiba.jp/
76、105	http://www.library.yotsukaido.chiba.jp/
55、340	http://www.library.yachimata.chiba.jp/
32、723	https://www.library.tomisato.chiba.jp/

館　名	所在地	電話番号
酒々井町立図書館	印旛郡酒々井町中央台3－4－1	043 - 496 - 8682
印旛村立図書館	印旛郡印旛村瀬戸554－1	0476 - 80 - 3850
香取市立佐原中央図書館	香取市佐原イ211	0478 - 55 - 1343
香取市立小見川図書館	香取市羽根川38	0478 - 80 - 0511
銚子市公正図書館	銚子市新生町2－1－5	0479 - 25 - 3069
旭市図書館	旭市ロ729	0479 - 62 - 2560
匝瑳市立八日市場図書館	匝瑳市八日市場イ2402	0479 - 73 - 3746
東金市立東金図書館	東金市東岩崎1番地1	0475 - 50 - 1190
山武市成東図書館	山武市殿台290－1	0475 - 80 - 2299
山武市さんぶの森図書館	山武市埴谷1904－5	0475 - 80 - 9101
山武市松尾図書館	山武市松尾町五反田3012番地	0479 - 80 - 8066
東庄町図書館	香取郡東庄町笹川い4713－11	0478 - 86 - 1221
横芝光町立図書館	山武郡横芝光町宮川11917番地	0479 - 84 - 3311
茂原市立図書館	茂原市八千代2－9	0475 - 23 - 6151
勝浦市立図書館	勝浦市出水1297	0470 - 73 - 0300
館山市図書館	館山市北条1740番地	0470 - 22 - 0701
鴨川市立図書館	鴨川市横渚1428番地	04 - 7092 - 0312
木更津市立図書館	木更津市文京2丁目6番51	0438 - 22 - 3190
君津市立中央図書館	君津市久保2－13－3	0439 - 52 - 4646
袖ヶ浦市立中央図書館	袖ヶ浦市坂戸市場1393－2	0438 - 63 - 4646
袖ヶ浦市立長浦おかのうえ図書館	袖ヶ浦市蔵波634－1	0438 - 64 - 1046
袖ヶ浦市立平川図書館	袖ヶ浦市横田115－1	0438 - 75 - 7392
南房総市千倉図書館	南房総市千倉町瀬戸2340－5	0470 - 40 - 1120
大多喜町立大多喜図書館天賞文庫	夷隅郡大多喜町大多喜486－12	0470 - 82 - 2459
いすみ市夷隅公民館図書室	いすみ市深谷1968－1	0470 - 86 - 5000
富津市移動図書館	富津市下飯野2443	0439 - 80 - 1345
ふれあいプラザさかえ図書室	印旛郡栄町安食938－1	0476 - 95 - 1112
本埜村図書室	印旛郡本埜村滝野3－4	0476 - 97 - 3210
神崎ふれあいプラザ図書室	香取郡神崎町神崎本宿96	0478 - 72 - 1601
多古町公民館	香取郡多古町多古588	0479 - 79 - 3406
大網白里町図書室	山武郡大網白里町大網100－2	0475 - 72 - 8383
九十九里町立中央公民館図書室	山武郡九十九里町片貝2915	0475 - 76 - 4116
芝山町中央公民館	山武郡芝山町小池982	0479 - 77 - 0066
一宮町まちの図書室	長生郡一宮町一宮2460	0475 - 42 - 7799
睦沢町中央公民館図書室	長生郡睦沢町上之郷1654－1	0475 - 44 - 0211
長柄町公民館	長生郡長柄町桜谷690番地	0475 - 35 -3242
鋸南町立中央公民館	安房郡鋸南町吉浜516	0470 - 55 - 4151
長生村文化会館図書室	長生郡長生村岩沼2119	0475 - 32 - 5100

児童冊数	ホームページアドレス
13、530	http://www.tosyokan.town.shisui.chiba.jp/
10、237	http://library.vill.inba.chiba.jp/
22、094	
9、374	
24、033	http://lib.city.choshi.chiba.jp/
28、245	http://www.library.asahi.chiba.jp/
45、641	http://www.library.sosa.chiba.jp/
26、588	http://www.city.togane.chiba.jp/ka/tosyokan/
24、750	
20、880	
15、314	http://www.city.sammu.lg.jp/sisetu/tosho/index.html
1、684	http://www.town.tohnosho.chiba.jp/
71、719	http://www.library.yokoshibahikari.chiba.jp/
66、431	http://opac.library-mobara.jp/
13、437	
33、792	http://library.city.tateyama.chiba.jp/
16、573	http://www.city.kamogawa.lg.jp/JP/0003/0049/00001055_3_49.html
51、875	http://lib.city.kisarazu.chiba.jp/
151、606	http://www.city.kimitsu.chiba.jp/library/
105、327	
29、433	
17、530	http://lib.sodegaura.ed.jp/
15、472	http://tosyo.city.minamiboso.chiba.jp/book/index.html
11、053	
－	
－	
17、328	http://www.town.sakae.chiba.jp/kyouiku/
9、269	
4、488	http://www5.ocn.ne.jp/~k-fureai/plaza-tosho.htm
5、689	
42、152	http://www.library.oamishirasato.chiba.jp/
7、206	
－	
－	
－	
4、000	
6、430	
8、443	http://www.chosei-bunkahall.jp/

『千葉県の図書館　２００８』より作成

３ 図書館司書・学校の先生が薦める本のリスト（ダイジェスト版）

この推薦図書リストは、子どもたちの読書への興味・関心を高め、日常の読書活動に役立てることを目的に、平成２０年１１月に実施したアンケート調査で、特に推薦数が多い本を一覧にしたものです。

【アンケート】

実施内容 ：千葉県内の図書館員のみなさんに、幼児に読んであげたい本を、また、小学校・中学校・高等学校特別支援学校の先生方に、児童・生徒に薦める本をあげていただきました。

実施方法 ：質問紙記述式（推薦図書を対象・ジャンル別に回答）

依頼先　：千葉県内の全公立図書館72館・小学校50校（抽出）・中学校100校（抽出）・全高等学校194校全公立特別支援学校35校

回収数　：公立図書館41館・小学校50校・中学校100校・高等学校112校・特別支援学校33校

【ジャンルについて】

絵　　本	絵を主としたもの
読 み 物	物語（ストーリー）を主としたもの
ノンフィクション	実話、体験談、ドキュメンタリー、人物伝など
フィクション	小説、おとぎ話、歴史小説など
そ の 他	自然科学、社会科学、数学、哲学、詩・ことばなど

	対 象	ジャンル	書　　名	著　　者	出 版 社
100001	幼児に薦める本	絵　本	どろんこハリー	マーガレット・ブロイ・グレアム／え　ジーン・ジオン／ぶん	福音館書店
100002			三びきのやぎのがらがらどん　北欧民話	マーシャ・ブラウン／え　せた　ていじ／やく	福音館書店
100003			ぐりとぐら	中川　李枝子／さく　大村　百合子／え	福音館書店
100004			おおきなかぶ　ロシアの昔話	A・トルストイ／再話　内田　莉莎子／訳　佐藤　忠良／絵	福音館書店
100005			だいくとおにろく	赤羽　末吉／画　松居　直／再話	福音館書店
100006			はらぺこあおむし	エリック・カール／さく　もり　ひさし／やく	偕成社
100007			くまのコールテンくん	ドン＝フリーマン／さく　まつおか　きょうこ／やく	偕成社
100008			はじめてのおつかい	林　明子／え　筒井　頼子／さく	福音館書店
100009			てぶくろ　ウクライナ民話	エウゲニー・M・ラチョフ／え　うちだ　りさこ／やく	福音館書店
100010			ぐるんぱのようちえん	西内　みなみ／さく　堀内　誠一／え	福音館書店
100011			こすずめのぼうけん	ルース・エインワース/さく　ほりうち　せいいち／え	福音館書店
			ちいさいおうち	バージニア・リー・バートン／ぶん・え　いしい　ももこ／やく	岩波書店
			ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン／さく　いわた　みみ／やく	ほるぷ出版
			ピーターのいす	エズラ＝ジャック＝キーツ／作・画　木島　始／訳	偕成社
			ひとまねこざるときいろいぼうし	H・A・レイ／文・絵　光吉　夏弥／訳	岩波書店
			ももたろう	まつい　ただし／ぶん　あかば　すえきち／え	福音館書店
			もりのなか	マリー・ホール・エッツ／ぶん・え　まさき　るりこ／やく	福音館書店
			いっすんぼうし	いしい　ももこ／ぶん　あきの　ふく／え	福音館書店
			しょうぼうじどうしゃじぷた	渡辺　茂男／さく　山本　忠敬／え	福音館書店
			そらいろのたね	中川　李枝子／さく　大村　百合子／え	福音館書店
			ティッチ	パット・ハッチンス／さく・え　いしい　ももこ／やく	福音館書店
			ピーターラビットのおはなし	ビアトリクス・ポター／さく・え　いしい　ももこ／やく	福音館書店
			ひとまねこざる	H・A・レイ／文・絵　光吉　夏弥／訳	岩波書店
100012		読み物	いやいやえん	中川　李枝子／さく　大村　百合子／え	福音館書店
100013			エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット／さく　わたなべ　しげお／やく	福音館書店
100014			おおきなおおきなおいも	赤羽　末吉／さく・え	福音館書店
100015			はじめてのキャンプ	林　明子／さく・え	福音館書店
100016			あおい目のこねこ	エゴン・マチーセン／さく・え　せた　ていじ／やく	福音館書店
100017			おしいれのぼうけん	ふるた　たるひ／さく　たばた　せいいち／画	童心社
100018			こぐまのくまくん	E・H・ミナリック/文 モーリス・センダック/絵 まつおか　きょうこ／やく	福音館書店
100019			チム・ラビットのぼうけん	アリソン・アトリー／作　石井　桃子／訳	童心社
100020			番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー／さく　松岡　享子／やく	福音館書店
100021			みどりいろのたね	たかどの　ほうこ／作　太田　大八／絵	福音館書店
			たんたのたんけん	中川　李枝子／さく　山脇　百合子／え	学習研究社
			こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール／文　ジェローム・ウェクスラー／写真	福音館書店
			こども世界の民話　上・下	内田　莉莎子／ほか著	実業之日本社
			ジェインのもうふ	アーサー＝ミラー／作　アル＝パーカー／絵	偕成社
			ふしぎなたいこ　にほんむかしばなし	石井　桃子／ぶん　清水　崑／え	岩波書店
			ふたりはともだち	アーノルド・ローベル／作　三木　卓／訳	文化出版局
			ロッタちゃんのひっこし	アストリッド・リンドグレーン/作　山室　静/訳	偕成社

	対象	ジャンル	書名	著者	出版社
100022	小学1・2年生に薦める本	ノンフィクション	かわいそうなぞう	つちや ゆきお／ぶん たけべ もといちろう／え	金の星社
100023			さっちゃんのまほうの手	たばた せいいち／[ほか]共同制作	偕成社
100024			あかちゃんてね	星川 ひろ子／著 星川 治雄／著	小学館
100025			ゆずちゃん	肥田 美代子／作 石倉 欣二／絵	ポプラ社
100026			みえないってどんなこと？	星川 ひろ子／写真・文	岩崎書店
			もうどうけんドリーナ	土田 ヒロミ／さく	福音館書
			ヘレンケラー（小学館版学習まんが人物館）	高瀬 直子／まんが 杉原 めぐみ／シナリオ	小学館
			ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作 上野 紀子／絵	あかね書房
			心うたれるほんとうにあった話シリーズ 1～4年生	川村 たかし／監修	ポプラ社
			学習漫画・世界の伝記		集英社
100027		フィクション	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット／さく わたなべ しげお／やく	福音館書店
100028			ともだちやシリーズ	内田 麟太郎／作 降矢 なな／絵	偕成社
100029			はらぺこあおむし	エリック・カール／さく もり ひさし／やく	偕成社
100030			スイミー	レオ・レオニ／作 谷川 俊太郎／訳	好学社
100031			14ひきのシリーズ	いわむら かずお／さく	童心社
			1ねん1くみシリーズ	後藤 竜二／作 長谷川 知子／絵	ポプラ社
			シリーズあらしのよるに	木村 裕一／作 あべ 弘士／絵	講談社
			王さまと九人のきょうだい 中国の民話	君島 久子／訳 赤羽 末吉／絵	岩波書店
			ぐりとぐらシリーズ	中川 李枝子／さく 大村 百合子（山脇 百合子）／え	福音館書店
			くまのこうちょうせんせい	こんの ひとみ／作 いもと ようこ／絵	金の星社
100032		その他	どきどきしぜんシリーズ		福音館書店
100033			たんぽぽ かがくのとも傑作集	平山 和子／ぶん・え	福音館書店
100034			ファーブル昆虫記（幼年版） 全10巻	ファーブル／著 こばやし せいのすけ／ぶん	あすなろ書房
100035			ふゆめがっしょうだん かがくのとも傑作集	富成 忠夫／写真 茂木 透／写真	福音館書店
100036			はたらくじどうしゃ（ポプラこどもずかん10）	松沢 正二／編	ポプラ社
			あかちゃんてね	星川 ひろ子／著 星川 治雄／著	小学館
			おちばのしたをのぞいてみたら…	皆越 ようせい／写真と文	ポプラ社
			言葉図鑑 全10巻	五味 太郎／監修・制作	偕成社
			しっぽのはたらき かがくのとも傑作集	川田 健／ぶん 藪内 正幸／え	福音館書店
			ダンゴムシ	布村 昇／監修 佐藤 裕・安東 浩／撮影	集英社
100037	小学3・4年生に薦める本	ノンフィクション	おもしろくてやくにたつ子どもの伝記 全20巻		ポプラ社
100038			ヘレン・ケラー（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	砂田 弘／文	ポプラ社
100039			今日からは、あなたの盲導犬	日野 多香子／文 増田 勝正／写真	岩崎書房
100040			シートン動物記	E・T・シートン／作 木暮 正夫／文	集英社
100041			ひろしまのピカ	丸木 俊／え・文	小峰書店
			マザーテレサ（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	やなぎや けいこ／文	ポプラ社
			かわいそうなぞう	つちや ゆきお／ぶん たけべ もといちろう／え	金の星社
			クイールはもうどう犬になった	こわせ たまみ／文 秋元 良平／写真	ひさかたチャイルド
			五体不満足	乙武 洋匡／著	講談社
			伊能忠敬 足で日本を測る（NHKにんげん日本史）	小西 聖一／著 酒寄 雅志／監修	理論社
100042		フィクション	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット／さく わたなべ しげお／やく	福音館書店
100043			長くつ下のピッピ	アストリッド・リンドグレーン／作 大塚 勇三／訳	岩波書店
100044			ズッコケ三人組シリーズ	那須 正幹／作 前川 かずお／絵	ポプラ社
100045			ぼくは王さまシリーズ	寺村 輝夫／作 和田 誠・和歌山 静子／絵	理論社
100046			ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤 洋／作 杉浦 範茂／絵	講談社
			100万回生きたねこ	佐野 洋子／作・絵	講談社
			落語絵本シリーズ	川端 誠／作・絵	クレヨンハウス
			シリーズあらしのよるに	木村 裕一／作 あべ 弘士／絵	講談社
			かいけつゾロリシリーズ	原 ゆたか／さく・え	ポプラ社
			かたあしだちょうのエルフ	おのき がく／ぶん・え	ポプラ社
100047		その他	科学のアルバムシリーズ		あかね書房
100048			シートン動物記	E・T・シートン／作 木暮 正夫／文	集英社
100049			ファーブル昆虫記 全8巻	ジャン＝アンリ・ファーブル／著 奥本 大三郎／訳	集英社
100050			宇宙をみたよ！	宙野 素子／文	偕成社
100051			シロナガスクジラより大きいものっているの？	ロバート・E・ウェルズ／さく せな あいこ／やく	評論社
			のはらうた 1～5巻ほか	くどう なおこ／ほか作	童話屋
			ひみつシリーズ（学研まんがひみつシリーズ・学研まんが新ひみつシリーズ・学研まんがでよくわかるシリーズ）		学習研究社
			昆虫が身を守るふしぎな力（自然の中の人間シリーズ）	梅谷 献二／編 山川 稔／著 農林水産省／監修	農山漁村文化協会
			いのちのつながり	中村 運／ぶん 佐藤 直行／え	福音館書店
			絵ときゾウの時間とネズミの時間	本川 達雄／文 あべ 弘士／絵	福音館書店

	対象	ジャンル	書名	著者	出版社
100052	小学5・6年生に薦める本	ノンフィクション	五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
100053			ガラスのうさぎ	高木　敏子／著	金の星社
100054			マザー・テレサ（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	やなぎや　けいこ／文	ポプラ社
100055			あきらめないこと、それが冒険だ	野口健／著	学習研究社
100056			かぎりなくやさしい花々	星野　富弘／著	偕成社
			ヘレン・ケラー（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	砂田　弘／文	ポプラ社
			イチロー　努力の天才バッター	高原　寿夫／著	旺文社
			イチローと13人の仲間野球少年「鈴木一朗」物語	鈴木　宣之／著	二見書房
			坂本竜馬　（集英社版学習漫画日本の歴史）	木村　茂光／立案・構成　柳川　創造／シナリオ　古城　武司／漫画	集英社
			ドッグ・シェルター　犬と少年たちの再出航	今西　乃子／著　浜田　一男／写真	金の星社
100057		フィクション	バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
100058			注文の多い料理店	宮沢　賢治／著	岩波書店　他
100059			ナルニア国ものがたりシリーズ　全7巻	C・S・ルイス／作　瀬田　貞二／訳	岩波書店
100060			西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮文庫・小学館
100061			ハリーポッターシリーズ　全7作	J．K．ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
			モモ	ミヒャエル・エンデ／著　大島　かおり／訳	岩波書店
			三国志	吉川　英治／著	講談社
			夏の庭　－The　Friends－	湯本　香樹実／作	新潮社　徳間書店
			100万回生きたねこ	佐野　洋子／作・絵	講談社
			12歳たちの伝説　全5巻	後藤　竜二／作	ジャイブ　新日本出版社
100062		その他	ファーブル昆虫記　全8巻	ジャン＝アンリ・ファーブル／著　奥本　大三郎／訳	集英社
100063			13歳のハローワーク	村上　龍／著	幻冬舎
100064			秋山仁先生のたのしい算数教室　全10巻	木幡　寛／著	ポプラ社
100065			お米は生きている	富山　和子／著	講談社
100066			シートン動物記	E・T・シートン／作　木暮　正夫／文	集英社
			生命の歴史　進化のドラマ33億年	R.コウエン／著　濱田 隆士／訳	サイエンス社
			ドラえもんの学習シリーズ		小学館
			ひとしずくの水	ウォルター・ウィック／作　林田　康一／訳	あすなろ書房
			総合百科事典ポプラディア	ポプラディア情報館もあり	ポプラ社
			エジプトのミイラ（タイムソルジャー）	キャスリーン・デューイ／文　ロバート・グールド／写真	岩崎書店
100067	中学1年生に薦める本	ノンフィクション	五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
100068			アンネの日記	アンネ・フランク／著　深町　真理子／訳	文芸春秋
100069			窓ぎわのトットちゃん	黒柳　徹子／著	講談社
100070			ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
100071			世界がもし100人の村だったら	池田　香代子／再話　C・ダグラス・ラミス／対訳	マガジンハウス
			佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七／著	徳間書店
			1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
			いしぶみ　広島二中一年生全滅の記録	広島テレビ放送／編	ポプラ社
			トットちゃんとトットちゃんたち	黒柳　徹子／作	講談社
			プロジェクトX　挑戦者たち	NHKプロジェクトX制作班／編	日本放送出版協会　幻冬舎
100072		フィクション	バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
100073			モモ	ミヒャエル・エンデ／著　大島　かおり／訳	岩波書店
100074			ハッピーバースデー	青木　和雄／作　吉富　多美／執筆協力	金の星社
100075			ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J．K．ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
100076			赤毛のアン	モンゴメリ／著　村岡　花子／訳	新潮社
			星の王子さま	サン＝テグジュベリ／著　内藤　濯／訳 （池澤　夏樹／新訳　集英社ほかあり）	岩波書店ほか
			西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮社　小学館
			夏の庭　－The　Friends－	湯本　香樹実／作	新潮社　徳間書店
			あのころはフリードリヒがいた	ハンス・ペーター・リヒター／作　上田　真而子／訳	岩波書店
			三国志	吉川　英治／著	講談社
100077		その他	ファーブル昆虫記　全8巻	ジャン＝アンリ・ファブール／著　奥本　大三郎／訳	集英社
100078			13歳のハローワーク	村上　龍／著	幻冬舎
100079			世界がもし100人の村だったら	池田　香代子／再話　C・ダグラス・ラミス／対訳	マガジンハウス
100080			いのちの食べかた（よりみちパン！セ）	森　達也／著	理論社
100081			ブッタとシッタカブッタ	小泉　吉宏／著	メディアファクトリー
			君たちはどう生きるか	吉野　源三郎／著	岩波書店・ポプラ社
			シートン動物記	E・T・シートン／作　木暮　正夫／文	集英社
			ゾウの時間ネズミの時間　サイズの生物学	本川　達雄／著	中央公論社
			へんないきもの	早川　いくを／著	バジリコ
			14歳のきみへ　どう考えどう生きるか	池田　晶子／著	毎日新聞社

	対象	ジャンル	書名	著者	出版社
100082	中学２年生に薦める本	ノンフィクション	五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
100083			ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
100084			アンネの日記	アンネ・フランク／著　深町　真理子／訳	文芸春秋
100085			1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
100086			“It”と呼ばれた子	デイブ・ヘルサー／著　田栗　美奈子／訳	青山出版社
			だから、あなたも生きぬいて	大平　光代／著	講談社
			たったひとつのたからもの　息子・秋雪との六年	加藤　浩美／著	文芸春秋
			１３歳のハローワーク	村上　龍／著	幻冬舎
			愛、深き淵より。	星野　富弘／著	立風書房
			生きてます、１５歳　500gで生まれた全盲の女の子	井上　美由紀／著	ポプラ社
100087		フィクション	星の王子さま	サン＝テグジュベリ／著　内藤　濯／訳　ほか新訳あり	岩波書店ほか
100088			一瞬の風になれ　全３巻	佐藤　多佳子／著	講談社
100089			バッテリー　全６巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
100090			西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮文庫・小学館
100091			ハッピーバースデー	青木　和雄／作　吉富　多美／執筆協力	金の星社
			夢をかなえるゾウ	水野　敬也／著	飛鳥新社
			夏の庭　－The　Friends－	湯本　香樹実／作	新潮社　徳間書店
			坊っちゃん	夏目　漱石／著	岩波書店　新潮社　他
			モモ	ミヒャエル・エンデ／著　大島　かおり／訳	岩波書店
			青空のむこう	アレックス・シアラー／著　金原　瑞人／訳	求龍堂
100092		その他	１４歳からの哲学	池田　晶子／著	トランスビュー
100093			１４歳の君へ　どう考えどう生きるか	池田　晶子／著	毎日新聞社
100094			１４歳からの仕事道（よりみちパン！セ）	玄田　有史/著　100%Orange/装画・挿画	理論社
100095			ファーブル昆虫記	ジャン＝アンリ・ファブール／著　奥本　大三郎／訳	集英社
100096			プチ哲学	佐藤 雅彦／著	中央公論新社
			ブッタとシッタカブッタ　心の運転マニュアル本	小泉　吉宏／著	メディアファクトリー
			１３歳のハローワーク	村上　龍／著	幻冬舎
			14歳の法律相談所	野田　和寿／著　星野　茂／監修	新風舎
			いのちの食べかた（よりみちパン！セ）	森　達也／著	理論社
			数の悪魔　算数・数学が楽しくなる12夜	ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー／著　丘沢　静也／訳	晶文社
100097	中学３年生に薦める本	ノンフィクション	だからあなたも生きぬいて	大平　光代／著	講談社
100098			アンネの日記	アンネ・フランク／著　深町　真理子／訳	文芸春秋
100099			五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
100100			トットちゃんとトットちゃんたち	黒柳　徹子／著	講談社
100101			プロジェクトX　リーダーたちの言葉	今井　彰／著	文芸春秋
			愛、深き淵より。	星野　富弘／著	立風書房
			オール１の落ちこぼれ、教師になる	宮本　延春／著	角川書店
			1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
			明日もまた生きていこう　十八歳でがん宣告を受けた私	横山　友美佳／著	マガジンハウス
			イチロー思考　孤高を貫き、成功をつかむ77の工夫	児玉　光雄／著	東邦出版
100102		フィクション	一瞬の風になれ　全３巻	佐藤　多佳子／著	講談社
100103			博士の愛した数式	小川　洋子／著	新潮社
100104			こころ	夏目　漱石／著	新潮社
100105			車輪の下	ヘルマン・ヘッセ／著　髙橋　健二／訳	新潮社
100106			竜馬がゆく	司馬　遼太郎／著	文芸春秋
			三国志	吉川　英治／著	講談社
			塩狩峠	三浦　綾子／著	新潮社
			黒い雨	井伏　鱒二／著	新潮社
			バッテリー　全６巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
			いちご同盟	三田　誠広／著	河出書房新社　集英社
100107		その他	１４歳からの哲学	池田 晶子／著	トランスビュー
			数の悪魔　算数・数学が楽しくなる12夜	ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー／著　丘沢　静也／訳	晶文社
100108			君たちはどう生きるか	吉野源三郎／著	岩波書店・ポプラ社
100109			空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
100110			ソフィーの世界	ヨースタイン・ゴルデル／著　池田　香代子／訳	日本放送出版協会
100111			日本語練習帳	大野 晋 ／著	岩波書店
			１４歳の君へ　どう考えどう生きるか	池田　晶子／著	毎日新聞社
			木に学べ　法隆寺・薬師寺の美	西岡　常一 ／著	小学館
			生きるヒント　自分の人生を愛するための１２章	五木　寛之／著	文化出版局　角川書店
			ソロモンの指環―動物行動学入門	コンラート ローレンツ／著　日高 敏隆／訳	早川書房

	対 象	ジャンル	書　　名	著　　者	出 版 社
100112	高校生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
100113			余命1ケ月の花嫁	TBS「イブニング・ファイブ」／編	マガジンハウス
100114			明日もまた生きていこう	横山　友美佳／著	マガジンハウス
100115			夜と霧　新版	ヴィクトール・E. フランク／著　池田　香代子／訳	みすず書房
100116			五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
			佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七／著	徳間書店
			1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
			アンネの日記	アンネ・フランク／著　深町　真理子／訳	文藝春秋
			オシムの言葉　フィールドの向こうに人生が見える	木村　元彦／著	集英社インターナショナル
			甲子園への遺言　伝説の打撃コーチ高畠導宏の生涯	門田　隆将／著	講談社
			深夜特急シリーズ	沢木　耕太郎／著	新潮社
			青春を山に賭けて	植村　直己／著	文藝春秋
			もの食う人々	辺見　庸／著	共同通信社
			ルポ貧困大国アメリカ	堤　未果／著	岩波書店
			“It”と呼ばれた子	デイブ・ペルサー／著　田栗　美奈子／訳	青山出版社
100117		フィクション	博士の愛した数式	小川　洋子／著	新潮社
100118			夜のピクニック	恩田　陸／著	新潮社
100119			一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
100120			竜馬がゆく	司馬　遼太郎／著	文芸春秋
100121			西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮文庫・小学館
			星の王子さま	サン＝テグジュベリ／著　内藤　濯／訳　ほか新訳あり	岩波書店ほか
			風が強く吹いている	三浦　しをん／著	新潮社
			モモ	ミヒャエル・エンデ／著　大島　かおり／訳	岩波書店
			ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
			ハッピーバースデー	青木　和雄／作　吉富　多美／執筆協力	金の星社
			食堂かたつむり	小川　糸／著	ポプラ社
			きみの友だち	重松　清／著	新潮社
			夢をかなえるゾウ	水野　敬也／著	飛鳥新社
			バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
			図書館戦争	有川　浩／著	メディアワークス
100122		その他	14歳からの哲学	池田 晶子／著	トランスビュー
100123			空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
100124			写真が語る地球激変	フレッド・ピアス／著　鈴木　南日子／訳	ゆまに書房
100125			生物と無生物のあいだ	福岡　伸一／著	講談社
100126			素数ゼミの謎	吉村　仁／著　石森　愛彦／絵	文芸春秋
			沈黙の春	レイチェル・カーソン／著　青樹築一訳	新潮社
			ソフィーの世界　哲学者からの不思議な手紙	ヨースタイン・ゴルデル／著　池田　香代子／訳	日本放送出版協会
			生物と無生物のあいだ	福岡　伸一／著	講談社
			いのちの食べかた（よりみちパン！セ）	森　達也／著	理論社
			数の悪魔　算数・数学が楽しくなる12夜	ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー／著　丘沢　静也／訳	晶文社

	対 象	ジャンル	書　　名	著　　者	出 版 社
100127	特別支援学校の生徒に薦める本	小学部 1・2年生に 薦める本	かわいそうなぞう	つちや　ゆきお／ぶん　たけべ　もといちろう／え	金の星社
100128			はらぺこあおむし	エリック・カール/さく　もり　ひさし/やく	偕成社
100129			おおきなかぶ	A・トルストイ／再話　内田　莉莎子／訳　佐藤　忠良／絵	福音館書店
100130			ノンタン・シリーズ	キノヨ　サチコ／作絵	偕成社
100131			にじいろのさかな　大型絵本	マーカス・フィスター／作　谷川　俊太郎／訳	講談社
100133			パネルメイトおおきなかぶ	関　稚子／著	アドグリーン企画出版
100134			なぞなぞおばけポヨンシリーズ	原　ゆたか／さく・え	くもん出版
100135			ぞうくんのさんぽ	なかの　ひろたか／さく・え　なかの　まさたか／レタリング	福音館書店
			だるまさんが	かがくい　ひろし／さく	ブロンズ新社
100137			ちょっとだけ	瀧村　有子／さく　鈴木　永子／え	福音館書店
100138			どうぞのいす	香山　美子／作　柿本　幸造／絵	ひさかたチャイルド
100139			あそびのおうさまずかんシリーズ		学習研究社
100140			はっけんずかんシリーズ		学習研究社
100141		小学部 3・4年生に 薦める本	さっちゃんのまほうの手	たばた　せいいち／[ほか]共同制作	偕成社
100142			はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく　もり　ひさし／やく	偕成社
100143			ぐりとぐらシリーズ	中川　李枝子／さく　大村　百合子（山脇　百合子）／え	福音館書店
100144			かいけつゾロリシリーズ	原　ゆたか／さく・え	ポプラ社
100145			14ひきのシリーズ	いわむら　かずお／さく	童心社
100146			あかちゃんのあそびえほんシリーズ	きむら　ゆういち／さく	偕成社
100147			おおきなかぶ　ロシアの昔話	A. トルストイ／再話　内田　莉莎子／訳　佐藤　忠良／画	福音館書店
100148			コロちゃんはどこ？	エリック・ヒル／作	評論社
100149			ぞうくんのさんぽ	なかの　ひろたか／さく・え　なかの　まさたか／レタリング	福音館書店
100150			でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	間瀬　なおかた／作・絵	ひさかたチャイルド
100151			はっけんずかんシリーズ		学習研究社
100152		小学部 5・6年生に 薦める本	三びきのやぎのがらがらどん	マーシャ・ブラウン／え　せた　ていじ／やく	福音館書店
100153			しりとりだいすきなおうさま	中村　翔子／作　はた　こうしろう／絵	鈴木出版
100154			ぞうくんのさんぽ	なかの　ひろたか／さく・え　なかの　まさたか／レタリング	福音館書店
100155			だんまりこおろぎ　音のでる絵本	エリック＝カール／さく　くどう　なおこ／やく	偕成社
100156			はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく　もり　ひさし／やく	偕成社
100157			おいしいおいしい1・2・3	長野　博一／作	小峰書店
100158			かっぱのすもう（日本民話かみしばい選）	渋谷　勲／脚本　梅田　俊作／画	童心社
100159		中学部の 生徒に 薦める本	おまえうまそうだな	宮西　達也／作・絵	ポプラ社
100160			ぐるんぱのようちえん	西内　ミナミ／文　堀内　誠一／絵	福音館書店
100161			バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／作	角川書店　教育画劇
100162			マッチ売りの少女　「アンデルセン童話」より	アンデルセン／原作　末吉　暁子／文　中島　潔／絵	小学館
100163			ラチとらいおん	マレーク・ベロニカ／ぶん・え　とくなが　やすもと／やく	福音館書店
100164			世界の中学生 みんなで楽しく国際交流！シリーズ	杉﨑　洋一郎・森住　衛／指導・監修	学習研究社
100165			落語絵本シリーズ	川端　誠／作・絵	クレヨンハウス
100166			はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく　もり　ひさし／やく	偕成社
100167			心をそだてるはじめての伝記101人	講談社／編集	講談社
100168			一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
100169			声にだすことばえほんシリーズ	齋藤　孝／編	ほるぷ出版
100170			だるまさんが	かがくい　ひろし／さく	ブロンズ新社
100171			生活探検大図鑑		小学館
100172		高等部の 生徒に 薦める本	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
100173			五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
100174			性・say・生（自立生活ハンドブック16）	『手をつなぐ』号外	全日本手をつなぐ育成会
100175			ハリーポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
100176			一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
100177			13歳のハローワーク	村上　龍／著	幻冬舎

平成21年1月　　千葉県子ども読書地域フロンティア事業実行委員会、文部科学省、千葉県教育委員会

４　児童・生徒が薦める本のリスト　（ダイジェスト版）

この推薦図書リストは、子どもたちの読書への興味・関心を高め、日常の読書活動に役立てることを目的に、平成２０年１１月に実施したアンケート調査で、特に推薦数が多い本を一覧にしたものです。

【アンケート】

実施内容 ：千葉県内の小・中・高校生のみなさんに、下の学年のみなさんに読んでもらいたい本をあげていただきました。

実施方法 ：質問紙記述式（下の学年の児童・生徒に薦める本をジャンル別に回答）

依頼先　：千葉県内の小学校50校（抽出校の3～6年から各1クラス）・中学校100校（抽出校の1～3年から各1クラス）・高等学校27校（抽出校の1～2年から各3クラス）

回収数　：小学校50校・中学校100校・高等学校22校

【ジャンルについて】

ノンフィクション	実話、体験談、ドキュメンタリー、人物伝など
フィクション	小説、おとぎ話、歴史小説など
そ の 他	自然科学、社会科学、数学、哲学、詩・ことばなど

対象	ジャンル	書名	著者	出版社
小学1・2年生に薦める本	ノンフィクション	ヘレン・ケラー（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	砂田　弘／文	ポプラ社
		エジソン（伝記絵本ライブラリー）	こわせ　たまみ／文　福原　ゆきお／絵	ひさかたチャイルド
		かわいそうなぞう	つちや　ゆきお／ぶん　たけべ　もといちろう／え	金の星社
		アンネ・フランク（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	加藤　純子／文	ポプラ社
		徳川家康（学習漫画 日本の伝記）	柳川 創造　貝塚 ひろし	集英社
		ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		織田信長（小学館版学習まんが．ドラえもん人物日本の歴史）	小井土 繁／まんが	小学館
		光とともに　1～13巻	戸部　けいこ／著	秋田書店
		さっちゃんのまほうのて	たばた　せいいち／[ほか]共同制作	偕成社
		ちいさなあかちゃん、こんにちは！ 未熟児ってなあに	リヒャルト・デ・レーウ／作　マーイケ・シーガル／作 野坂　悦子／訳	講談社
	フィクション	かいけつゾロリシリーズ	原　ゆたか／さく・え	ポプラ社
		怪談レストランシリーズ	松谷　みよ子／ほか編集　たかい よしかず・かとう　くみこ／絵	童心社
		ますだくんシリーズ	武田　美穂／作・絵	ポプラ社
		ぞくぞく村のミイラのラムさん（ぞくぞく村のおばけシリーズ）	末吉　暁子／作　垂石　真子／絵	あかね書房
		まじょ子シリーズ	藤　真知子／作　ゆーち　みえこ／絵	ポプラ社
		ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J．K．ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		忍たま乱太郎シリーズ	尼子　騒兵衛／原作　田波　靖男／[ほか]文	ポプラ社
		エルマーシリーズ	ルース・スタイルス・ガネット／さく わたなべ　しげお／やく	福音館書店
		くまのこうちょうせんせい	こんの　ひとみ／作　いもと　ようこ／絵	金の星社
		わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ／さく・え　小川　仁央／やく	評論社
	その他	学研まんがひみつシリーズ・学研まんが新ひみつシリーズ・学研まんがでよくわかるシリーズ		学習研究社
		ギネス世界記録	クレイグ・グレンディ／編　[鮎川 晶／ほか訳]	ゴマブックス
		少年少女日本の歴史（小学館版学習まんが）	児玉　幸多／監修　あおむら　純／まんが	小学館
		メダカ	草野　慎二・栗林　慧／写真　日高敏隆／総合監修	アスク
		野球　メジャーリーガーのスーパープレーでうまくなる!	江本　孟紀／監修　菅谷　齊／著	ポプラ社
		宇宙への秘密の鍵	ルーシー・ホーキング／作　スティーヴン・ホーキング／作 さくま　ゆみこ／訳　佐藤　勝彦／監修	岩崎書店
		学校で飼う身近な生き物 飼い方観察完全ガイド　全8巻	木村　義志／著　小宮　輝之／監修	学研
		わたしと小鳥とすずと（みすゞこれくしょん）	金子　みすゞ／作	金の星社
		宇宙をみたよ！　宇宙へ行くと、ほんとうがみえてくる	宙野　素子／文	偕成社
		海の魚（小学館のフィールド・ガイドシリーズ13）	田口　哲／著	小学館

対象	ジャンル	書名	著者	出版社
小学3・4年生に薦める本	ノンフィクション	エジソン （おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	桜井　信夫／文	ポプラ社
		ヘレン・ケラー （おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	砂田　弘／文	ポプラ社
		野口英世 （おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	浜野　卓也／文	ポプラ社
		ベートーベン （おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	加藤　純子／文	ポプラ社
		子ぎつねヘレンがのこしたもの	竹田津 実／著	偕成社
		豊臣秀吉（集英社版・学習漫画．日本の伝記）	蔵持　重裕／立案・構成　柳川　創造／シナリオ 久松　文雄／漫画	集英社
		松井秀喜（火の鳥人物文庫）	広岡　勲／〔著〕	講談社
		命のバトンタッチ　障がいを負った犬・未来	今西　乃子／著	岩崎書店
		高橋尚子夢はきっとかなう	黒井　克行／著	学研
		わたしのいもうと	松谷　みよ子／文　味戸　ケイコ／絵	偕成社
	フィクション	ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J．K．ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		デルトラクエスト　全16巻	エミリー・ロッダ／作　岡田　好惠／訳	岩崎書店
		かいけつゾロリシリーズ	原　ゆたか／さく・え	ポプラ社
		若おかみは小学生！シリーズ（講談社青い鳥文庫）	令丈　ヒロ子/作　亜沙美/絵	講談社
		マジック・ツリーハウスシリーズ	メアリー・ポープ・オズボーン／著　食野　雅子／訳	メディアファクトリー
		黒魔女さんが通る!！シリーズ （講談社青い鳥文庫）	石崎　洋司／作	講談社
		バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店・教育画劇
		怪談レストランシリーズ	松谷　みよ子／ほか編集 たかい　よしかず・かとう　くみこ／絵	童心社
		ドラゴン・スレイヤー・アカデミーシリーズ	ケイト・マクミュラン／作　神戸　万知／訳	岩崎書店
		IQ探偵シリーズ（カラフル文庫）	深沢　美潮／作	ジャイブ
	その他	学研まんがひみつシリーズ・学研まんが新ひみつシリーズ・学研まんがでよくわかるシリーズ		学習研究社
		ファーブル昆虫記　全8巻	ジャン＝アンリ・ファブール／著 奥本　大三郎／訳	集英社
		なぜ、めい王星は惑星じゃないの？	布施　哲治／著	くもん出版
		ギネス世界記録	クレイグ・グレンディ／編　[鮎川 晶／ほか訳]	ゴマブックス
		少年少女日本の歴史（小学館版学習まんが）	児玉　幸多／監修　あおむら　純／まんが	小学館
		ドラえもんの学習シリーズ		小学館
		あっ、そうか そうなんだ―役に立つ常識	だいほ 哲男／著	文芸社
		方言なぞなぞあそび	川崎　洋／著　柏木　牧子／マンガ	草土文化
		これだけは知っておきたい理科セット　全10巻		ポプラ社
		理科室から生まれたノーベル賞 田中耕一ものがたり	国松　俊英／著　藤本　四郎／絵	岩崎書店
小学5・6年生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
		犬と私の10の約束	川口　晴／著	文芸春秋
		佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七／著	徳間書店
		ベルナのしっぽ	郡司　ななえ／著	ナナ・コーポレート ・コミュニケーション
		余命1ヵ月の花嫁	TBS「イブニング・ファイブ」／編	マガジンハウス
		アンネ・フランク（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	加藤　純子／著	ポプラ社
		伝記世界を変えた人々　2　キング牧師	V・シュローデト／著　P・ブラウン／著 松村　佐知子／訳	偕成社
	フィクション	ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J．K．ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
		リアル鬼ごっこ	山田　悠介／著	幻冬舎文庫・文芸社
		ダレン・シャン　全12巻	Darren　Shan／著　橋本　恵／訳	小学館
		デルトラクエスト　全16巻	エミリー・ロッダ／作　岡田　好惠／訳	岩崎書店
		親指さがし	山田　悠介／著	幻冬舎
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		夢をかなえるゾウ	水野　敬也／著	飛鳥新社
		Xゲーム	山田　悠介／著	幻冬舎
		西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮文庫・小学館
	その他	空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
		ファーブル昆虫記　全8巻	ジャン＝アンリ・ファーブル／著　奥本　大三郎／訳	集英社
		A型　自分の説明書 （AB型・B型・O型もあり）	jamais jamais／著	文芸社
		ギネス・ワールド・レコーズ	イアン カステロ・コルテス／編	きこ書房
		へんないきもの	早川　いくを／著	バジリコ
		ミッケ	ウォルター・ウィック／写真　ジーン・マルゾーロ ／文 糸井重里/訳	小学館
		1秒の世界	山本　良一/責任編集 Think the Earthプロジェクト/編集	ダイヤモンド社
		世界一おいしい火山の本	林　信太郎／著	小峰書店

		オーロラの本	田中　達也／著	学習研究社
		多数決とジャンケン 　ものごとはどうやって決まっていくのか	加藤　良平／著　津川　シンスケ／絵	講談社

対象	ジャンル	書名	著者	出版社
中学1年生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
		佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七／著	徳間書店
		五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
		アンネの日記　増補新訂版	アンネ・フランク／著　深町　真理子／訳	文芸春秋
		盲導犬クイールの一生	石黒　謙吾／文　秋元　良平／写真	文藝春秋
		ベルナのしっぽ　私の娘は盲導犬	郡司　ななえ／著	ナナ・コーポレート・コミュニケーション
		イチロー　努力の天才バッター	高原　寿夫／著	旺文社
		つるっつるの脳みそ	つるの　剛士／著	ランダムハウス講談社
	フィクション	バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
		ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		リアル鬼ごっこ	山田　悠介／著	幻冬舎
		ダレン・シャン　全12巻	Darren　Shan／著　橋本　恵／訳	小学館
		容疑者Xの献身	東野　圭吾／著	文芸春秋
		流星の絆	東野　圭吾／著	講談社
		一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
		夢をかなえるゾウ	水野　敬也／著	飛鳥新社
		×ゲーム	山田　悠介／著	幻冬舎
		The　MANZAI	あさの　あつこ／著	ポプラ社　講談社
	その他	空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
		A型　自分の説明書　（AB型・B型・O型もあり）	jamais jamais／著	文芸社
		ギネス世界記録	クレイグ・グレンディ／編　[鮎川 晶／ほか訳]	ゴマブックス
		天気の100不思議	松村　照男／著	東京書籍
		数の悪魔	エンツェンスベルガー／著　ベルナー／絵　丘沢　静也／訳	晶文社
		日本の歴史		集英社
		数学ぎらいをなくす本	田村 三郎／著	講談社
		探偵ガリレオ	東野　圭吾／著	文芸春秋
		都会のトム＆ソーヤ	はやみね　かおる／著	講談社
		ビジュアル博物館　全65冊		同朋舎出版
中学2年生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		犬と私の10の約束	川口　晴／著	文芸春秋
		余命1ケ月の花嫁	TBS「イブニング・ファイブ」／編	マガジンハウス
		14歳	千原ジュニア／著	講談社
		“It”と呼ばれた子	デイヴ・ペルザー／著　田栗　美奈子／訳	ソニー・マガジンズ
		上地雄輔物語	上地　雄輔 ／著	ワニブックス
		五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
		プロジェクトX	NHKプロジェクトX制作班／編	幻冬舎文庫・日本放送出版協会
	フィクション	ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
		一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
		チーズはどこへ消えた？	スペンサー・ジョンソン／著　門田　美鈴／訳	扶桑社
		リアル鬼ごっこ	山田　悠介／著	幻冬舎文庫・文芸社
		赤い糸　全2巻	メイ／著	ゴマブックス
		カラフル	森　絵都／著	理論社
		ダレン・シャン　全12巻	Darren　Shan／著　橋本　恵／訳	小学館
		容疑者Xの献身	東野　圭吾／著	文芸春秋
	その他	空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
		へんないきもの	早川　いくを／著	バジリコ
		光に向かって　100の花束	高森　顕徹／著	1万年堂出版
		ガリレオ　（講談社火の鳥伝記文庫）	草下　英明／著	講談社
		国家の品格（新潮新書）	藤原　正彦／著	新潮新書
		神秘の法　次元の壁を超えて	大川　隆法／著	幸福の科学出版
		16歳の教科書 ドラゴン桜公式副読本	7人の特別講義プロジェクト＆モーニング編集部／編著	講談社
		お米は生きている	富山　和子／著	講談社
		なぜ生きる	明橋　大二／著　伊藤　健太郎／著　高森　顕徹／監修	1万年堂出版
		国境をこえて―アラブの少女ナディア	ガリラ・ロンフェデル アミット／著　母袋 夏生／訳	さえら書房

対象	ジャンル	書名	著者	出版社
中学3年生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
		“It”と呼ばれた子	デイブ・ヘルサー／著　田栗　美奈子／訳	青山出版社
		赤い糸　全2巻	メイ／著	ゴマブックス
		佐賀のがばいばあちゃん	島田　洋七／著	徳間書店
		盲導犬クイールの一生	石黒　謙吾／文　秋元　良平／写真	文藝春秋
		天国で君に逢えたら	飯島夏樹／著	新潮社
		イチロー　2　メジャーにはばたく夢	四竈　衛／著	旺文社
	フィクション	こころ	夏目漱石／著	新潮社・岩波書店　他
		坊ちゃん	夏目漱石／著	ポプラ社・金の星社　他
		ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		羅生門	芥川龍之介／著	新潮社
		西の魔女が死んだ	梨木　香歩／著	新潮文庫・小学館
		人間失格	太宰　治	集英社　角川書店　他
		容疑者Xの献身	東野　圭吾／著	文芸春秋
		三国志	吉川　英治／著	講談社
		ダレン・シャン　全12巻	Darren　Shan／著　橋本　恵／訳	小学館
		バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
	その他	14歳からの哲学	池田 晶子／著	トランスビュー
		フェルマーの最終定理	サイモン・シン／[著]　青木 薫／訳	新潮社
		ウパニシャッドの哲学	湯田 豊／著	平楽寺書店
		空想科学読本シリーズ	柳田　理科雄／著	メディアファクトリー
		へんないきもの	早川　いくを／著	バジリコ
		スラムダンク勝利学	辻 秀一／著	集英社インターナショナル
		沈黙の春	レイチェル・カーソン／〔著〕　青樹　簗一／訳	新潮社
		明治・大正・昭和　30の「真実」	三代史研究会／著	文芸春秋
高校生に薦める本	ノンフィクション	ホームレス中学生	田村　裕／著	ワニブックス
		1リットルの涙　難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤　亜也／著	幻冬舎・エフエー出版
		恋空	美嘉／著	スターツ出版
		五体不満足	乙武　洋匡／著	講談社
		余命1ケ月の花嫁	TBS「イブニング・ファイブ」／編	マガジンハウス
		“It”と呼ばれた子	デイヴ・ペルザー／著　田栗　美奈子／訳	ソニー・マガジンズ
		赤い糸　全2巻	メイ／著	ゴマブックス
		いのちのハードル 「1リットルの涙」母の手記	木藤　潮香／著	幻冬舎
		あおぞら	星野　夏／著	幻冬舎文庫・ポプラ社
	フィクション その他	こころ	夏目　漱石／著	新潮社・岩波書店　他
		バッテリー　全6巻	あさの　あつこ／著	角川書店　教育画劇
		ハリー・ポッターシリーズ　全7作	J. K. ローリング／作　松岡　佑子／訳	静山社
		夢をかなえるゾウ	水野　敬也／著	飛鳥新社
		容疑者Xの献身	東野　圭吾／著	文芸春秋
		シートン動物記	シートン／[著]　藤原　英司／訳　木村　しゅうじ／絵	集英社
		流星の絆	東野　圭吾／著	講談社
		一瞬の風になれ　全3巻	佐藤　多佳子／著	講談社
		青空のむこう	アレックス・シアラー／著　金原　瑞人／訳	求竜堂
		幸福な食卓	瀬尾　まいこ／著	講談社
		恋空	美嘉／著	スターツ出版

平成２１年１月　　千葉県子ども読書地域フロンティア事業実行委員会、文部科学省、千葉県教育委員会

５　公立図書館と学校の連携の在り方に係る資料集作成委員会委員名簿

阿部　智子	成田市立吾妻小学校教諭
安部　尚子	船橋市立三咲小学校教諭
石垣　かつみ	我孫子市立我孫子中学校教諭
石橋　利恵子	千葉県立東部図書館主査
今泉　淑子	千葉県立西部図書館主査
大木　実	千葉県立成田国際高等学校教諭
梶山　佐代子	富里市立図書館副主査
坂本　成生	横芝光町立図書館主査補
貞方　厚代	千葉県立中央図書館主査
佐藤　泰代	千葉県立槇の実養護学校教諭
島本　まり子	浦安市立中央図書館副主査
和田　幸子	袖ケ浦市立平川中学校読書指導員

（五十音順、職名は平成１９年３月現在）

平成20年度文部科学省委託事業「千葉県子ども読書地域フロンティア事業」

学校図書館＆公立図書館連携マニュアル　増補版

子どもの読書の世界を広げるために

平成２１年２月　発行

編集・発行　　公立図書館と学校の連携の在り方に係る資料集作成委員会

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課